T350

スタンド式乗車型スクラバー
日本語版 JP
オペレーターマニュアル

Hygenic® 完全に洗浄可能な汚水回収タンク
Tennant True® パーツ
IRIS® テナントテクノロジー
Pro-Panel® コントロール
Smart-Fill™ 自動バッテリー散水
Insta-Click™ マグネットディスク

ec H2O® NanoClean

Japan

最新のパーツマニュアルまたは他の言語のオペレーターマニュアルについては、以下のサイトにアクセスしてください：

www.tennantco.com/manuals

9016434
Rev. 02 (3-2023)

はじめに

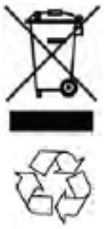
本マニュアルは各新型モデルに対応しています。製品の操作やメンテナンスに必要な説明が記載されています。

本マニュアルをよく読み、本機について理解した上で
操作や点検整備を行ってください。

本機は優れた機能を提供します。最小限のコストで最良の結果を得るためには、次の事項にご留意ください。

- 本機は相応の注意を払って操作してください。
- 本機は記載されたメンテナンス手順に従って、定期的に整備してください。
- 本機はテナント社純正パーツまたは同等品を使用して整備してください。

オンラインでのマニュアルの閲覧、印刷、ダウンロードを行うには、
www.tennantco.com/manuals のウェブサイトにアクセスしてください



環境の保護

梱包材、およびバッテリーなどの使用済部品は、
地方自治体の廃棄物処理規制に従い、
環境に安全な方法で
廃棄してください。

必ずリサイクルしてください。

Tennant Company
10400 Clean Street
Eden Prairie, MN 55344-2650
電話番号: (800) 553-8033
www.tennantco.com

1-STEP、Pro-Membrane、Severe Environment、Zone Settings、Quiet-Mode はTennant Companyの商標です。

Trojan®およびHydroLINK®は、Trojan Battery Companyの登録商標です。

Windows 7®はMicrosoft Corporationの登録商標です。

本製品には、複数のサードパーティライセンスが付与されたソフトウェアの要素が含まれている可能性があります。詳細については、次のリンクを参照してください:
www.tennantco.com/opensource

本書に記載された仕様やパーツは予告なく変更される場合があります。

使用目的

このT350スタンド式乗車型フロアスクラバーは、ホテル、学校、病院、工場、店舗、事務所やレンタル事業といった商業施設での利用を目的としています。屋内の硬質床面（コンクリート、タイル、石、合成物質など）の洗浄用に設計されています。本機はカーペット清掃の用途を意図していません。推奨パッドまたはブラシと、商用のフロアクリーナーのみを使用してください。本オペレーターマニュアルに記載されていない方法で本機を使用しないでください。

本機のデータ

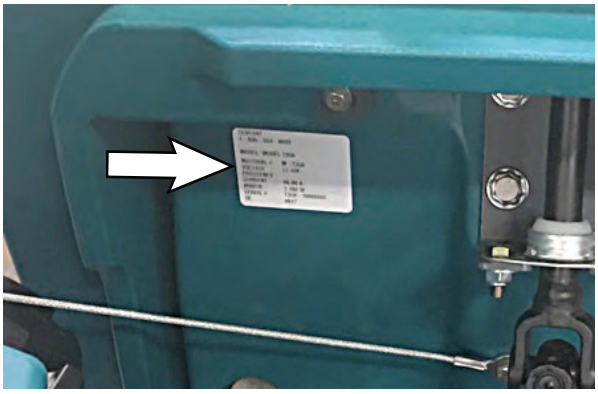
後日確認できるように、設置時に記入してください。

モデル番号 - _____

シリアル番号 - _____

設置日 - _____

本機のシリアル番号の位置



本機の開梱

本機に損傷の兆候がないか注意深く点検してください。損傷がある場合は、直ちに輸送業者に報告してください。部品が不足している場合は、販売店またはTennant社にご連絡ください。

本機を開梱するには、ストラップ、輪留め、輸送用ブラケットを取り外します。同梱のランプを使用して、本機をパレットから慎重に積み降ろします。洗浄ヘッドが上がった位置にあることを確認してください。

注意：本機をパレットから積み降ろす際は必ずランプを使用してください。ランプを使用しないと本機が損傷する恐れがあります。

注意：バッテリーが搭載されていないと重心の位置が高くなるため、（本機が傾きやすくなるため）、本機を開梱する際には注意して取り扱ってください。パレットから積み降ろす前に、バッテリーを取り付けてください。

操作マニュアル（初版）、著作権 2017, 2023 TENNANT Company

目次

はじめに 2
Tennant Company 2
使用目的 2
本機のデータ 2
本機のシリアル番号の位置 2
本機の開梱 2
目次 3
重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください 6
警告ラベル - バッテリーは 8
水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。 8
アクセスパネルに貼付けてあります。 8
安全ラベル -
本機の運転前に取扱説明書をお読みください。 8
アクセスパネルに貼付けてあります。 8
警告ラベル -
引火性物質や反応物質は、爆発の原因になります。回収しないでください。 8
アクセスパネルに貼付けてあります。 8
警告ラベル -
破損したコードでバッテリーを充電しないでください。感電の危険があります。点検整備する前に、
充電器のプラグを外してください。 8
アクセスパネルに貼付けてあります。 8
警告ラベル -
バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。 9
本機の構成 10
本機の構成 11
洗浄ヘッドのタイプ 11
コントロールパネルの構成 12
PRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル12
PRO-PANELコントロールモデル 13
本機の表示記号。 14
PRO-PANELの記号 15
バッテリーの据付け 16
バッテリーの仕様 16
本機の概要 17
ブラシとパッドについて 17
本機のセットアップ 18
スクイージーアセンブリーの取り付け 18
ブラシ/パッドの取り付け 19
洗浄液タンクへの注水 20
Severe Environment洗浄液タンクの充填（ec-H2Oモデルオプション） 21
ec-H2O水質調整カートリッジ（ec-H2Oモデル） 22
自動バッテリー補水タンクの充填（オプション） 23
コントロールパネル操作 24
コントロールの操作 - PRO-MEMBRANEコントロール 24
1-STEPボタン 24
ブラシ圧ボタン 24
洗浄液流量ボタン 24
Quiet-Modeボタン（オプション） 24
Severe Environmentボタン（ec-H2Oモデルオプション） 25
プリセットゾーンコントロールボタン 25
ec-H2Oボタン/インジケーター（オプション） ... 26
サービスインジケーター 26
バッテリー放電インジケーター 26
自動バッテリー補水インジケーター（オプション） 26
ブラシ交換ボタン 27
バキュームファンボタン 27
コントロールの操作 - Pro-Panelコントロール28
ホーム画面 28
ヘルプボタン 28
ログイン画面 28
ec-H2Oインジケーター（オプション） 29
1-STEPボタン 29
バキュームファンボタン 29
ブラシ圧ボタン 29
洗浄液流量ボタン 30
ブラシ交換ボタン 30
Severe Environmentボタン（ec-H2Oモデルオプション） 30
Quiet-Modeボタン（オプション） 31
バッテリー放電インジケーター 31
ビデオチュートリアルボタン（オペレーターモードのホーム画面） ..31
プリセットゾーンコントロールボタン 31
サービスインジケーターボタン 32
故障画面 32
本機の操作 34
運転前チェックリスト 34
本機の操作 35
ダブル洗浄 37
非常停止ボタン 38
本機の運転時 38
サーキットブレーカーパネル 39
アワーメーター 39
タンクの排水 40
汚水回収タンクの排水 40
洗浄液タンクの排水 41

サービスインジケーターコード 42
搭載型充電器サービスインジケーター コード43
ec-H2Oシステムのサービスインジケーター コード（オプション）.....44
メンテナンス.....45
メンテナンス表.....45
本機の点検整備 47
毎日の使用後 47
毎週の使用後 49
50時間の運転毎の整備.....50
100時間の運転毎の整備.....50
200時間の運転毎の整備.....50
電動式モーター.....50
バッテリー.....51
メンテナンスフリーバッテリー.....51
液式（湿式）鉛酸バッテリー 51
接続の点検/清掃.....51
バッテリーの充電 52
バッテリー充電器の設定 53
搭載型充電器の設定の変更（Pro-Membrane モデル）.....53
HYDROLINK® バッテリー補水システム（Trojan® バッテリーオプション）.....55
自動バッテリー補水システム(Trojan®バッテリーオプション).....56
Smart-Fill自動バッテリー補水（オプション）58
バッテリー室排水バルブ 59
ブラシとパッドの交換.....60
PRO-PANEL機種のブラシとパッドの交換60
PRO-MEMBRANE PANEL機種のブラシまたはパッドを交換する 62
スクイージーブレードの交換.....63
20インチ（500 MM）洗浄ヘッドを装備した機種のスクイージーの交換.....63
24インチ（600 MM）洗浄ヘッドを装備した機種のスクイージーの交換.....65
ec-H2O水質調整カートリッジの交換 67
本機前部分のジャッキアップ 69
本機後部のジャッキアップ.....69
本機の牽引および後押し 70
本機の輸送 70
本機の保管.....71
凍結防止.....71
トラブルシューティング 73
本機の一般的な寸法 / 容量 / 性能.....75
管理者コントロール 78
PRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル78
管理者コントロールモードの入力 78
ロック解除モード 1 78
ロックアウトモード 2.....78
ロックアウトモード 3.....78
最低.....79
最高 79
PRO-PANELコントール装備モデル 80
管理者モードの入力.....80
プロファイルの追加 / 編集.....81
ログイン画面の有効化 83
ログイン画面の無効化 84
工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードの変更.....85
洗浄速度の変更.....86
プリセットゾーンコントロールボタンの変更86
搭載型充電器の設定変更（Pro-Panel モデル）... 87
タッチの補正 87

重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください

本書中では、次の安全警告を使います。

警告：重傷や死亡などの結果を引き起こしかねない危険な使い方を警告します。

安全のために：本機を安全に操作するうえで守らなければならない手順を示します。

下記の情報は、オペレーターが危険にさらされるおそれがある内容を示しています。このような状況が存在する可能性を理解してください。本機の安全装置の位置をすべて確認してください。本機が破損したり誤動作が生じた場合は、直ちに報告してください。

警告：発火、爆発、感電、負傷のリスクを軽減するために、次の事項にご留意ください。

- 本機の操作前にマニュアルをお読みください。
- 引火性物質や反応金属の使用や接触を避けてください。
- 可燃性の液体、蒸気、または粉塵の近くでは使用しないでください。

  本機には、防爆モーターは搭載されていません。電気モーターはその起動時や運転時に火花を発します。引火性蒸気 / 液体または可燃性粉塵が存在するエリアで本機を使用した場合、火災または爆発が生じる恐れがあります。
- バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
- 本機の清掃および点検整備を行う前に、バッテリーケーブルと充電器のプラグを外してください。
- 破損したコードでバッテリーを充電しないでください。プラグを改造しないでください。

  充電器の電源コードが損傷または破損している場合は、危険防止のため、メーカーまたはその代理店、あるいは専門の担当者に交換を依頼してください。
- 屋外で使用しないでください。屋内に保管してください。

IRIS テレメトリー - 機種によっては、携帯電話のネットワークを利用した自動通信機能が搭載されています。装置の干渉妨害に関連する懸念から、携帯電話の利用が制限されているエリアで本機を操作する場合は、移動体通信機能を無効化する方法について、テナント社のサービス代理店にご相談ください。

安全のために：

1. 以下の場合、本機を操作しないでください。
   - トレーニングを受けておらず、操作を許可されていない場合。
   - 操作マニュアルを読んでいない、または内容を理解していない場合。
   - 本機の取り扱いに従う精神的、身体的能力が十分でない場合。
   - アルコールや薬物の影響下にある場合。
   - 携帯電話またはその他の電子機器を使用している場合。
   - ブレーキが故障している場合。
   - 正しい動作条件でない場合。
   - テナント社の純正品以外の、またはテナント社に認定されていないパッドやアクセサリーを取付けている場合。他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。
   - 屋外。本機の使用は屋内の用途に制限されています。
   - 引火性の蒸気 / 液体、または可燃性の粉塵が存在する場合。
   - 本機の操作や運転を行うために安全な視界が確保できないほど暗い場合。
   - 落下物の危険が存在する場所。
   - 運転手のそばにあるペダルそしてまたはグリーンゴーペダルに体重をかけたり、重い物を乗せたりしないで下さい。
2. 本機の操作前：
   - 液漏れがないか点検してください。
   - すべての安全装置が所定の位置にあり、適切に作動することを確認してください。
   - ステアリングが適切に動作するか点検してください。
3. 本機の使用中：
   - 本マニュアルに記載されていない方法で使用しないでください。
   - タバコ、マッチ、高温の灰など、燃焼中または煙が出ている状態のものを回収しないでください。
   - 斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。
   - 床が濡れている場合の現場安全対策に従ってください。
   - 傾斜が9%を超える斜面で本機を使用したり、傾斜が9%を超える斜面を本機で移動することは避けてください。
   - 斜面またはランプで電源スイッチを入れないでください
   - 方向転換するときは速度を落としてください。
   - 本機を運転中、本体の部品はすべてオペレーターの運転席に保管してください。
   - 本機の運転中は常に周囲に注意してください。
   - 出入口、低い天井、突き出し部分を通る際は、十分なヘッドクリアランスを保ってください。

- 出入口および狭い開口部ではゆっくり運転してください。特にデュアルディスクモデルの場合、スクイージーが機体の幅以上に突き出ているので、注意してください。
- 本機が動いている間は、ビデオ / ヘルプ画面にアクセスしないでください。(Pro-Panel)
- 本機をバックする場合は、十分に注意してください。
- 小さな子供や本機を操作する資格のない人を本機に近づけないでください。
- 本機をおもちゃとして使用しないでください。
- 本機のいかなる部分にも同乗者を乗せないでください。
- 本機が破損したり誤動作が生じた場合は、直ちに報告してください。
- 化学薬品の混合や取り扱い、廃棄については、容器の説明に従ってください。
- 床が濡れている場合の現場安全対策に従ってください。

4. 本機から離れるときや本機を点検整備する前：
   - 本機を水平な場所に停めてください。
   - 本機の電源をオフにしてキーを抜き取ります。

5. 本機を点検整備するとき：
   - 作業は必ず、十分な照明があり、視界が良好な状況で実施してください。
   - 作業場の通気を良くしてください。
   - 作動中の箇所には近づき過ぎないようにしてください。ゆったりとした衣服やアクセサリーは着用せず、髪が長い場合はまとめてください。
   - 本機をジャッキで持ち上げる前に、タイヤ止めを当ててください。
   - 指定された位置にのみジャッキを当ててください。ジャッキスタンドで本機を支えてください。
   - 本機の重量に適したジャッキを使ってください。
   - オペレーターが本機を操作していない状態で、本機を押したり牽引したりしないでください。
   - ブレーキが壊れた状態で、本機を斜面で押したり牽引したりしないでください。
   - 電気部品の近くで本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
   - バッテリーのコネクタと充電器のコードを外してから、本機での作業を実施してください。
   - 適合しない充電器を使用しないでください。バッテリーパックが損傷し火災を引き起こすおそれがあります。
   - 充電器のコードが傷ついていないか定期的に点検してください。
   - 充電器の先が濡れている場合は差し込まないでください。
   - 充電中に温度が80ºF / 27ºC以上になった場合は、汚水回収タンクを開けてバッテリーに風を通してください。
   - 充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が発生することがあります。充電を中断する場合は、最初にAC電源コードを外してください。
   - バッテリー液には触れないでください。
   - バッテリー室の液体を廃棄する際は、常に現場安全規則に従ってください。
   - いかなる金属部品もバッテリーのそばに置かないでください。
   - 非伝導性のバッテリー取り外し装置を使用してください。
   - バッテリーを持ち上げる時は、ホイストを使用し、適切な補助を受けてください。
   - バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。
   - バッテリー取り外しに関する現場安全対策に従ってください。
   - すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。
   - 本機の改造は行わないでください。
   - テナント社製またはテナント社が承認した交換部品を使用してください。
   - 必要に応じて、また本書で推奨されている場合は、個人用保護具を使用してください。

安全のために：保護手袋を着用してくださ

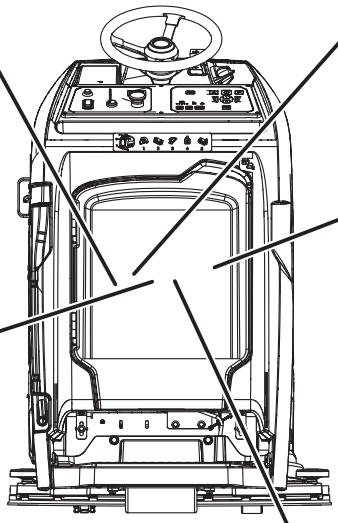
安全のために：保護眼鏡を着用してくださ

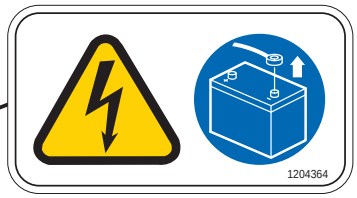
6. トラック / トレーラーへの本機の積み降ろし：
   - 本機を積み込む前にタンクを空にしてください。
   - 本機および運転者の重量を支えられるランプを使用してください。
   - 滑りやすくなっているランプの上を運転しないでください。
   - 傾斜角度が18パーセントを超えるランプの上で本機を使用しないでください。
   - ランプの傾斜角度が18パーセントを超える場合は、ウィンチを使用してください。
   - 本機をロープで固定する前に、洗浄ヘッドを下げスクイージーを取り外してください。
   - タイヤに輪留めを装着してください。
   - 本機をトラックまたはトレーラーに固定具で固定してください。

次の安全ラベルが本機の指定された場所に取り付けてあります。損傷 / 損失したラベルを交換してください。

安全ラベル -
本機の運転前に取扱説明書をお読みください。
アクセスパネルに貼付けてあります。

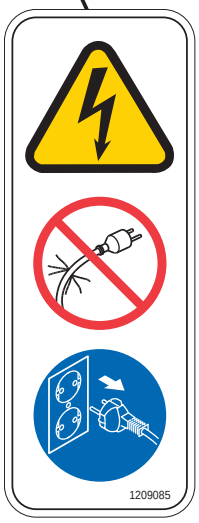
警告ラベル -
引火性物質や反応物質は、爆発の原因になります。回収しないでください。
アクセスパネルに貼付けてあります。



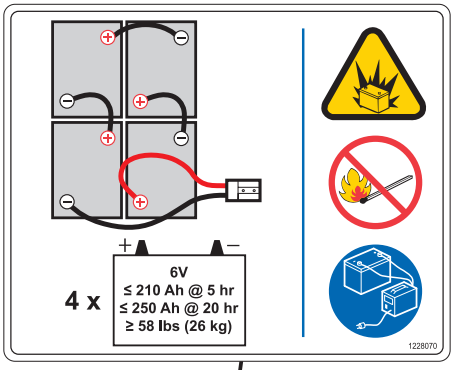


警告ラベル -
感電の危険。本機を点検整備する前に、バッテリーケーブルを外してください。
搭載型のバッテリー
充電器のマウントプレートに貼付けてあります。

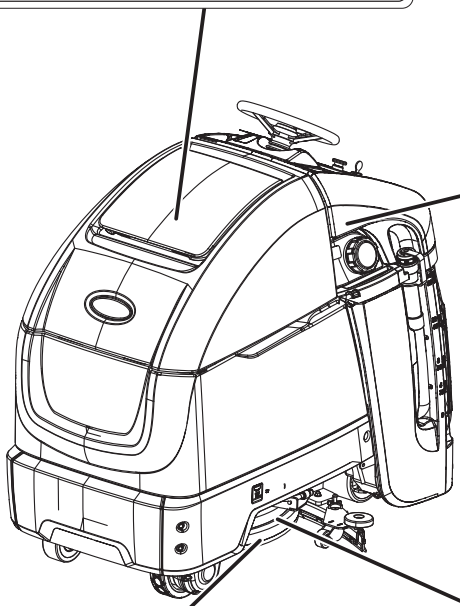
警告ラベル - バッテリーは
水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
アクセスパネルに貼付けてあります。



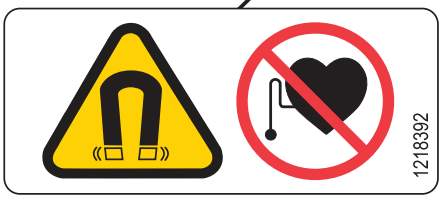
警告ラベル -
破損したコードでバッテリーを充電しないでください。感電の危険があります。
点検整備する前に、
充電器のプラグを外してください。
アクセスパネルに貼付けてあります。



警告ラベル -
バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
汚水回収タンクの底に貼付けてあります。



警告ラベル -
引火性物質は、爆発または火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。
本機の横に貼付されています。

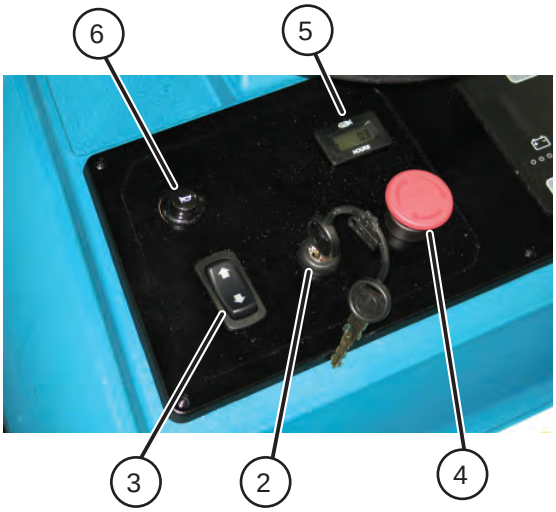


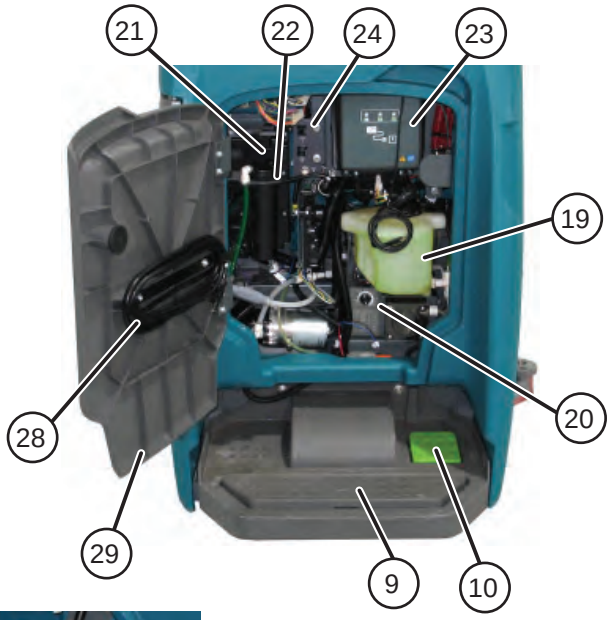
警告ラベル -
磁場による危険。磁気パッドドライバー / ブラシはペースメーカーや植込み型医療機器の利用者にとって有害となる可能性があります。
Insta-Click磁気パッドドライバー / ブラシに貼付されています。

警告ラベル -
回転ブラシ。手を近づけないでください。
洗浄ヘッドに貼付けてあります。

本機の構成

1
7
8
12
15
14
16
13
11
26
30
27
25
T350
ec H2O
NanoClean


6
5
3
2
4

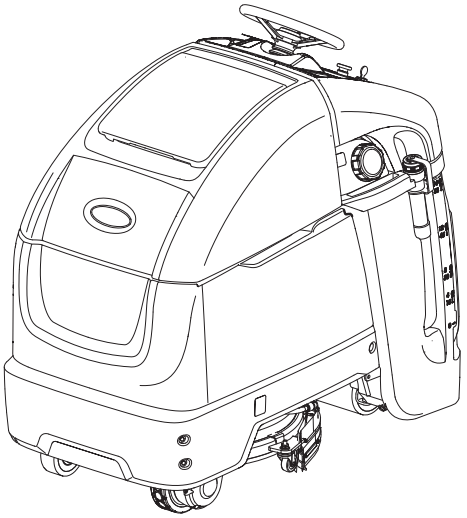

21
22
24
23
19
20
28
29
9
10

18
17

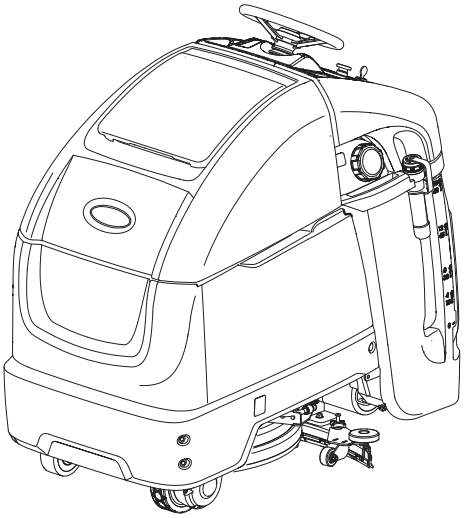
本機の構成

1. ステアリングホイール
2. キースイッチ
3. 前進/後進スイッチ
4. 非常停止ボタン
5. アワーメーター
6. ホーンボタン
7. コントロールパネル
8. 速度ノブ
9. オペレータープレゼンスペダル
10. グリーンゴーペダル
11. 洗浄液タンク
12. 洗浄液タンク注入口
13. 洗浄液タンクレベル/ドレンホース
14. 汚水回収タンク
15. 汚水回収タンクカバー
16. 汚水回収タンクドレンホース
17. バッテリー室
18. 自動バッテリー補水タンク（オプション）
19. Severe Environment洗剤タンク（オプション - ec-H2Oオプション付きモデルのみ）
20. 洗浄液混合率ノブ（オプション - ec-H2Oオプション付きモデルのみ）
21. ec-H2O モジュール（オプション）
22. ec-H2O 水質調整カートリッジ（オプション）
23. 搭載型充電器（オプション）
24. サーキットブレーカーパネル
25. スクイージーアセンブリー
26. 洗浄ヘッド
27. 洗浄ヘッドスカート
28. 搭載型充電器用電源コード
29. アクセスパネル
30. ダブルスクラブキャスターノブ

洗浄ヘッドのタイプ



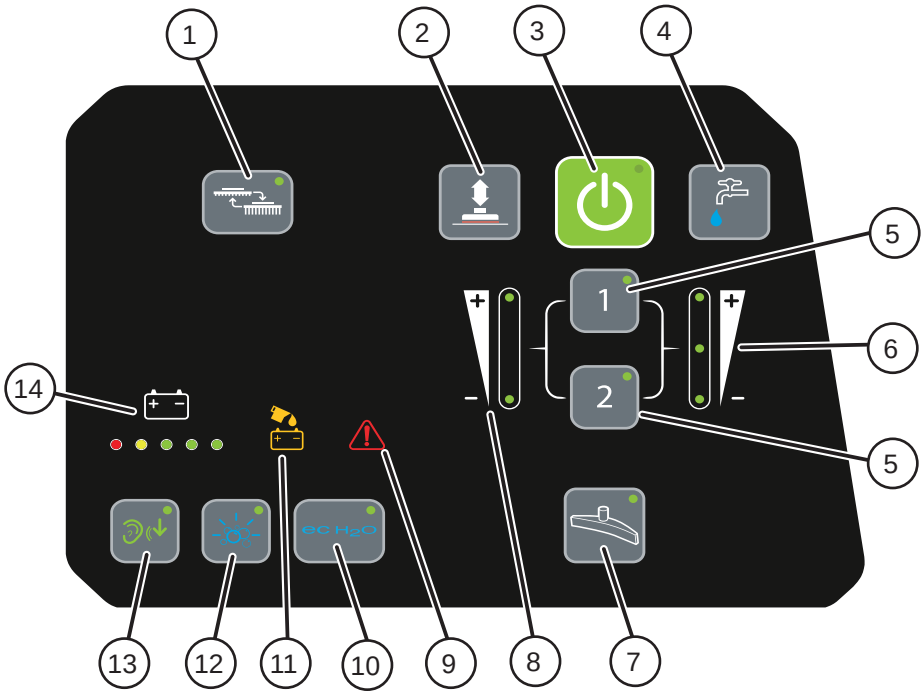
20インチ 500 mm シングルディスク



24インチ / 600 mm デュアルディスク

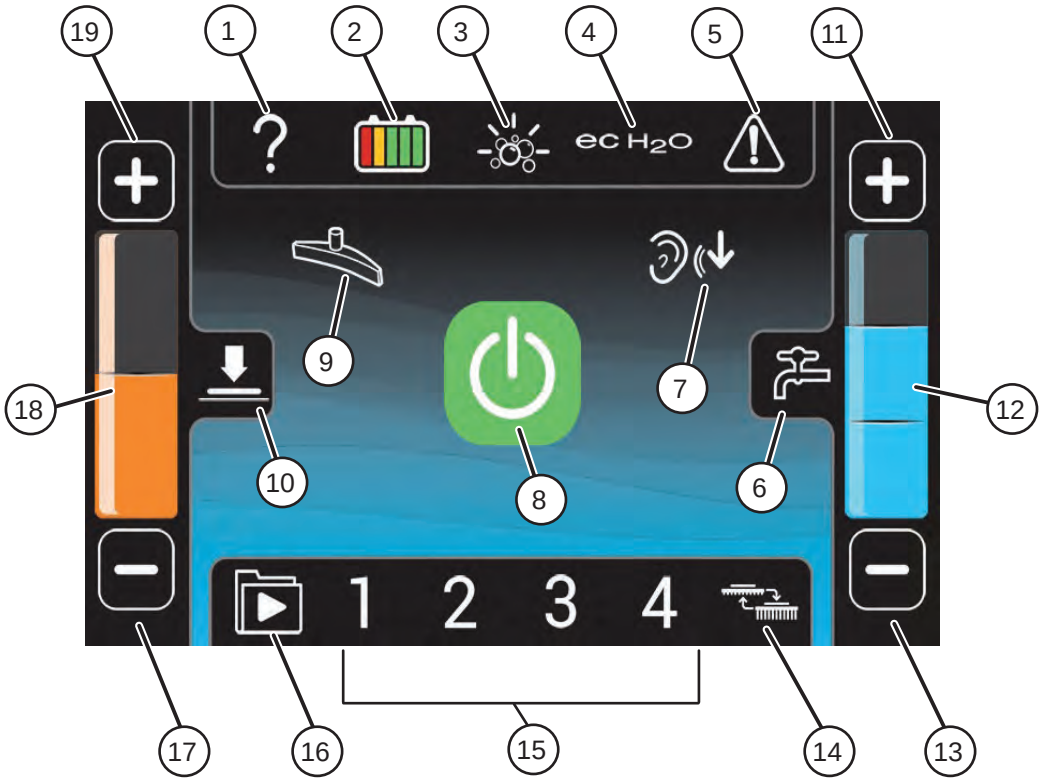
コントロールパネルの構成

PRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル



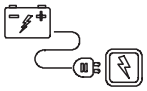
1. ブラシ交換ボタン
2. ブラシ圧ボタン
3. 1-STEPボタン
4. 洗浄液流量ボタン
5. プリセットゾーンコントロールボタン
6. 洗浄液流量インジケーター
7. バキュームファンボタン
8. ブラシ圧インジケーター
9. サービスインジケーター
10. ec-H2Oボタン（オプション）
11. 自動バッテリー補水インジケーター（オプション）
12. Severe Environmentボタン（オプション）
13. Quiet-modeボタン（オプション）
14. バッテリー放電/故障コード インジケーター

PRO-PANELコントロールモデル



1. ヘルプボタン
2. バッテリー放電インジケーター（BDI）
3. Severe Environmentボタン（オプション）
4. ec-H2Oボタン/インジケーター（オプション）
5. サービス インジケーター/ボタン
6. 洗浄液流量ボタン
7. Quiet modeボタン（オプション）
8. 1-STEPボタン
9. バキュームファンボタン
10. ブラシ圧ボタン
11. 洗浄液増量ボタン
12. 洗浄液流量インジケーター
13. 洗浄液減量ボタン
14. ブラシ交換ボタン
15. プリセットゾーンコントロールボタン
16. ビデオチュートリアル ボタン
17. ブラシ圧減少ボタン
18. ブラシ圧インジケーター
19. ブラシ圧増加ボタン

本機の表示記号。


バッテリー充電器

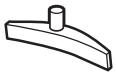
高速洗浄

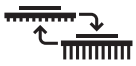
低速洗浄

方向（前進/後進）

キーがオフ

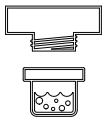
キーがオン


バキュームファン


ブラシの交換

Quiet mode（オプション）

サービスインジケーター


フィルター位置

ec-H2O洗浄（オプション）

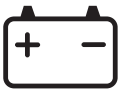
ホーン

洗浄液流量

自動バッテリー補水（オプション）

サーキットブレーカー

ブラシの圧力


バッテリー充電

Severe Environment（オプション）

1-Step

ジャッキポイント

PRO-PANELの記号

	ホーム画面		本機の設定		工場出荷時の状態に戻す
	左向き矢印		オペレーター向けビデオ		オペレーター
	ログイン		管理者メニュー		管理者
	コントロールに関するヘルプ		ビデオに関するヘルプ		プロファイルの追加
	スタートアップビデオ		プロファイルの追加/編集		プロファイルの編集
	詳細情報		バッテリーの選択		プロファイルのコピー
	ビデオリストボタン		ログインを有効にする		プロファイルの削除
	ビデオボタン		ログインを無効にする		ユーザーログイン
	ビデオ回転ビュー		タッチのキャリブレーション		入力
					バックスペース

バッテリーの据付け

警告：バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

安全のために：本機を点検整備する際は、必要に応じて、適切な個人用保護具を着用してください。バッテリー液には触れないでください。

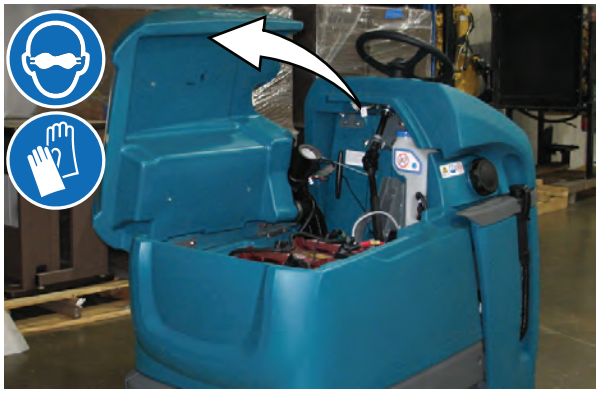
バッテリーの仕様

240 Ah（20時間率容量）以下の
6V ディープサイクル バッテリーが4個必要です。

推奨バッテリーについては、販売店またはテナント社までご連絡ください。

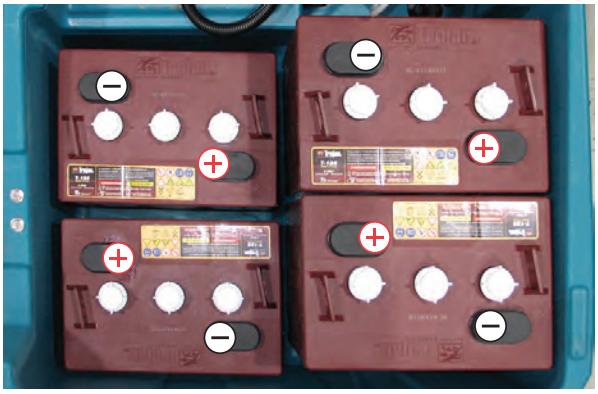
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げてバッテリー室にアクセスします。

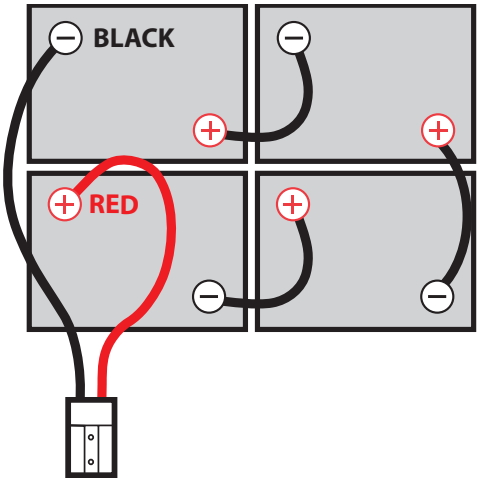


2. バッテリーポストが図のような位置になるよう、バッテリーを慎重にバッテリー室トレイに据え付けます。

安全のために：本機の点検整備時にバッテリーを持ち上げる際は、ホイストを使用するか、または適切な援助を受けてください。



3. 付属のバッテリーポスト ブーツを使用し、赤をプラス（＋）側、黒をマイナス（－）側にしてケーブルをバッテリーポストに接続します。バッテリー製造業者の仕様に従って、バッテリーのケーブル接続を補強してください。



重要：バッテリーを充電する前に、バッテリー充電器と本機のバッテリー放電インジケーターが、バッテリーの種類に合わせて適切に設定されていることを確認してください。設定を誤るとバッテリーが破損します。「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

注意：充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

注意：バッテリーはカウンターウェイトとしての役割があります。本機の安定性とトラクションを確保するため、常に最低限のカウンターウェイトを維持してください。

IRISバッテリー充電評価指標の通知: IRISを介してバッテリー充電データを通知できる機能を装備しているモデルは、出荷時に充電器とバッテリー一式が同梱されています。バッテリーが耐用年数に達し交換が必要になった際に、引き続き本機の性能を最大限発揮するために同じ種類のバッテリーを使用することを強くお勧めします。アンペア時間（AH）、種類（Flooded、AGM、Gel）またはメーカーが異なるバッテリーに交換する場合、テナント社テクニカルサービスセンターまでお問い合わせください。バッテリー交換の可能性を判断し、そして可能な場合は適切な充電プロファイルを選択するお手伝いをします。サードパーティ製のバッテリーについてはIRISバッテリー評価指標レポートの可用性は保証されません。

注記：バッテリー室に液体がある場合、バッテリーを据付ける前にバッテリー室の液体を抜き取ってください。「バッテリー室の排水バルブ」を参照してください。

本機の概要

従来の洗浄：
従来の洗浄モードを使用する場合、 洗浄液タンクから水と洗剤の混合液が床に流れ、回転ブラシ/パッドが床を洗浄します。本機が前進すると、真空吸引機能付きのスクイージーが汚れた洗浄液を床から吸い取り、汚水回収タンクに回収します。

ec-H2O NanoClean テクノロジー（オプション）:
ec-H2O NanoClean テクノロジーを使用する場合、通常の水がモジュールを通過する際に電気分解され、洗浄液に変化します。この電解水が汚れを分解し、浮いた汚れを本機で容易に取り除くことができます。この電解水は、汚水回収タンクに入ると普通の水に戻ります。

ブラシとパッドについて

最良の結果を得るには、洗浄用途に適したブラシやパッドを使用してください。以下にブラシとパッドの説明と、それぞれの最適な用途を示します。

注記：使用するブラシまたはパッドのタイプを選択する場合、汚れの程度と種類が重要な要素になります。推奨品については、テナント社代理店にお問い合わせください。

ソフトナイロン製剛毛ブラシ（白）- コーティングを施した床面を、表面仕上げを剥がさずにクリーニングする場合に推奨します。表面を削らずにクリーニングします。

ポリプロピレン製剛毛ブラシ（黒）- 汎用のポリプロピレン製剛毛ブラシで、若干堆積した汚れを洗浄する場合に使用します。このブラシはコンクリート製、木製、タイル製の床面のメンテナンスの用途に効果を発揮します。

スーパーアブレーシブ剛毛ブラシ（灰色）-
しみや汚れを取り除くために、研磨用の細粒がナイロンファイバー繊維に含まれています。あらゆる床面に強力な効果を発揮します。頑固な汚れ、油脂、およびタイヤ跡の洗浄に効果があります。

研磨パッド（白）- 研磨面またはバニシ仕上げの床面に適しています。

バフパッド（赤）- 床の表面仕上げを剥がさずに軽い汚れを洗浄するのに適しています。

洗浄パッド （青）- 中程度から頑固な汚れの洗浄に適しています。埃、こぼれた液体、こすり傷を取り除きます。

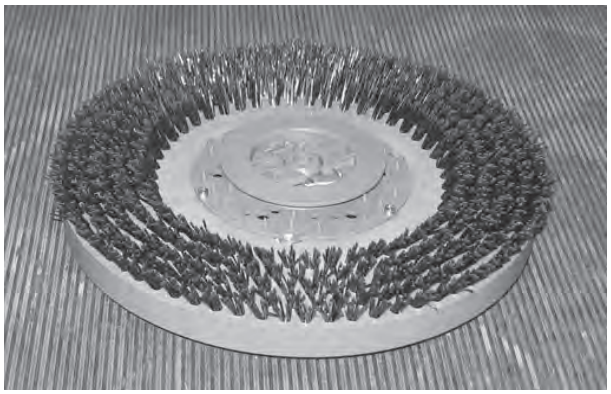
ストリッピングパッド（茶）- 床の再コーティングの準備として床の表面仕上げを剥がすために使用します。

ポリプロピレン製サイドブラシ - 軽い汚れから中程度の汚れまでの一般的な清掃に適しています。

ヘビーデューティ ストリッピングパッド（黒）- 丈夫な表面加工/目地を剥離するため、または非常に強力な研磨洗浄の用途に使用します。

下地調整用パッド（えび茶）- 床の塗り直しの下準備として、床の表面仕上げを化学薬品を使用せずに効果的に除去します。

突起付きパッドドライバー - 標準パッドドライバーの裏面には、パッドを保持する短い剛毛、すなわち「タフト」が付いています。このドライバーは、黒色のヘビーデューティパッド以外のすべてのテナント社製パッドに使用できます。



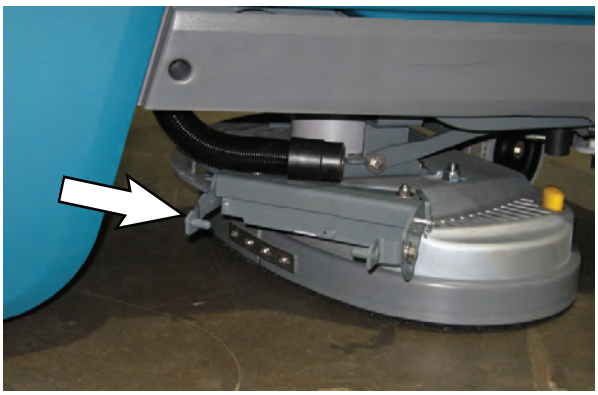
本機のセットアップ

スクイージーアセンブリーの取り付け

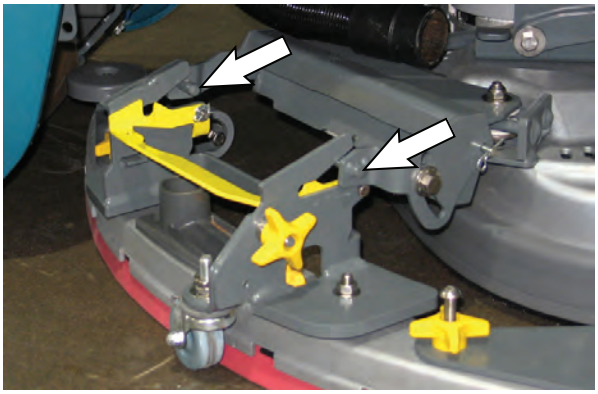
1. 洗浄ヘッドを下げてください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

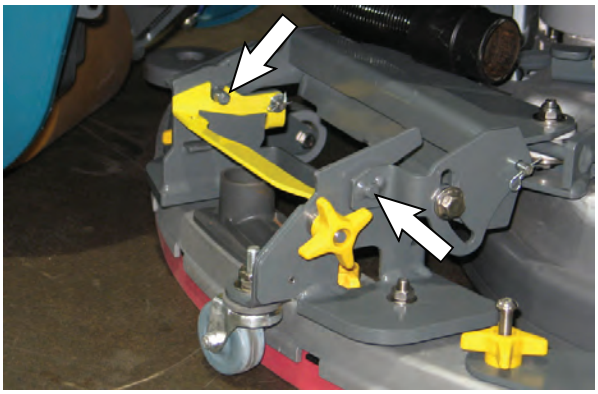
2. スクイージー容器にアクセスできるよう、スクイージー容器アセンブリーを本機の右隣に回してください。



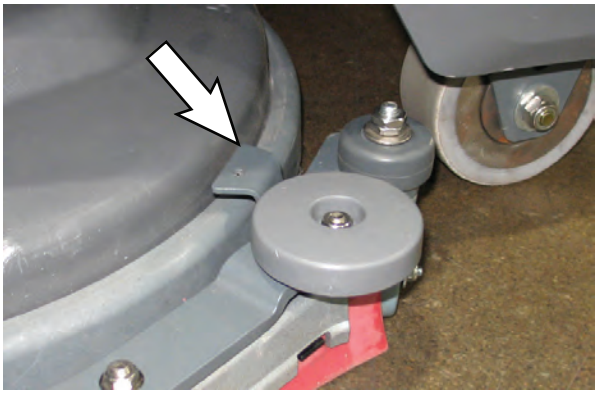
3. スクイージー容器ピンをスクイージーアセンブリーブラケットの位置に合わせて差し込みます。



4. 両スクイージー容器ピンがブラケットに固定されるまで、スクイージーアセンブリーをスクイージー容器の上にスライドさせます。

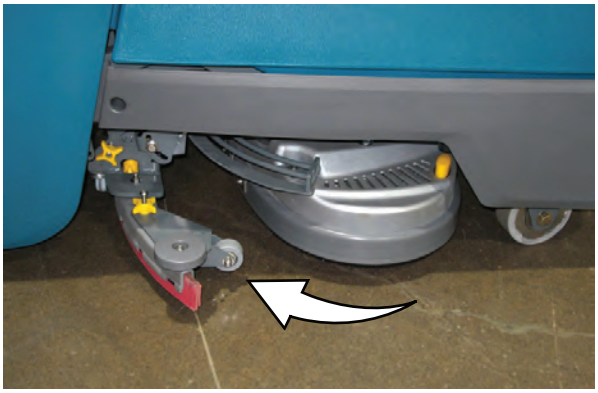


5. 20インチ (500 mm) 洗浄ヘッドを搭載した機種のみ：両スクイージータブが洗浄ヘッドスカートの上部にあることを確認してください。



6. バキュームホースをスクイージーアセンブリーに接続してください。

7. スクイージーアセンブリーを本機の下方向へ回転させて本機の中央に位置するようにしてください。

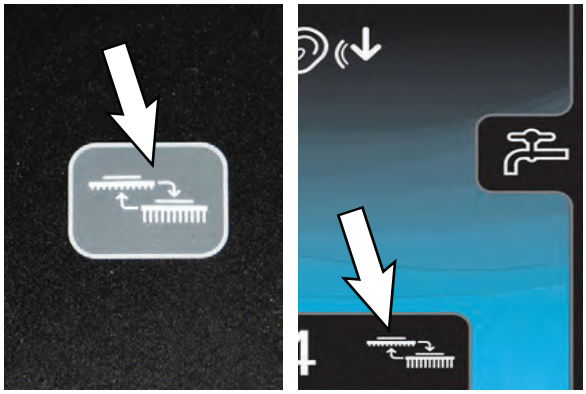


ブラシ/パッドの取り付け

1. オペレータープラットホームに両足で立ち（グリーンゴーペダルは踏まないでください）、キーを「オン」にし、ブラシ交換ボタンを押し、パッドを取り付けるのに的確な位置まで洗浄ヘッドを上げてください。

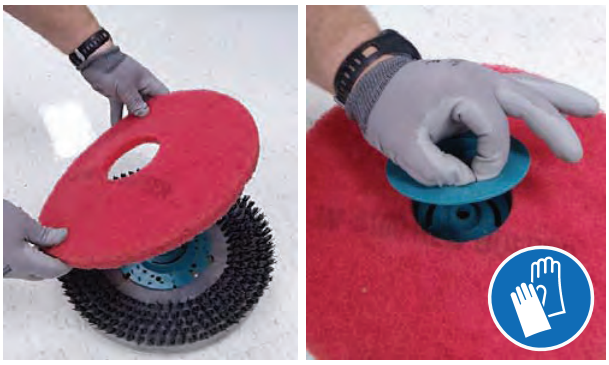
   PRO-MEMBRANEコントロールを装備した機種：緑のLEDライトの点滅が止まり、点灯したままになるまで待ってください。PRO-MEMBRANE機種のブラシパッドの交換を参照ください。

   Pro-Panelコントロールを装備した機種：画面の指示に従って、緑のチェックマークがディスプレイに表示されるまで待ちます。PRO-PANEL機種のブラシパッドの交換を参照ください。



安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. ドライバーを取り付ける前に、パッドをパッドドライバーに取り付けてください。センターロックでパッドを固定します。



3. 磁気ブラシまたはパッドドライバーを装備した機種：ブラシを洗浄ヘッドの下に配置し、ブラシを洗浄ヘッドの方向に持ち上げ、ブラシが洗浄ヘッドの磁石に固定されるまで近づけます。

警告：磁場による危険。磁気パッドドライバー/ブラシはペースメーカーや植込み型医療機器の利用者にとって有害となる可能性があります。

3ラグブラシ用のハブを装備した機種：3個のラグをモーターハブスロットに挿入し、パッドドライバー/ブラシをすばやく反時計回りに回し、ハブにかみ合わせてください。

清掃効果がなくなったブラシやパッドは交換してください。

4. パッドドライバー/ブラシを取り外すには、ステップ 1を繰り返し、洗浄ヘッドの下からブラシを取り外してください。

洗浄液タンクへの注水

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

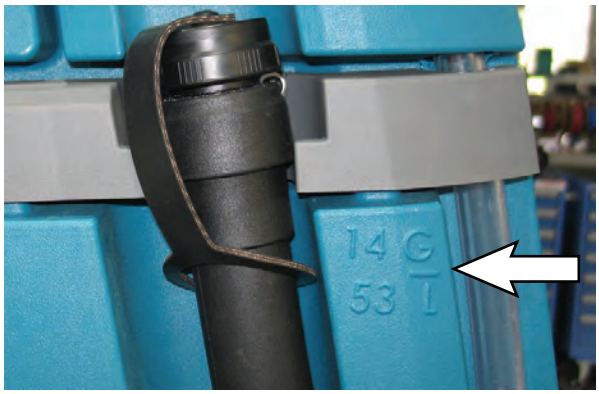
1. 洗浄液タンクからキャップを取り外します。

2. 黄色のストレーナーに注水ホースを差し込み、ホースをストレーナーにしっかりと固定します。

3. 水位が洗浄液タンクのドレンホースインジケーターの53 L（14 G）の印に達するまで注水します。

   ec-H2O 洗浄（オプション）-洗浄液タンクには、きれいな冷水（70°F/21°C以下）のみを充填してください。従来タイプの床用洗剤を追加しないでください。洗剤を追加すると、ec-H2O システムが故障する可能性があります。

   従来の洗浄 - 洗浄液タンクに水を入れます（水温は60°C/140°Fを越えないこと）。容器に記載された混合比率に従って、推奨される洗剤を洗浄液タンクに注入してください。



注意：従来の洗浄を行う場合、推奨された市販の洗剤のみを使用してください。不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカー保証の対象外となります。

警告：引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

注記：従来タイプの洗剤を洗浄液タンクに入れた状態で、ec-H2Oシステムを使用しないでください。ec-H2Oシステムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜き取り洗浄し、きれいな冷水を充填してください。従来タイプの洗剤が原因でec-H2Oシステムが故障する可能性があります。

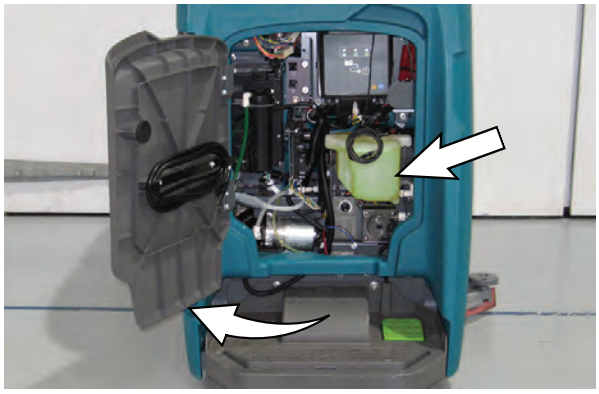
4. 給水を終了し、黄色のストレーナーから注水ホースを取り外します。

5. 洗浄液タンクのキャップを元に戻します。

Severe Environment洗浄液タンクの充填（ec-H2Oモデルオプション）

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. アクセスパネルを手前に引いて開け、Severe Environmentタンクにアクセスします。



2. 本機からSevere Environmentタンクを取り外し、床に置いてください。

注記：電気部品の損傷を防ぐため、タンクに洗剤を注入する前に本機からSevere Environmentタンクを取り外してください。

3. Severe Environmentタンクから黒色のキャップを外し、推奨される洗剤を希釈せずに追加します。水を追加しないでください。

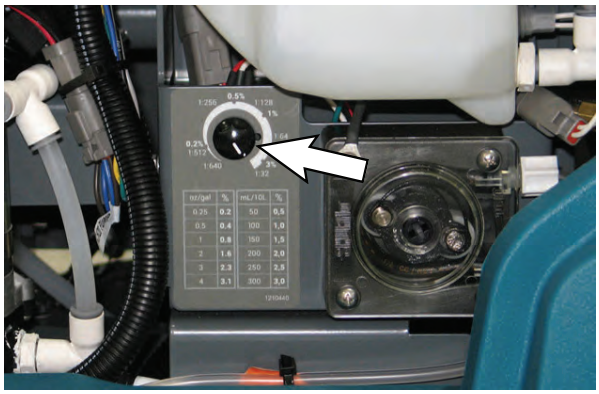
警告：引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

注意：Severe Environmentタンクには承認を受けた市販の洗剤のみを使用してください。d-リモネンベースの洗剤は使用しないでください。不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカー保証の対象外となります。

注記：操作中に洗剤が切れることを防ぐため、洗浄液タンクの充填時にSevere Environmentタンクも充填することを推奨します。

4. Severe Environmentタンクのキャップを元に戻します。

5. 洗剤の混合比率の説明に従って、洗剤の混合比率ノブを調整します。



ec-H2O水質調整カートリッジ（ec-H2Oモデル）

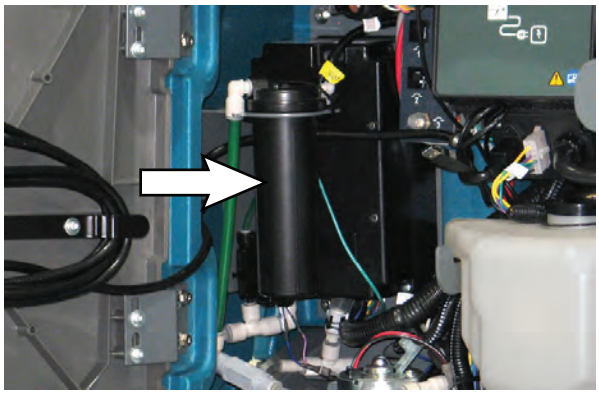
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

ec-H2Oシステムには水質調整カートリッジが備えられています。カートリッジは本機の配管系統のスケール付着を防止するように設計されています。

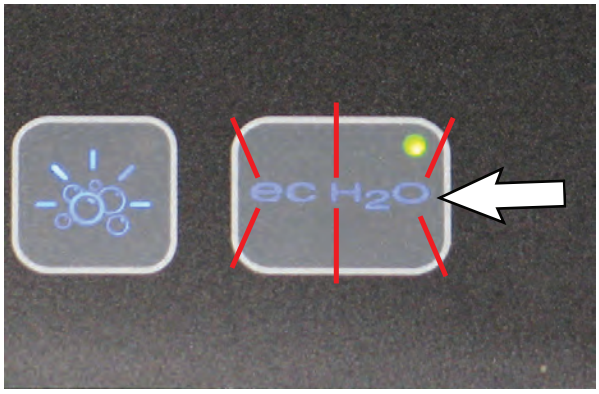
カートリッジが水使用量の最大限度に達するか、有効期限に達するかのいずれか早い方の時点で、カートリッジの交換が必要になります。

本機の使用状況や取り扱い方によりますが、新しいカートリッジの耐用期間は12～24ヶ月です。

全てのカートリッジには製造日が記載されています。未使用のカートリッジの品質保持期間は製造日から1年です。新しいカートリッジに交換した際には、ec-H2Oモジュールのタイマーをリセットしてください。「ec-H2O水質調整カートリッジの交換」を参照してください。



コントールパネルは以下のコードでカートリッジの交換時期を通知します。ec-H2Oアイコンが青色と赤色に交互に点滅します。詳細は「サービスインジケーターコード」を参照してください。



Pro-Membraneモデル

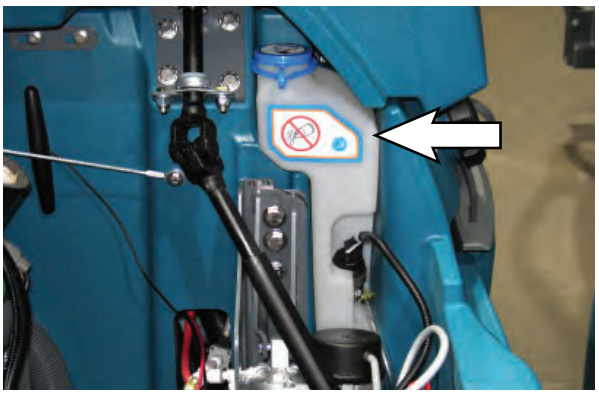
Pro-Panelモデル

注意：本機を初めて使用するとき、および水質調整カートリッジの交換後は、選択した洗浄液流量の設定がec-H2Oシステムによって自動的に最大で75分間無効になります。

自動バッテリー補水タンクの充填（オプション）

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 自動バッテリー補水タンクにアクセスできるよう、汚水回収タンクを持ち上げます。汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。



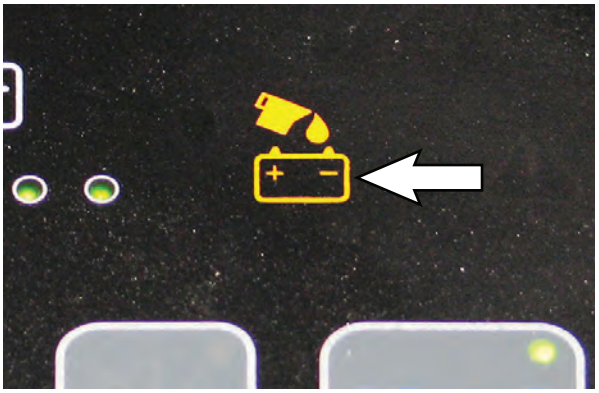
2. 自動バッテリー補水タンクを、充填しやすい位置にセットします。

3. 自動バッテリー補水タンクから青色のキャップを外します。

4. 蒸留水をタンクに注入します。損傷しやすい構成部品に水がかからないように、自動バッテリー補水タンクに充填する際には漏斗を使用してください。

安全のために：本機を使用する際、自動バッテリー補水タンクの充填には必ず蒸留水のみを使用してください。

5. タンクの再充填が必要になると、自動バッテリー補水インジケーターが点灯しユーザーに蒸留水の追加を促します。詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。



Pro-Membraneモデル

Pro-Panelモデル

6. 自動バッテリー補水タンクの青色キャップを元の位置に戻し、自動バッテリー補水タンクを真っ直ぐに収納位置に戻してください。

コントロールパネル操作

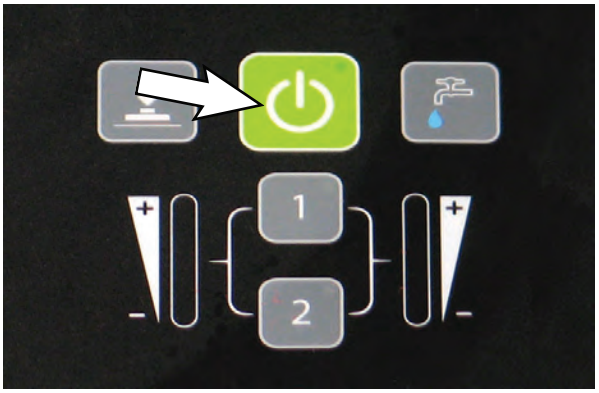
コントロールパネル操作では、管理者コントロール機能を使用して、ロックアウト機能を設定できます。この機能は、オペレーターによる設定の変更や保存を防止します。マニュアルの裏面に記載された「管理者コントロール」の説明を参照してください。

管理者コントロール機能を使用することで、いつでも同じ状態で再現可能な清掃作業ができるため、オペレーターの経験に関わらず作業品質を維持できます。また、オペレーターのトレーニング時間を短縮できます。

コントロールの操作 - PRO-MEMBRANEコントロール

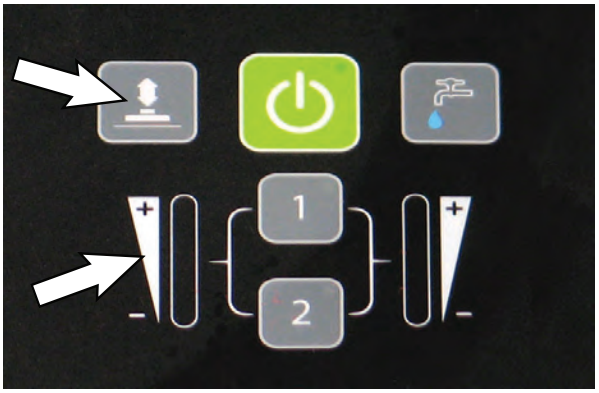
1-STEPボタン

キーがオンの状態で1-STEPボタンを押して、洗浄機能を有効にします。洗浄ヘッドとスクイージーが床まで下がります。ボタンをもう一度押すと洗浄機能が停止し、洗浄ヘッドとスクイージーの位置が上がります。



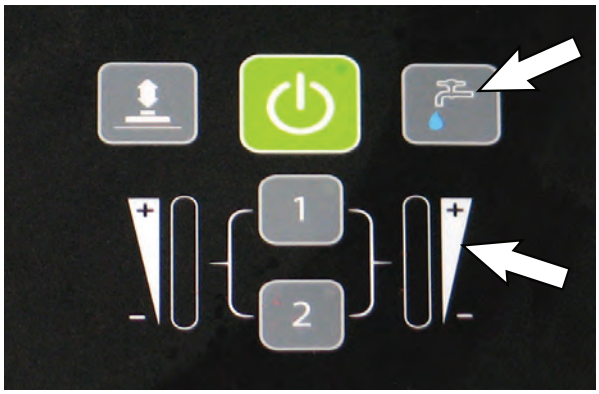
ブラシ圧ボタン

ブラシ圧ボタンを押してブラシ圧を増減します。ブラシ圧インジケーターに圧力設定が表示されます。LED 1個 = 低圧、LED 2個 = 高圧。



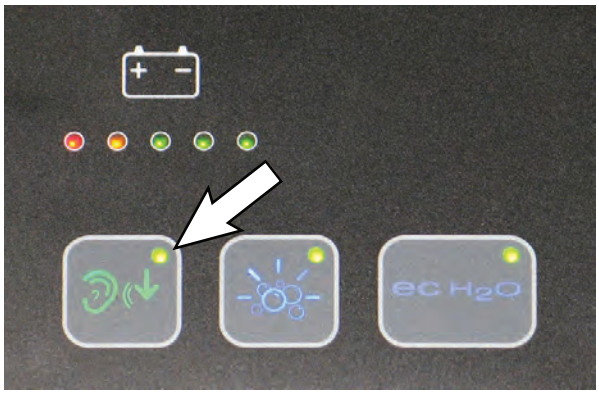
洗浄液流量ボタン

洗浄液流量ボタンを押して洗浄液の流量を増減します。洗浄液流量インジケーターに洗浄液の流量設定が表示されます。LED消灯 = 流量なし、LED 1個 = 低流量、LED 2個 = 中流量、LED 3個 = 高流量。



Quiet-Modeボタン（オプション）

Quiet-Modeボタンを押すと、バキュームモーター音が下がります。アクティブの時はLEDが点灯します。ボタンをもう一度押すとオフになります。



Severe Environmentボタン
（ec-H2Oモデルオプション）

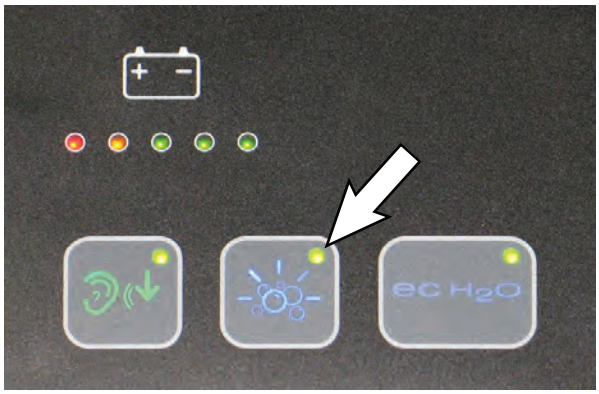
注記：Severe Environmentモードがオンになると、ec-H2Oシステムが自動的に停止し、ブラシ圧と洗浄液流量の設定がどちらも「高」になります。オフになると元の設定に戻ります。Severe Environmentモードを長期間作動させる場合、必要に応じて洗浄液の流量と接地圧をより低い設定に変更すると洗浄液と洗剤の使用量が抑えられ、バッテリーの稼働可能時間を最適化できます。

Severe Environmentボタンを押すと、頑固な汚れが蓄積されたエリアに対して洗剤の洗浄効果を増強します。

ボタンを1回押すと、30秒間ほど集中洗浄を行います。散布時に隅にある緑色のLEDがゆっくりと点滅します。最後の5秒間はLEDが速く点滅し、散布がまもなく終了することを通知します。

そのまま続けて集中洗浄を行うには、緑色のLEDが緑色の点灯に変わるまで、ボタンを3秒間押し続けてください。ボタンを押すといつでも停止できます。

Severe Environmentタンクが空になると、ユーザーにアラートを通知するため気泡アイコンが15秒間点滅します。タンクが空の状態でボタンが押された場合は、タンクが再充填されるまで気泡アイコンが15秒間点滅し続けます。



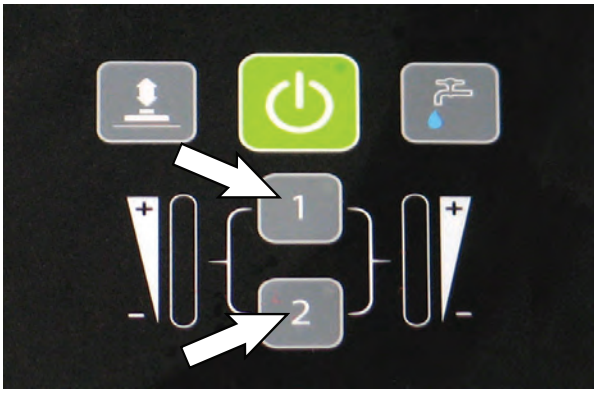
プリセットゾーンコントロールボタン

注記：ゾーン3は、シリアル番号11003113より前に製造された機械でのみ使用できます。

ゾーンコントロールボタンを使用して、異なる洗浄液の流量、ブラシ圧、洗浄速度、洗浄モードを選択し、最大3つのゾーンをプリセットできます。

ゾーン 1 = プリセットゾーンコントロールボタン 1
ゾーン 2 = プリセットゾーン コントロールボタン 2
ゾーン 3 = プリセットゾーン コントロールボタン 1 & 2

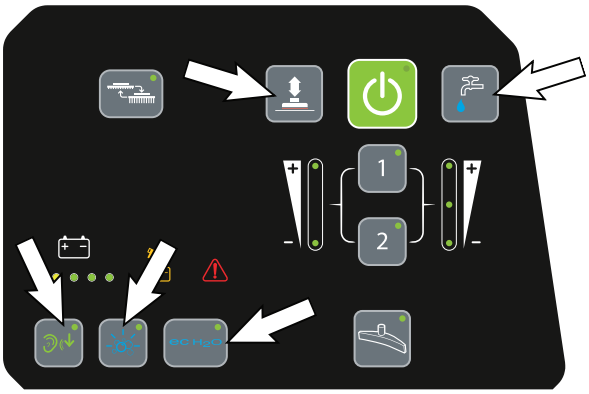
ゾーンコントロールボタンは、異なる洗浄用途向けに工場出荷時にプリセットされています。ゾーン 3 を使用するには、ゾーンボタン 1 と 2 を同時に押してください。設定が有効になると隅にある緑色のLEDが点灯します。



ゾーンコントロールボタンを異なる洗浄用途向けにプリセットするには、以下のリストから希望する設定を選択して、緑色のLEDが3回点滅するまでゾーンボタンを押し続け、プリセットの設定を保存します。ゾーン 3 をプリセットするには、ゾーンボタン 1 と 2 を同時に押し続けてください。

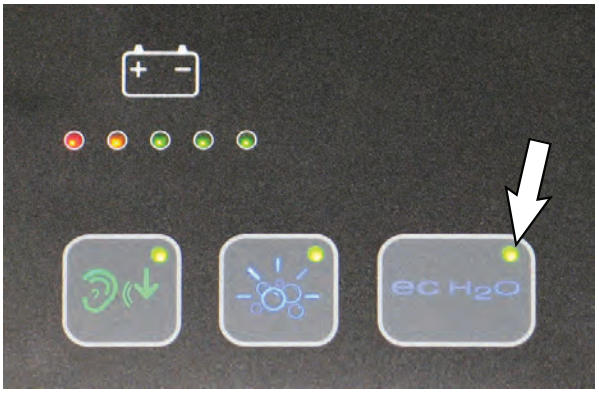
- ブラシ圧の設定
- 洗浄液の流量
- Quiet-Modeのオン/オフ
- ec-H2Oシステムのオン/オフ（オプション）
- Severe Environmentモードのオン/オフ（オプション）
- 最大洗浄速度（「管理者コントロール」を参照）

注記：Severe Environmentモードとec-H2Oシステムを組み合わせたプリセットはできません。



ec-H2Oボタン/インジケーター（オプション）

ecH2Oシステムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。ec-H2Oオプションが装備された機種の場合、青色のec-H2Oインジケーターが表示されます。ec-H2Oが作動すると緑色のLEDが点灯します。ec-H2Oシステムをオフにするには、ec-H2Oボタンを押します。緑色のLEDインジケーターが消えます。

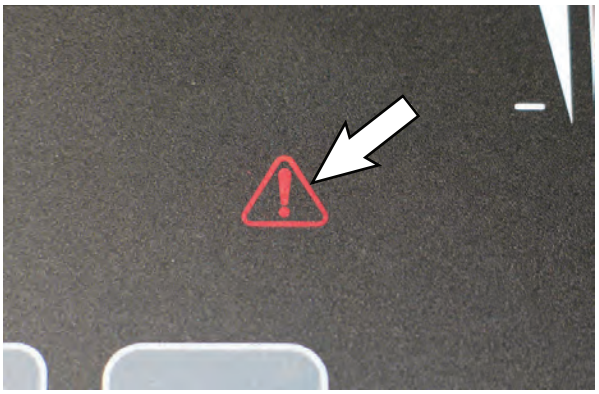


ec-H2Oインジケーター	状態
緑色の点灯	正常な動作状態
青色/赤色の点滅	水質調整カートリッジの有効期限が経過しました。カートリッジを交換してください。
赤色の点灯または点滅	システム障害が発生しました。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

注記：ec-H2Oシステムで障害が発生した場合、本機は ec-H2Oシステムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。ec-H2Oの故障が修復するまでサービスインジケーターのアイコンは赤色に点灯し続けるか赤色に点滅し続けます。

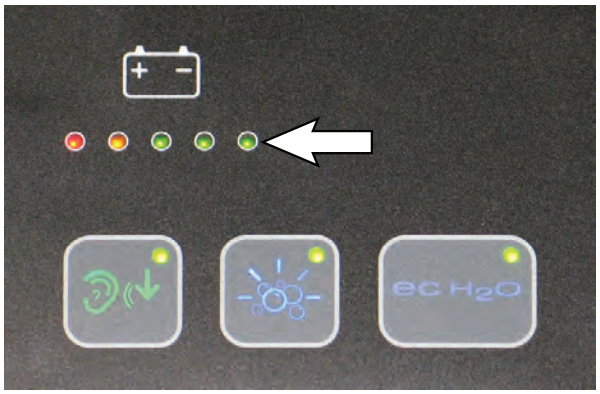
サービスインジケーター

本機または搭載充電器が故障を検出すると、サービスインジケーターが点灯し、点滅し始めます。バッテリー放電インジケーターライトも故障コードを点滅します。本機の故障診断については「サービスインジケーターコード」を参照してください。



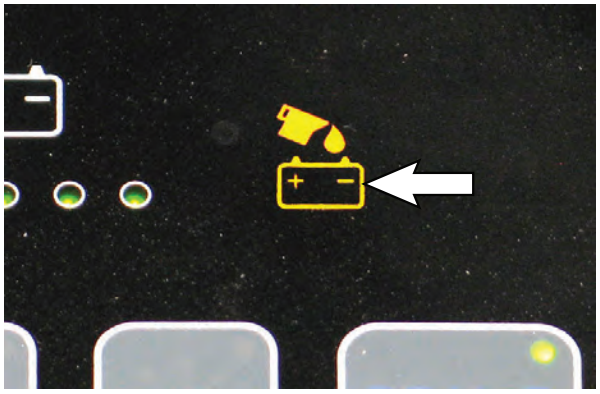
バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターがすべて点灯します。放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。赤いライトが点滅しても、本機の移動は可能です。つまり、ユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。



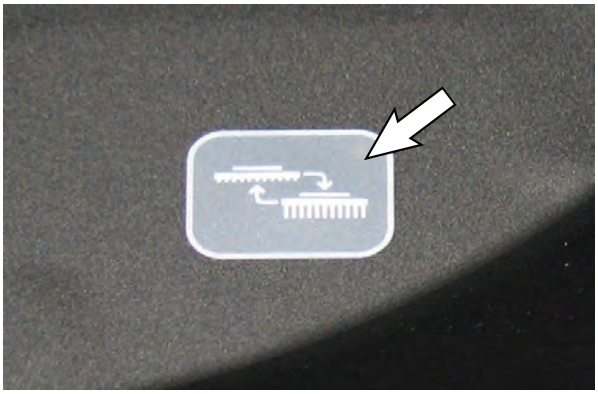
自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

自動バッテリー補水インジケーターは、バッテリー補水タンクが空になり、補水が必要になると点滅します（図）。バッテリーの損傷を防止するため、タンクが再充填されない場合はその後10時間運転した後に本機の洗浄機能が停止します。インジケーターが高速点滅すると、洗浄機能が停止します。蒸留水を追加して、キースイッチで再始動するとインジケーターの点滅が止まります。「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。



ブラシ交換ボタン

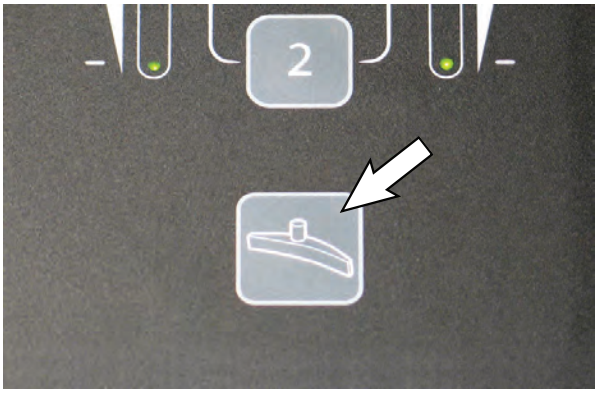
3ラグブラシ付きの機種：ブラシ交換ボタンを押します。洗浄ヘッドが完全に上がり、洗浄ブラシを洗浄ヘッドの下から取り外して、再度取り付けられるようになります。



磁気ブラシを装備した機種: 洗浄ヘッドからブラシを外すため、ブラシ交換ボタンを押します。洗浄ヘッドが完全に上がり、洗浄ブラシを洗浄ヘッドから取り外し、ヘッドを少しだけ下げてブラシを洗浄ヘッドの下から取り出します。洗浄ヘッドが少し下がった状態でブラシを再度取り付けます。

バキュームファンボタン

バキュームファンボタンを押して、バキュームファンをオンにします。再度ボタンを押し、バキュームファンをオフにします。1-Stepボタンを押すと、バキュームファンは自動的にオンになります。



コントロールの操作 - Pro-Panelコントロール

ホーム画面

ホーム画面のインターフェースに表示されるユーザーモードは2種類あります。

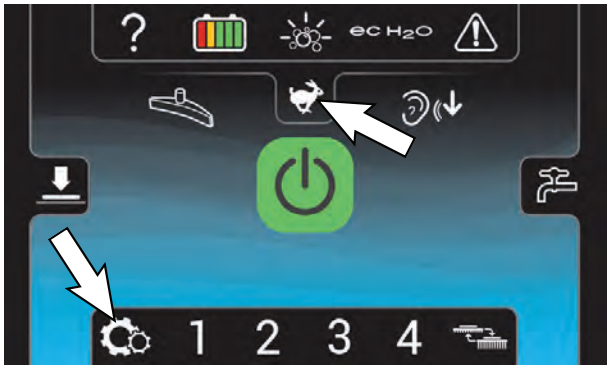
管理者モード - すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機を運転できるほか、オペレーターモードに対して許可と制限やログイン機能を設定することができます。

オペレーターモード - 管理者によって許可や制限が制御された状態で本機の運転ができます。

工場出荷時の初期状態では本機は管理者モードで始動します。

オペレーターモードに対する許可と制限やログイン機能を使用してホーム画面を設定するには、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

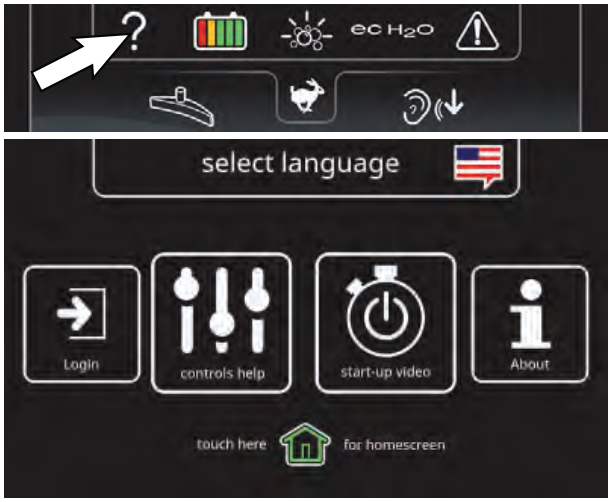
管理者モードのホーム画面 では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンにアクセスできます。



オペレーターモードのホーム画面 では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンへのアクセスが制限されます。

ヘルプボタン

初めて本機を使用するユーザーは、ヘルプボタン（？）を押してヘルプ画面にアクセスできます。ヘルプ画面では、画面上に表示する様々な言語の選択、ログイン設定の有効化、コントロールパネルのアイコンの識別、本機のスタートアップビデオの再生、本機のシステム情報へのアクセスを行うことができます。

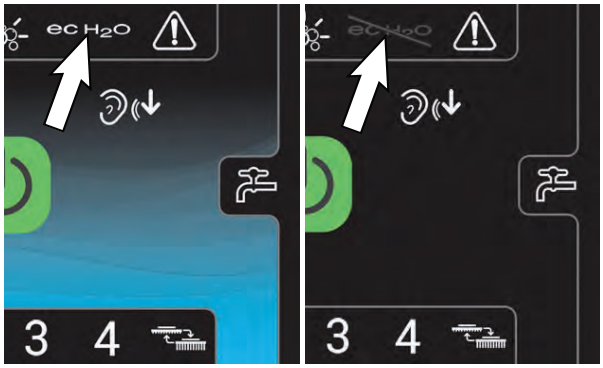


ログイン画面

管理者モードのログインが有効になっている場合、キースイッチでの始動時にログイン画面が表示されます。割り当てられたログインコードを入力し、緑色の矢印を押して、ホーム画面にアクセスします。始動時にログインを有効化する方法については、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

ec-H2Oインジケーター（オプション）

ecH2Oシステムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。ec-H2Oアイコンがホーム画面に表示され、システムが始動したことを知らせます。ec-H2Oシステムをオフにするには、ec-H2Oボタンを押します。アイコンの上に斜線が付くと、ec-H2Oシステムのオフ状態を示します。



1-STEPボタン

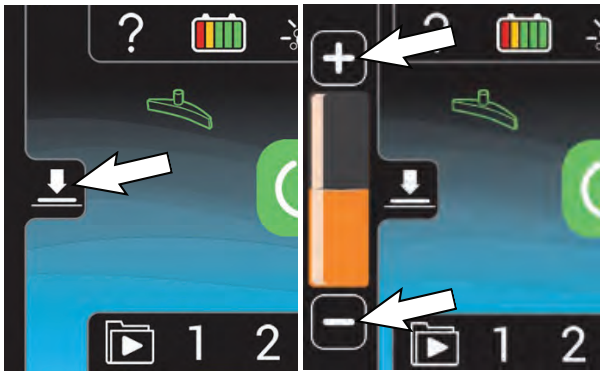
1-STEPボタンを押して、洗浄機能を有効にします。洗浄ヘッドとスクイージーが床まで下がります。ボタンをもう一度押すと洗浄機能が停止し、洗浄ヘッドとスクイージーの位置が上がります。

バキュームファンボタン

バキュームファンボタンを押して、バキュームファンをオンにします。再度ボタンを押し、バキュームファンをオフにします。1-Stepボタンを押すと、バキュームファンは自動的にオンになります。

ブラシ圧ボタン

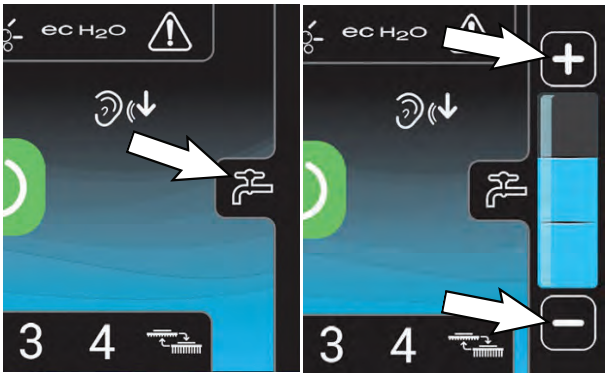
ブラシ圧ボタンを押して、ブラシ圧インジケーターを表示します。（+）ボタンを押して、ブラシ圧を上げます。（-）ボタンを押して、ブラシ圧を下げます。



注記：ブラシ圧が洗浄条件に対して高すぎる圧力に設定されている場合、より低いブラシ圧の設定に自動的に変わり、インジケーターが点滅し始めます。インジケーターが点滅したら、ブラシモーターの過負荷を防止するためにブラシ圧を下げてください。

洗浄液流量ボタン

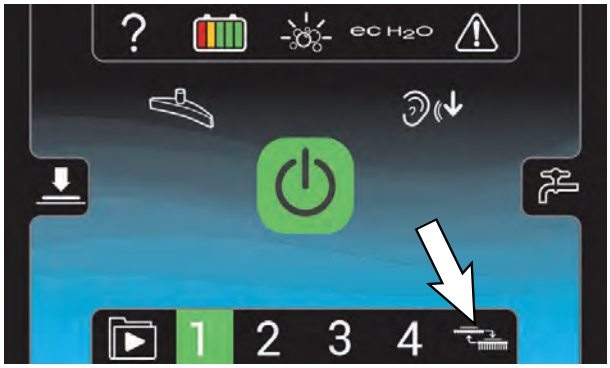
洗浄液流量ボタンを押すと洗浄液流量インジケーターが表示されます。（+）記号を押して洗浄液流量を上げます。（-）記号を押して洗浄液流量を下げるかオフにします。



ブラシ交換ボタン

標準ブラシを装備した機種: ブラシ交換ボタンを押します。洗浄ヘッドが完全に上がり、洗浄ブラシを洗浄ヘッドの下から取り外して、再度取り付けられるようになります。

磁気ブラシを装備した機種: 洗浄ヘッドからブラシを外すため、ブラシ交換ボタンを押します。洗浄ヘッドが完全に上がり、洗浄ブラシを洗浄ヘッドから取り外し、ヘッドを少しだけ下げてブラシを洗浄ヘッドの下から取り出します。洗浄ヘッドが少し下がった状態でブラシを再度取り付けます。



Severe Environmentボタン
（ec-H2Oモデルオプション）

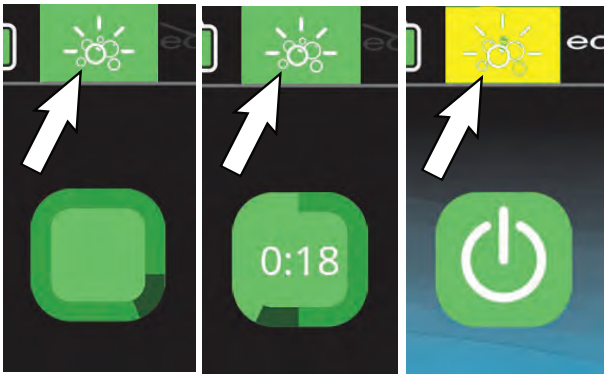
Severe Environmentボタンを押すと、頑固な汚れが蓄積されたエリアに対して洗剤の洗浄効果を増強します。

ボタンを1回押すと、30秒間の洗剤洗浄力の強化機能が有効になります。ボタンが緑色に変わり、タイマーが30秒間のカウントダウンを開始します。ボタンを押すといつでも停止できます。

洗浄力の強化機能を継続させるには、タイマーがそのまま点灯するまでボタンを3秒間押し続けてください。ボタンを押すといつでも停止できます。

Severe Environment洗剤タンクが空になると、ユーザーにアラートを通知するために、ボタンが黄色に点滅します。

注記：Severe Environmentモードがオンになると、ec-H2Oシステムが自動的に停止し、ブラシ圧と洗浄液流量の設定がどちらも「高」になります。オフになると元の設定に戻ります。Severe Environmentモードを長期間作動させる場合、必要に応じて洗浄液の流量と接地圧をより低い設定に変更すると洗浄液と洗剤の使用量が抑えられ、バッテリーの稼働可能時間を最適化できます。



Quiet-Modeボタン（オプション）

音量規制のある場所では、Quiet-Modeボタンを押して、バキュームモーター音を下げます。作動するとボタンが緑色に変わります。ボタンをもう一度押すとオフになります。

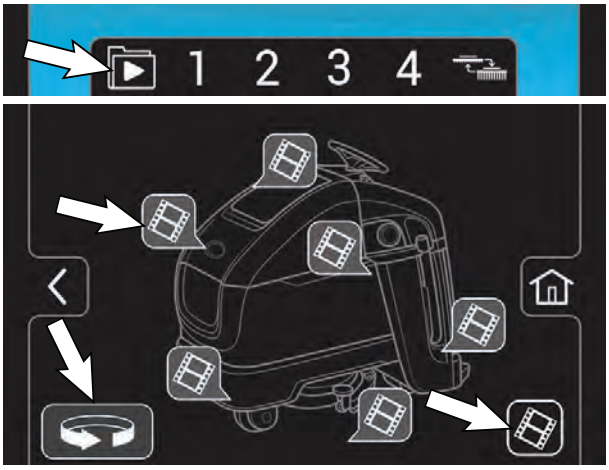
注記：Quiet-Modeが作動していると水の吸引力が若干低下します。

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターがすべて点灯します。放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。つまり、ユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。

ビデオチュートリアルボタン
（オペレーターモードのホーム画面）

ビデオチュートリアルボタンを押して、ビデオチュートリアル画面にアクセスします。このチュートリアルには、具体的な操作方法や整備手順についてのビデオが含まれています。ビデオボタンを押して、ビデオを開始します。回転ボタンを押すと、他のビデオも参照できます。右下のビデオボタンを押すと、他のチュートリアルビデオのリストが表示されます。



プリセットゾーンコントロールボタン

ゾーンコントロールボタンを使用し、異なる洗浄液の流量、ブラシ圧、洗浄速度、洗浄モードを選択して、最大4つのゾーンをプリセットします。

4つのゾーンコントロールボタンは、異なる洗浄用途向けに工場出荷時にプリセットされています。ゾーンコントロールボタンは、ゾーンが有効になると緑色に変化します。

注記：工場出荷時のZone Settingsを変更できるのは管理者モードのみです。マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

サービスインジケーターボタン

本機で異常が検出されると、サービスインジケーターボタンが黄色または赤色に点滅します。サービスインジケーターボタンを押して、故障画面を表示します。

黄色の点滅は本機を修理する必要がある警告を示しますが、本機は運転可能です。赤色に点滅した場合、本機の電源が切れ、修理を必要とする故障を知らせます。「故障画面」を参照してください。

故障画面

異常が最初に検出されると、異常を知らせるために以下の故障画面が自動的に表示されます。

画面上部の左と右の矢印ボタンを押して、故障画面全体をスクロールします。

黄色の本機の故障画面 - 本機で異常が検出されました。故障コードは故障アイコンの下に表示されます。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

青色および赤色に点滅するec-H2O画面 - 水質調整カートリッジの有効期限が切れました。「ec-H2O水質調整カートリッジの交換」を参照してください。

黄色のec-H2O故障画面 - 本機がec-H2Oシステムの水質または配管の異常を検出しました。

赤色のec-H2O故障画面 - 本機がec-H2Oシステムの電気系統の異常を検出しました。

故障コードはec-H2Oアイコンの下に表示されます。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

注記：ec-H2Oシステムで障害が発生した場合、本機は ec-H2Oシステムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。サービスインジケーターボタンは、ec-H2Oの故障が修理されるまで点滅し続けます。

黄色の自動バッテリー補水故障画面 - 自動バッテリー補水タンクが空であり、補水が必要です。バッテリーの損傷を防止するため、タンクが再充填されない場合はその後10時間運転した後に本機の洗浄機能が停止します。蒸留水をバッテリー補水タンクに追加して、故障コードの表示を消すためにキースイッチで始動します。「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

赤色の自動バッテリー補水
故障画面 - 自動バッテリー補水タンクが空であり、補水が必要です。洗浄機能はタンクが再充填されるまで無効になります。蒸留水をバッテリー補水タンクに追加して、キースイッチで再始動すると故障コードの表示が消えます。「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

本機の操作

安全のために：オペレーターマニュアルを読み、その内容を理解するまで、本機を操作しないでください。

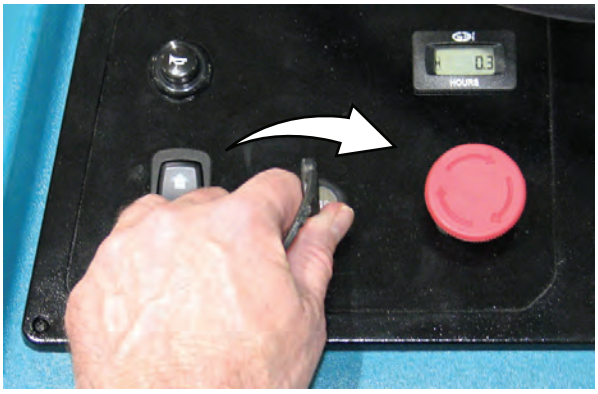
運転前チェックリスト

- ☐ バッテリー液を確認してください。必要に応じて充填してください。
- ☐ Smart-Fill自動バッテリー補水オプションを装備した機種: 自動バッテリー補水タンクを点検してください。必要に応じて蒸留水を充填してください。
- ☐ バッテリー充電レベルを点検してください。必要に応じて充電してください。
- ☐ ブラシの磨耗や損傷を点検してください。メイン洗浄ブラシに絡まったワイヤ、糸くずなどを取り除いてください。
- ☐ 洗浄ヘッドスカートに損傷がないか確認し、スカートが正しく洗浄ヘッドに取り付けられていることを確認してください。
- ☐ スクイージーウォータートラップを清掃してください。
- ☐ スクイージーバキューム ホースのデブリと詰まりを点検してください。
- ☐ スクイージーの損傷、摩耗を点検してください。
- ☐ 汚水回収タンクの汚水を抜き取り、きれいに掃除してあるか確認してください。
- ☐ 汚水回収タンクのカバーシールに磨耗や損傷がないか点検してください。
- ☐ 汚水回収タンクのデブリ トレイを清掃してください。
- ☐ フロート停止スクリーンを清掃してください。
- ☐ ec-H2O洗浄: 従来タイプの洗剤/還元剤がすべて排出され、洗浄液タンクのすすぎが完了していることを確認してください。
- ☐ ec-H2O洗浄: 洗浄液タンクがきれいな冷水で満たされていることを確認してください。
- ☐ SE（Severe Environment）オプションを装備した機種: 洗剤タンクのレベルを点検してください。洗剤タンクを必要に応じて充填してください。
- ☐ ステアリングが適切に動作するか点検してください。
- ☐ ホーンを点検してください。
- ☐ メンテナンス記録を点検し、メンテナンス要件を確認してください。

本機の操作

コントロールパネルの操作手順については、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

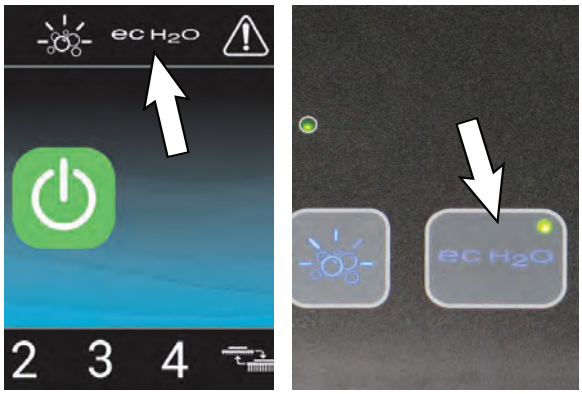
1. キースイッチを「オン」位置に回します。



2. オペレータープラットホームに両足を乗せ、かかとでオペレータープレゼンスペダルを踏めるようにします。右足はグリーンゴーペダルから離れています。

3. ec-H2Oモデル - 本機をキースイッチで始動すると、ec-H2Oシステムは自動的に作動します。ec-H2Oインジケーターがコントロールパネルに表示され、システムが始動したことを知らせます。

注意：洗浄液タンクに洗剤を入れて操作する従来の洗浄の場合、ec-H2Oスイッチを押してec-H2Oシステムの電源スイッチを必ず切ってください。誤って洗剤がec-H2Oシステム内を循環すると、システム障害が発生します。故障コードの表示を消すには、洗浄液タンクを空にして、きれいな水を補充して、ec-H2Oシステムを作動させます。故障が繰り返し発生する場合、故障コードの表示が消えるまで、キースイッチを押し続けます。詳細は「サービスインジケーターコード」を参照してください。



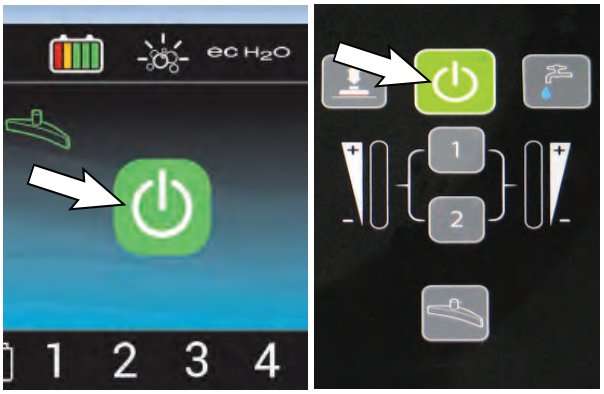
Pro-Panel Pro-Membrane

4. 前進/後進スイッチを運転する方向に入れてください。

注記：前進/後進スイッチライトが急速に点滅している場合、グリーンゴーペダルを右足で踏んでいないか確認してください。ライトが急速に点滅している場合、本機は前進/後進スイッチの入力を受け付けません。

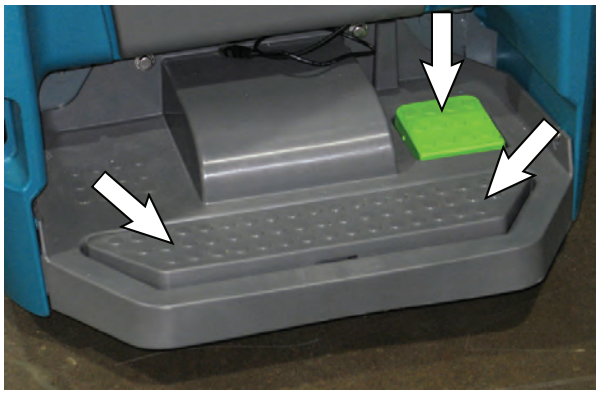
注記：オペレータープレゼンスペダルが解除された時はいつでも、前進/後進スイッチをリセットする方向に押す必要があります。

5. 1-Stepボタンを押して、洗浄機能を有効にします。洗浄ヘッドとスクイージーが床まで下がります。

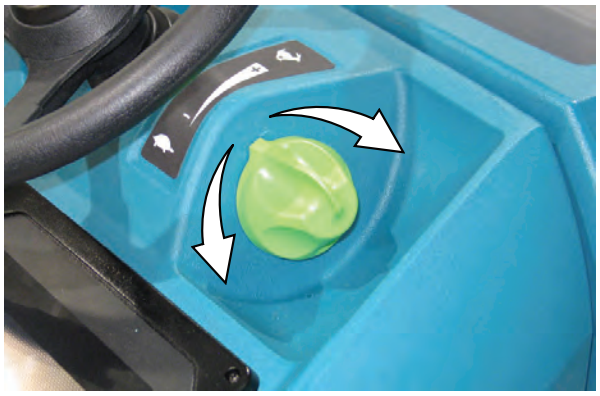


Pro-Panel Pro-Membrane

6. オペレータープレゼンスペダルに両方のかかとを乗せた状態で、右足でグリーンゴーペダルを踏むと洗浄が始まります。



7. スピードダイヤルを希望の速度まで回して、洗浄速度を調整します。



8. 本機の運転中に1-Stepボタンを押すと、洗浄操作が停止します。スクイージーがしばらく床に下がったまま残りの水を吸引してから上がります。

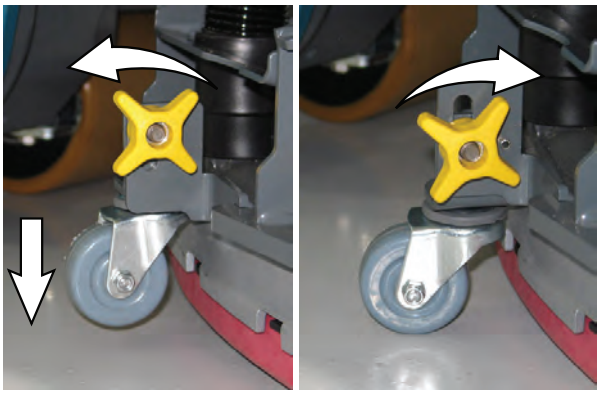
9. グリーンゴーペダルから足を離して本機を停止し、キーをオフに回します。

ダブル洗浄

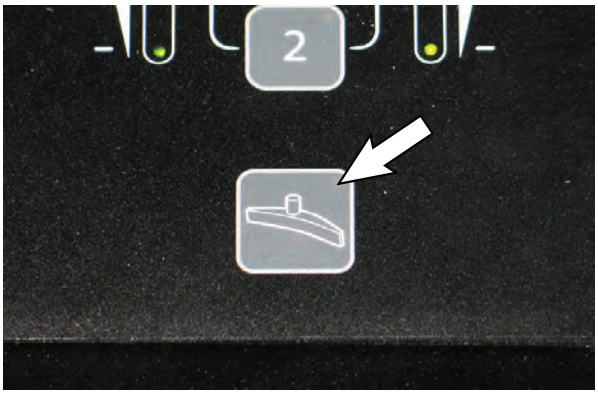
ダブル洗浄は、汚れのひどい場所を2回以上洗浄するプロセスです。1回目は、洗浄液を床に浸透させるために、スクイージーを上げて行います。汚れがひどい場所では、ダブル洗浄を実施します。

ダブル洗浄は、「ec-H2O洗浄システム」（オプション）または「従来の洗浄」方法を使用して実施できます。

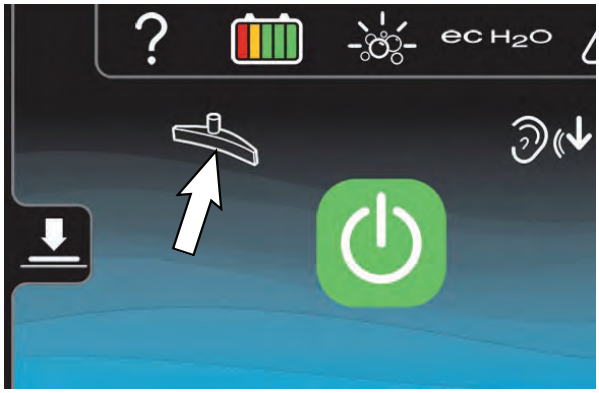
ダブル洗浄キャスターノブを緩め、ダブル洗浄キャスターを下げ、スクイージーが上がった状態でノブを締めて固定します。



Pro-Membraneコントロールを装備した機種: 1-Stepボタンを押し、次にバキュームファンボタンを押します。バキュームファンのライトが消え、その数秒後バキュームファンは動作を停止します。



Pro-Panelを装備した機種：1-Stepボタンを押し、次にバキュームファンボタンを押します。バキュームファンボタンが消灯し、バキュームファンの動作が停止します。



汚れのひどい場所を洗浄します。床に洗浄液が浸透するまで3～5分待ってください。

安全のために：本機を使用するとき、斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。

2回目に床を洗浄する前に、ダブルスクラブキャスターを上げた状態に固定するため、ダブルスクラブキャスターノブを緩め、ダブルスクラブキャスターを上に上げてキャスターノブを締め付けます。バキュームファンボタンを押して、バキュームファンをオンにします。ボタンのライトが点灯します。2回目の床の洗浄では、洗浄液を回収します。

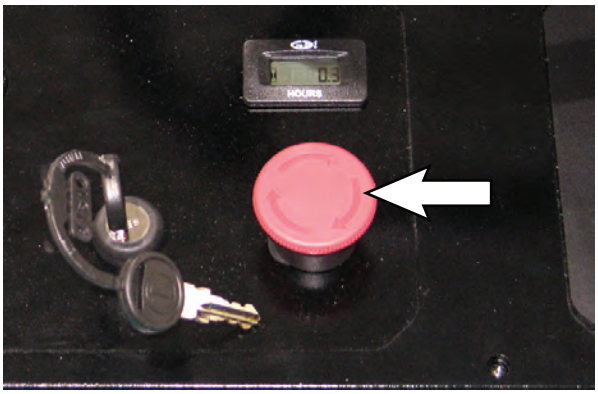
警告：引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

注記：必要に応じ、床の2回目の洗浄では、洗浄液の流量を減らしてください。

注記：ダブル洗浄は、洗浄液が棚の下に流れたり、商品を損傷するような場所では推奨しません。

非常停止ボタン

緊急時には、非常停止ボタンを押します。この赤色のボタンは、本機に接続されたすべての電源を切ります。電源を復帰させるには、ボタンを時計回りに回して、キーを再始動させます。



本機の運転時

警告：引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください

1. 清掃幅はそれぞれ 2 in/5 cm重なるようにしてください。
2. 床の表面仕上げを傷つけないように本機の動きを維持してください。
3. スクイージーブレードの筋が残る場合は、ブレードを布で拭いてください。
4. 本機が柱や壁にぶつからないようにしてください。
5. スクイージーへの損傷を防ぐため、作業場から作業場へ移動する時はスクイージーが本機下部の中心に固定されているのを確認してください。

安全のために：本機を使用する際には、出入り口、低い天井、張り出しを通る時に常に上部の隙間を空けてください。特にデュアルディスクモデルはスクイージーが本機の後ろ幅まで伸びるので、出入り口や狭い開口部を通る際はゆっくり運転してください。

6. 斜面やランプでは本機を方向転換させないでください。
7. 本機の排水や補水を行う際は、必ずオプションのSevere Environmentタンクを洗剤で補充してください。

安全のために：本機を使用する場合は、傾斜が9%を超える斜面を洗浄したり、傾斜が9%を超える斜面を移動することは避けてください。

8. 泡が過剰に発生する場合は、推奨消泡剤を汚水回収タンクに入れてください。

   注意：泡が多すぎるとフロート停止スクリーンが作動せず、その結果バキュームモーターが損傷する可能性があります。

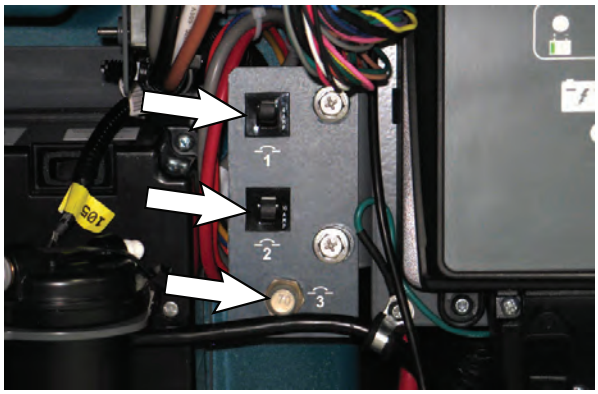
9. 汚れがひどい場所には、ダブル洗浄を行ってください。まず、スクイージーを上げたまま汚れを洗浄し、洗浄液を3～5分なじませてから、今度はスクイージーを下げて汚れを洗浄してください。
10. 本機から離れる場合は、平らな場所に停め、本機の電源をオフにしてキーを抜いてください。
11. 周囲温度が110ºF/43ºCより高い、または36ºF/2ºCより低い場所で本機を運転しないでください。

サーキットブレーカーパネル

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

本機は、電流過負荷から本機を保護する、リセット可能なサーキットブレーカーを装備しています。サーキットブレーカーが作動したら、バッテリーケーブルの接続を外し、ブレーカーが冷えてから、リセットボタンを押してブレーカーをリセットしてください。バッテリーケーブルを再接続してください。サーキットブレーカーがリセットされない、または繰返し作動する場合は、サービス担当者にご相談ください。

扉を開けてサーキットブレーカーパネルにアクセスしてください。

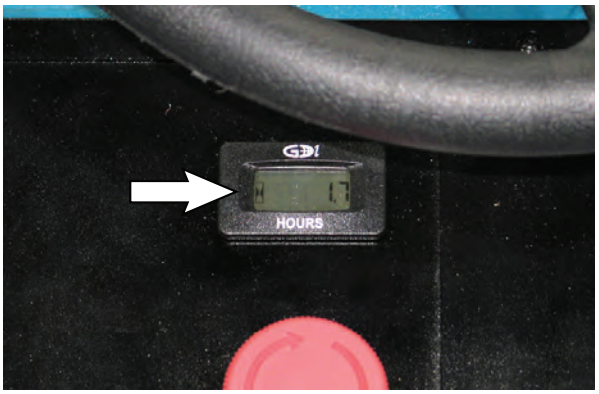


サーキットブレーカー	定格	保護回路
CB1	4 A	キースイッチ
CB2	10 A	ec-H2O自動バッテリー補水
CB3	70 A	プロペルコントローラー

安全のために：本機を点検整備する際、すべての修理は訓練を受けた担当者によって行われる必要があります。

アワーメーター

アワーメーターは本機の運転時間を記録します。特定のメンテナンス手順の実行、または整備履歴の記録のためにアワーメーターを使用します。



タンクの排水

汚水回収タンクの排水

使用後は毎回、汚水回収タンクの排水と洗浄を行ってください。

1. 本機を排水場所に移動します。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. 汚水回収タンクドレンホースをフックから取り外し、排水路の近くでホースノズルを持ち、ホースからキャップを取り外してから回収タンクの排水を行ってください。

注記：本機から汚水を抜くのにバケツを使用する場合、洗浄液タンクの注水に使用するものと同じバケツは使用しないでください。

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除します。

4. ごみトレーを取り外し、空にします。

汚水回収タンクをきれいな水ですすぎ、残りの汚れをすべてふき取ります。

安全のために：点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。電気系統が故障する可能性があります。湿らせた布を使用してください。

洗浄液タンクの排水

毎日、洗浄液タンクを空にしてください。

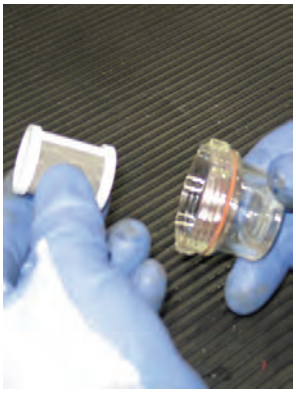
1. 本機を排水場所に移動します。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. 洗浄液タンクから残りの水を抜くには、洗浄液タンクレベルホースを洗浄液タンクから外します。

3. 洗浄液タンクをきれいな水で十分にすすぎます。タンクのすすぎ/排水後、ホースを洗浄液タンクにしっかりと接続します。

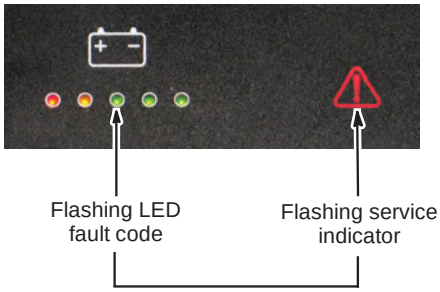
4. 50時間運転毎に洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します。フィルターを取り外す前に、洗浄液タンクを空にしてください。



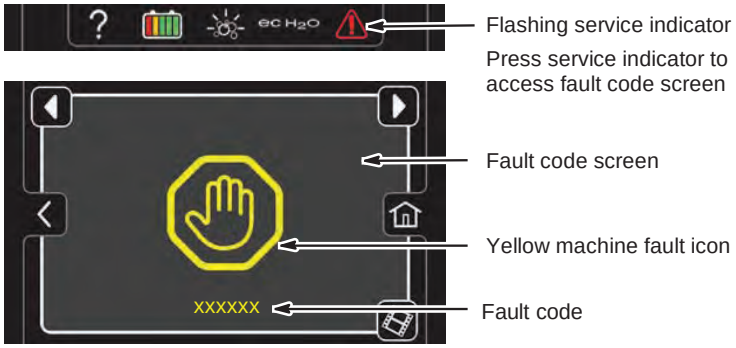
サービスインジケーターコード

本機または充電器が異常を検出するとサービスインジケーターが点滅します。問題を特定するため、次のように故障コードが表示されます。

Pro-Membrane Control Panel (LED)



Pro-Panel Controls (LCD)



LED 故障コード ☼ = 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼ ☼ ☼ ☼ ☼	0xFFF0	非常停止ボタンが有効化されています	非常停止ボタンを解除し、本機を再始動してください。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ● ● ☼ ●	0x0201	アクチュエーター開放警告	サービスセンターに連絡してください。
● ● ● ☼ ☼	0x0101	スクラブモーター開放警告	サービスセンターに連絡してください。
● ● ☼ ● ●	0x0501	バキュームモーター開放警告	サービスセンターに連絡してください。
● ● ☼ ● ☼	0x0601	洗剤ポンプ開放警告	サービスセンターに連絡してください。
● ● ☼ ☼ ●	0x0910	プロペルのブレーカー作動故障	バッテリーを外し、サーキットブレーカーをリセットしてください。問題が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ● ☼ ☼ ☼	0x0901	プロペルモーター開放警告	サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ● ● ☼	0x0301	洗浄液バルブ開放警告	サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ● ☼ ☼	0x0303	洗浄液バルブの過電流	サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ☼ ☼ ●	0xFF20	スクラブコントローラーCANの通信不良	本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
	0x0B04	バッテリー補水CANの故障	
☼ ● ● ● ☼	0x0900	プロペル I-Drive の一般的な故障	本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
	0x0903	プロペル通信損失	
	0x0904	プロペルの電源再投入が必要	
	0x0905	プロペル電流制限の故障	
	0x0920 - 0x0943	プロペルの故障	
	0x0914	推進ソレノイド ブレーキ 警告	サービスセンターに連絡してください。
☼ ● ● ☼ ●	0x0906	プロペル走行モーター短絡低異常	サービスセンターに連絡してください。
	0x0907	プロペルの走行モーター短絡高異常	
☼ ● ● ☼ ☼	0x0103	洗浄モーターの過電流	サービスセンターに連絡してください。
	0x0104	洗浄モーターの過電流 1	
	0x0105	洗浄モーターの過電流 2	

LED 故障コード ☼ = 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼ ● ☼ ● ☼	0x0902	高スロットル異常	グリーンゴーペダルを解除する、またはグリーンゴーペダルの障害物を取り除きます。本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
☼ ● ☼ ☼ ●	0x0107	スクラブ モーターの FET 異常	サービスセンターに連絡してください。
	0x0207	アクチュエーターモーターの FET 異常	
	0x0307	バルブの FET 異常	
	0x0507	バキュームモーターの FET 異常	
	0x0607	洗浄剤ポンプの FET 異常	
	0x0617	バッテリー補水ポンプの FET 異常	
☼ ● ☼ ☼ ☼	0x0503	バキュームモーターの過電流異常	サービスセンターに連絡してください。
	0x0504	バキュームの過電流 1 異常	
	0x0505	バキュームの過電流 2 異常	
☼ ☼ ● ● ●	0x0506	バキューム短絡負荷異常	サービスセンターに連絡してください。
☼ ☼ ● ● ☼	0x0603	洗剤ポンプ過電流の異常	サービスセンターに連絡してください。
	0x0604	洗剤ポンプ過電流 2 異常	
	0x0605	洗剤ポンプ過電流 1 異常	
☼ ☼ ● ☼ ●	0x0606	洗剤ポンプ短絡負荷異常	サービスセンターに連絡してください。
☼ ☼ ● ☼ ☼	0x0926	プロペル温度過上昇警告	プロペルモーターを冷ましてください。本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
☼ ☼ ☼ ● ☼	0x0106	洗浄モーターの短絡異常	サービスセンターに連絡してください。
☼ ☼ ☼ ☼ ●	0x0102	電圧/電源損失	サービスセンターに連絡してください。

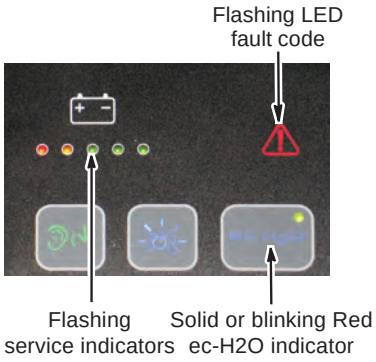
注記：その他すべての故障コードについては、テナント社のサービス代理店に連絡してください。

搭載型充電器サービスインジケーター コード

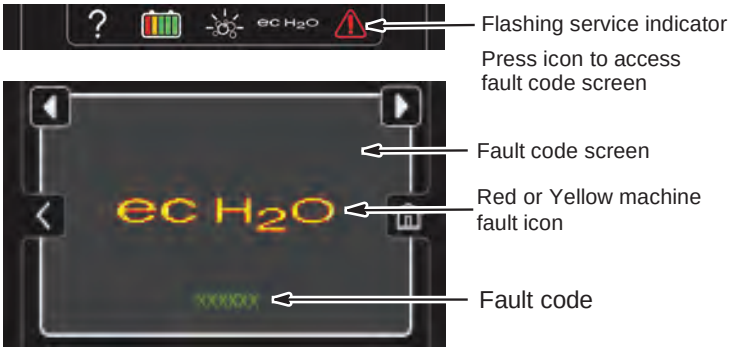
LED 故障コード ☼ = 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼ ☼ ☼ ● ●	0xF100	充電器の異常状態。	サービスセンターに連絡してください。
	0xF104	バッテリーが正しく充電されない	サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ☼ ● ●	0xF101	充電器がバッテリーパックに接続されていない。	ケーブルの接続を点検してください。故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ● ● ●	0xF102	充電器のオーバーヒート。	充電器を冷却してください。換気の良い場所に移動してください。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ☼ ☼ ●	0xF103	充電器の通信不良。	本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。

ec-H2Oシステムのサービスインジケーター コード（オプション）

Pro-Membrane Control Panel (LED)



Pro-Panel Controls (LCD)

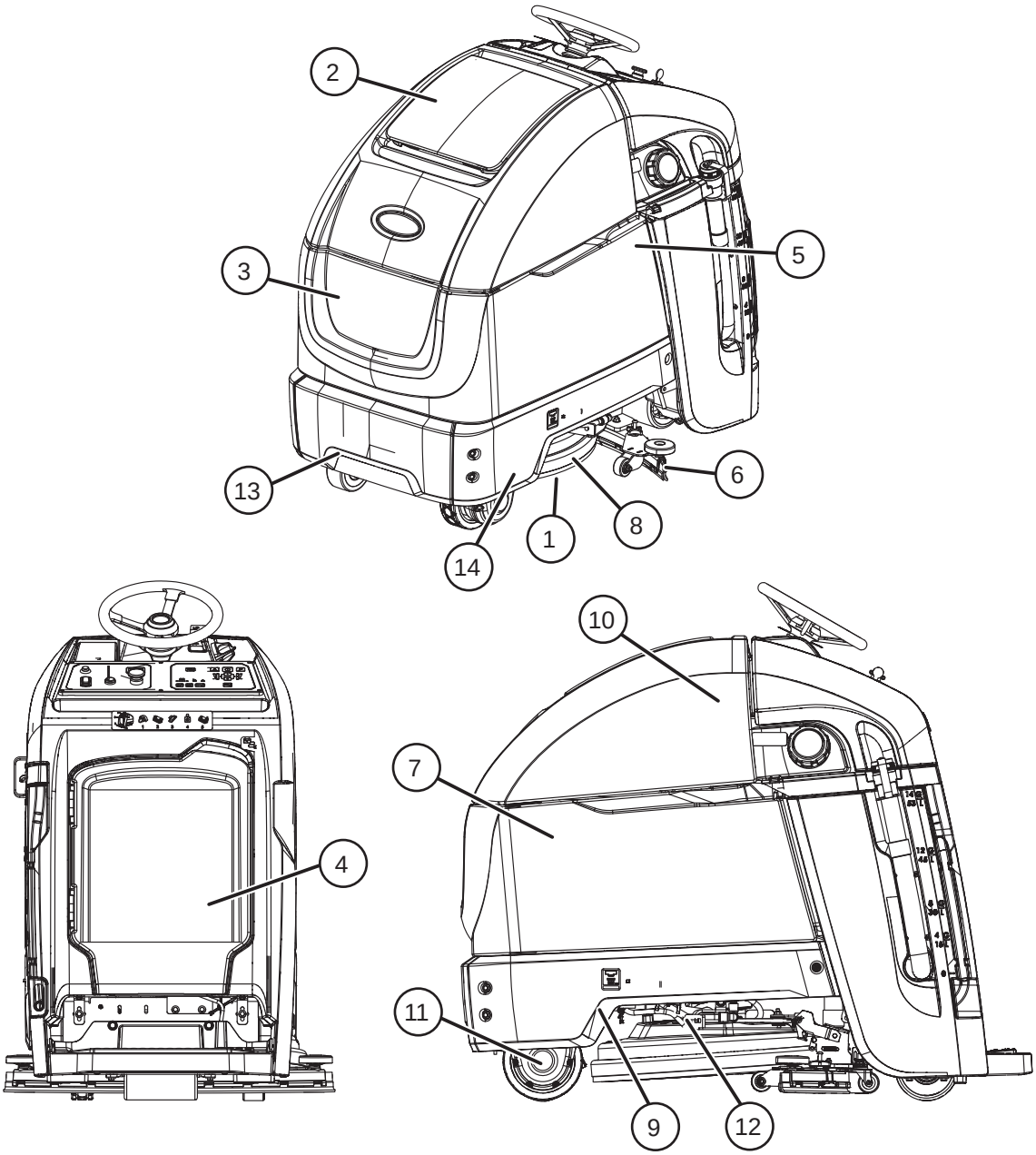


LED 故障コード ☼ = 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
● ☼ ☼ ☼ ●	0x0704	ec-H2O CAN の故障	本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ● ☼ ●	0x0711	ec-H2Oポンプ開放警告	本機の電源をいったん切って、再度投入します。故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
● ☼ ☼ ☼ ☼	0x0713	ec-H2Oポンプの過電流	サービスセンターに連絡してください。
☼ ● ● ● ●	0x0717	ec-H2Oポンプの FET 異常	サービスセンターに連絡してください。
☼ ● ☼ ● ●	0x0703	ec-H2Oサーキットブレーカーが落ちた	サーキットブレーカーをリセットしてください。再度落ちた場合、サービスセンターに連絡してください。
ec H2O	0x0700	ec-H2Oの電気故障	サービスセンターに連絡してください。
	0x0712		
	0x0716		
	0x0720		
	0x0727		
	0x072A		
	0x0741		
	0x0746		
	0x0747		
ec H2O	0x0702	ec-H2Oの水質および配管異常	サービスセンターに連絡してください。
	0x0708*		
	0x0721		
	0x0723		
	0x0726		
	0x0728		
	0x0781	洗浄剤タンクが空	洗浄剤タンクを充填します。
ec-H2Oインジケーターが青色/赤色に点滅	0x0707	水質調整カートリッジの有効期限が経過した	水質調整カートリッジを交換してください。

*洗浄液タンクに洗剤が追加されているか確認してください。ec-H2Oシステムに洗剤を入れて運転した場合は、洗浄液タンクを空にし、きれいな水を補充して故障コードの表示が消えるまで、ec-H2Oシステムを運転してください。

メンテナンス

メンテナンス表



以下の表には、各作業の責任者が記載されています。

O = オペレーター。
T = 訓練を受けた者。

周期	責任者	参照番号	点検箇所	点検内容	潤滑油/補充液
毎日	O	1	パッド	点検、裏返し、または交換	
	O	1	ブラシ	点検、清掃	
	O	6	スクイージー	清掃、損傷と磨耗の点検	
	O	8	洗浄ヘッドスカート	損傷、磨耗の点検	
	O	2	汚水回収タンク	排水、洗浄、フロート停止スクリーンとごみトレーの清掃	
	O	3	洗浄液タンク	排水、洗浄	
	O	4	Severe Environmentタンク（オプション）	点検、充填	CAD
	O	5	自動バッテリー補水タンク（オプション）	点検、充填	DW
	O	7	バッテリー	必要に応じて充電	
毎週	O	7	バッテリーセル	電解液レベルの点検	DW
	O	7	バッテリー室	液体がないか点検	
	O	6	スクイージー アセンブリー ドリップ トラップ リザーバー（デュアルディスクモデル）	点検。清掃	
50操作時間毎	O	2	汚水回収タンク蓋シール	磨耗の点検	
	O	9	洗浄液タンクフィルター	取り外して清掃	
100操作時間毎	O	7	バッテリー補水システム（オプション）	ホースの損傷と磨耗の点検	
200操作時間毎	O	7	バッテリー、端子、ケーブル	点検と清掃	
	T	13	ステアリングチェーン	注油および張力、損傷、磨耗の点検	GL
	T	14	ステアリングケーブル	張り具合を点検する。損傷、磨耗の点検	
750操作時間毎	T	10	バキュームモーター	カーボンブラシの交換	
1250操作時間毎	T	11	走行モーター	カーボンブラシの交換	
	T	12	ブラシモーター	カーボンブラシの交換	

潤滑油/補充液

DW 蒸留水
CAD 承認済みの業務用洗剤
GL SAE90ウェイト ギヤ潤滑剤

本機の点検整備

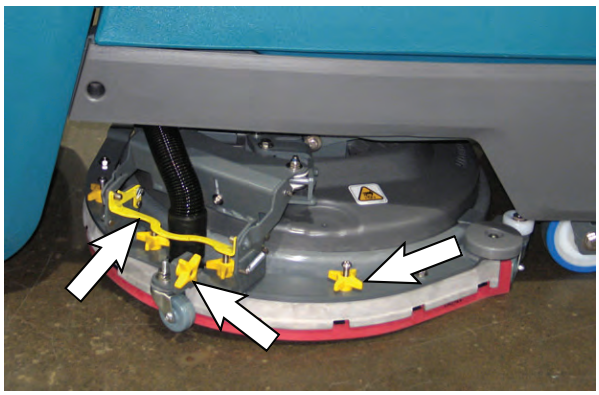
本機を良好な運転状態に保つために、以下の本機の点検整備の指示に従ってください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

安全のために：本機の点検整備をする際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。

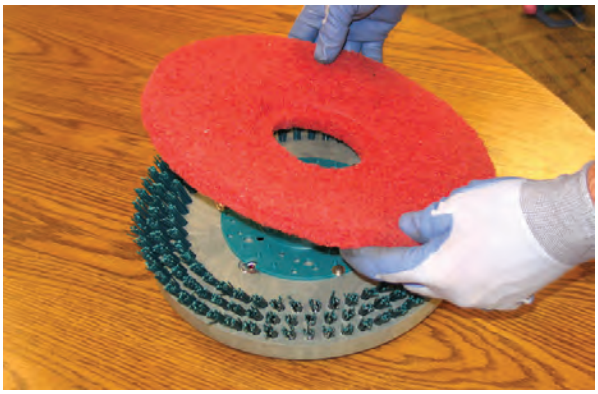
黄色のタッチポイント

本機にはシンプルな修理アイテムを示す黄色のタッチポイントがあります。これらのメンテナンスでは工具が必要ありません。



毎日の使用後

1. パッドを裏返すか、磨耗している場合は交換してください。「ブラシとパッドの交換」を参照してください。



2. 清掃効果がなくなったら、ブラシを交換してください。「ブラシとパッドの交換」を参照してください。
3. スクイージーブレードをきれいに拭いてください。ブレードの磨耗や損傷を点検してください。ブレードが磨耗している場合、ブレードの位置交換をしてください。「スクイージーブレードの交換」を参照してください。

4. 洗浄ヘッドスカートを掃除します。損傷や摩耗がないか点検します。摩耗や損傷がある場合は交換してください。

5. 汚水回収タンクを排水し、すすいでから洗浄します。「タンクの排水」を参照してください

安全のために：点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。電気系統が故障する可能性があります。湿らせた布を使用してください。

6. ごみトレーを取り外し、空にします。

7. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除します。

8. 洗浄液タンクを空にして洗浄します。

9. Severe Environmentオプション - Severe Environmentタンクに推奨洗剤を希釈せずに充填してください。キャップを元に戻します。

10. 自動バッテリー補水オプション - タンクに蒸留水を補充します。キャップを元に戻します。

注記：自動バッテリー補水タンクを補充する際は、必ずバッテリー室に液体がないか点検してください。バッテリー室の液体を全て排水してください。「バッテリー室の排水バルブ」を参照してください。

11. バッテリーを充電してください。「バッテリー」を参照してください。

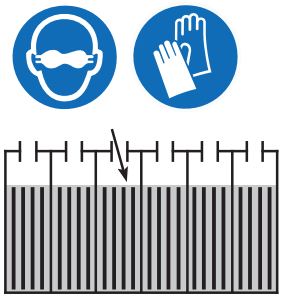
注意：充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

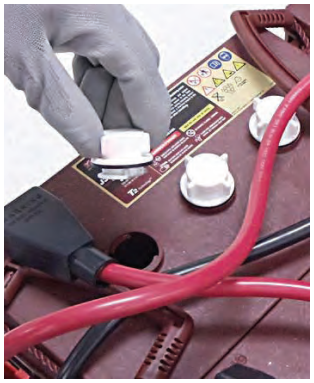
12. 本機の外面は、汎用のクリーナーと湿らせた布を使用して清掃してください。

毎週の使用後

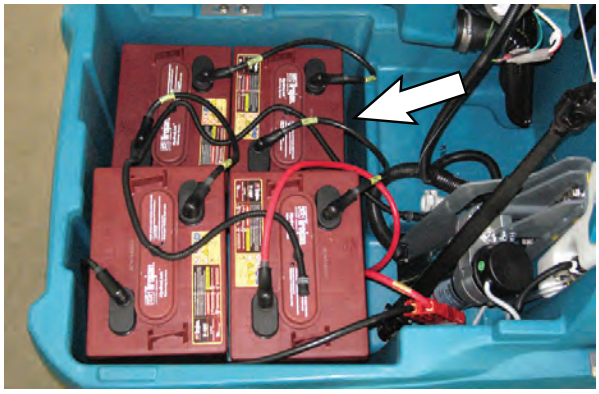
1. すべてのバッテリーの電解液レベルを確認します。「バッテリー」を参照してください。

注記：本機が自動または手動バッテリー補水システムを搭載している場合、「バッテリー」を参照してください。

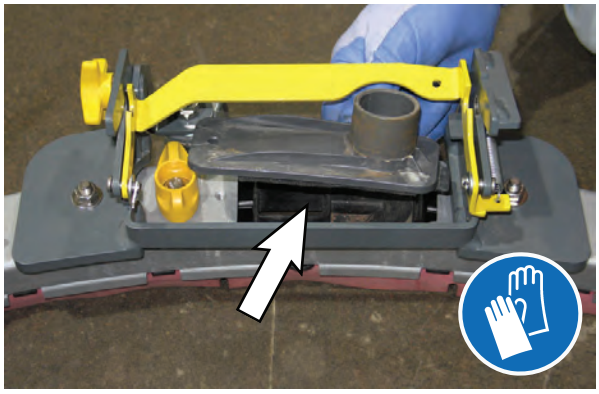




2. バッテリー室に液体がないかどうか点検してください。「バッテリー室の排水バルブ」を参照してください。



3. 24インチ（600 mm）洗浄ヘッドを搭載した機種のみ: スクイージーアセンブリーからドリップトラップカバーを外し、リザーバーを清掃します。



50時間の運転毎の整備

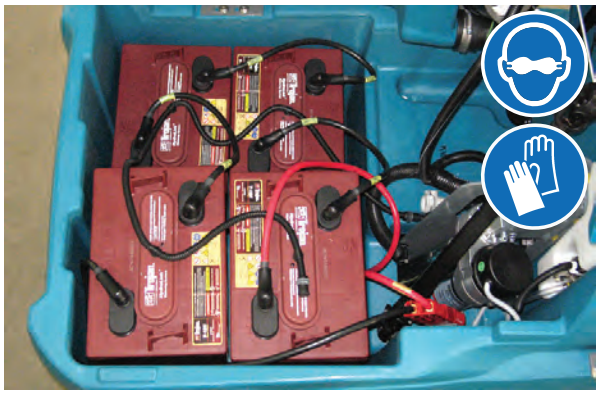
1. 汚水回収タンクの蓋のシールを点検して清掃します。損傷がある場合は、シールを交換してください。

2. 洗浄液タンクを排水してください。洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します。フィルターボウルを反時計回りに回して外します。

100時間の運転毎の整備

オプションのバッテリー補水システムが装備されている場合は、ホースの漏れや接続の緩み、損傷や摩耗がないかを点検します。損傷がある場合は、交換してください。

安全のために：バッテリーを点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。バッテリー液には触れないでください。



200時間の運転毎の整備

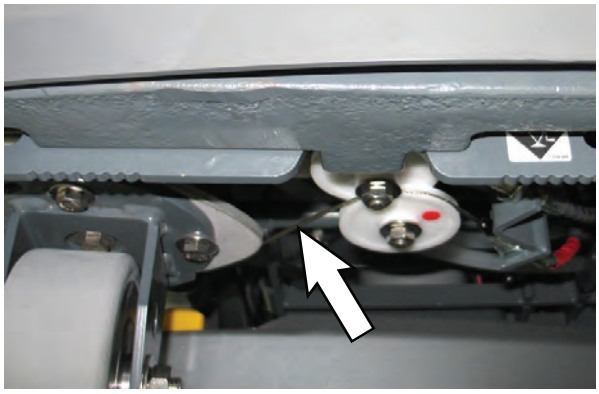
1. バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください。「バッテリー」を参照してください。

2. ステアリングチェーンは、損傷、磨耗を点検し、注油してください。

安全のために：本機を点検整備する際、すべての修理は訓練を受けた担当者によって行われる必要があります。

3. ステアリングケーブルの損傷、磨耗を点検してください。張力計を使用してステアリングケーブルの張力を点検します。

安全のために：本機を点検整備する際、すべての修理は訓練を受けた担当者によって行われる必要があります。



電動式モーター

説明に従って、モーターのカーボンブラシを交換してください。カーボンブラシの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください。

カーボンブラシの交換	累積使用時間
バキュームモーター	750
走行モーター	1250
ブラシモーター	1250

バッテリー

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

バッテリー寿命は適切に点検整備されているかどうかによって異なります。バッテリーを長く使用するためには、次の点に注意してください。

- バッテリーの充電は一日一回までとし、少なくとも15分以上使用した後に行ってください。
- バッテリーを部分的に消費した後、長期間放置しないでください。
- ガスの蓄積を防止するために、必ず通気の良い場所でバッテリーを充電してください。
- 本機を再度使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。
- 液式（湿式）鉛酸バッテリーの電解液レベルを毎週点検し、適切な電解液レベルを維持してください。

本機には、テナント社が提供する液式（湿式）鉛酸バッテリーまたはメンテナンスフリー（密閉式 AGM）バッテリーが装備されています。

安全のために：本機を点検整備する場合は、金属製品をバッテリーに近づけないでください。バッテリー液には触れないでください。

メンテナンスフリーバッテリー

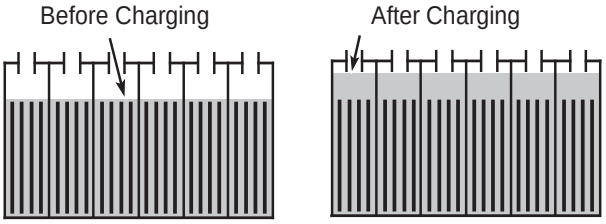
メンテナンスフリー（密閉型 AGM）バッテリーは補水が不要です。清掃や日常の整備点検などは必要です。

液式（湿式）鉛酸バッテリー

液式（湿式）鉛酸バッテリーは、以下に示すように、定期的な補水を必要とします。バッテリーは、毎週、電解液レベルを確認してください。

注記：本機が自動または手動バッテリー補水システムを搭載している場合、「バッテリー補水システム」の説明を参照してください。

図に示すように、充電前に電解液レベルがバッテリープレートよりわずかに上であることを確認してください。液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。過充填に注意してください。充電中に電解液が膨張し、溢れる場合があります。充電後、確認用チューブの約3mm（0.12インチ）下まで蒸留水を補給できます。



接続の点検/清掃

約200時間の運転後、バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください。洗浄ブラシには高濃度の重曹水を使用してください（図）。バッテリー清掃中は、バッテリーキャップを取り外さないでください。

バッテリーの充電

本マニュアルに記載されている充電の説明は、本機に付属するバッテリー充電器を対象としています。テナント社純正またはテナント社認定のバッテリー充電器以外の使用は禁止されています。

本機に定置型充電器が付属している場合、操作説明について充電器の操作マニュアルを参照してください。本機にバッテリー充電器が付属していない場合は、推奨充電器について、販売店またはテナント社にご相談ください。

安全のために：適合しない充電器を使用しないでください。バッテリーパックが損傷し火災を引き起こすおそれがあります。

重要事項：バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電専用に設定されています。異なる種類または容量のバッテリー（液式（湿式）鉛酸バッテリー、メンテナンスフリーバッテリー、密閉型バッテリー、AGM バッテリーなど）に交換する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

1. 本機を通気のよい場所に移動してください。

警告：バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

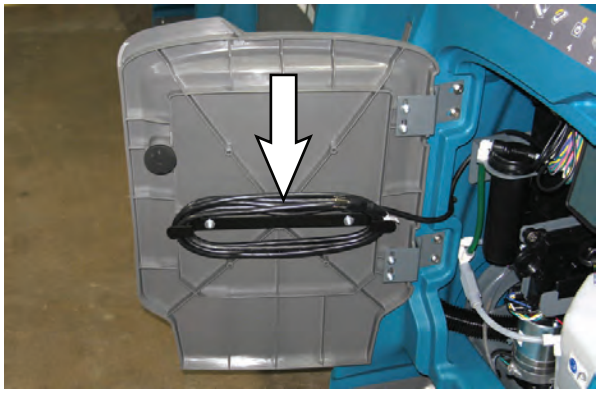
2. 本機を平坦で水気の無い場所に停め、本機の電源を切り、キーを抜きます。

安全のために：バッテリーを点検整備する際は、本機を平坦な場所に停め、スイッチを切ってキーを外してください。

3. 本機に液式（湿式）鉛酸バッテリーが装備されている場合は、毎週、充電前に電解液レベルを点検してください。自動補水システムを搭載しているモデルの場合、自動バッテリー補水タンクを再充填する必要があるか点検してください。液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。

4. 搭載型充電器を装備しているモデルの場合、充電器の電源コードをストレージフックから取り外し、適切に接地された壁面のコンセントに電源コードを差し込んでください。

安全のために：バッテリーを充電する際に、温度が80ºF / 27ºCを超える場合は、汚水回収タンクを開けてください。



定置型充電器を装備しているモデルの場合は、最初に充電器のDCコードをバッテリー充電器のソケットに接続し、次にAC電源コードを適切に設置された壁面のコンセントに差し込んでください。操作説明については、定置型充電器の操作マニュアルを参照してください。定置型充電器で充電している場合、充電器ケーブルの汚水回収タンクを閉めないでください。

安全のために：充電器の使用中は、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が発生することがあります。充電を中断する場合は、最初にAC電源コードを外してください。

5. 充電器は自動的に充電を開始し、バッテリーが完全に充電されると電源が切れます。最大充電サイクル時間は、バッテリーの種類により、6～12時間です。

搭載型のバッテリー充電器：充電サイクル中はバッテリー放電インジケーターライトが順番に点滅を繰り返します。5つのライトすべてが2回連続の点滅を繰り返すと、充電サイクルは完了です。

Pro-membrane

Pro-panel

注意：充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

6. 充電後、電源コードを取り外し、コードフックの周りに巻き付けてください。

   定置型充電器を装備したモデルの場合、充電器を本機から取り外す前に、必ずAC電源コードを抜いてください。

バッテリー充電器の設定

バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電専用に設定されています。異なる種類または容量のバッテリーに変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。

また、本機のバッテリー放電インジケーター（BDI）も、バッテリーの損傷および / または稼働時間の短縮を防止するために、バッテリーの種類に適合するようにプログラムする必要があります。

注記：出荷時にバッテリーが搭載されていない機種の場合、バッテリー放電インジケーターと搭載型のバッテリー充電器はデフォルトで GEL バッテリー対応に設定されています。異なる種類のバッテリーを使用する場合、以下に説明するように、設定を変更する必要があります。

注記：出荷時にバッテリーが搭載されておらず、定置型充電器が同梱された機種の場合、定置型充電器は工場出荷時に液式（湿式）鉛酸バッテリー対応に設定されています。本機のバッテリー放電インジケーターは、デフォルトで GEL バッテリー対応に設定されています。バッテリー放電インジケーターは、充電器の設定に適合するようにプログラムし直す必要があります（下記の「定置型バッテリー充電器」を参照してください）。

IRIS モデル: Tennant社は、IRISを介してバッテリー充電データをレポートする機能を搭載したモデルには、同じ種類のバッテリーを使用することを推奨します。別のアンペア時間または種類のバッテリーをご要望の場合、Tennant社サービスセンターまでお問い合わせください。

定置型バッテリー充電器:

1. 定置型バッテリー充電器の設定を変更するには、定置型充電器の操作マニュアルをご参照ください。

2. 本機のバッテリー放電インジケーター（BDI）を再プログラムする方法については、以下を参照してください:

Pro-Membrane モデル - サービスアプリケーションソフトウェアが必要です。サービスセンターにお問い合わせください。

Pro-Panel モデル- Pro-Panelモデルの「管理者」セクションにある「搭載型充電器の設定の変更」を参照してください。

搭載型のバッテリー充電器:

Pro-Membrane モデル- 搭載型バッテリー充電器の設定を変更するには、サービスアプリケーションソフトウェアが必要です。サービスセンターにお問い合わせください。別の方法として、充電器のプロファイルを手動で変更することができます。Pro-Membrane モデル対応の「搭載型充電器の設定の変更」を参照してください。バッテリー放電インジケーターは、充電器のプロファイルが変更されると、バッテリーの種類に適合するように自動的に再プログラムされます。

Pro-Panel モデル- 搭載型充電器の設定の変更をする場合は、Pro-Panel モデルの「管理者」セクションにある「搭載型充電器の設定の変更」を参照してください。バッテリー放電インジケーターは、バッテリーの選択に適合するように自動的に再プログラムされます。

搭載型充電器の設定の変更（Pro-Membrane モデル）

異なる種類のバッテリーに対応するように搭載型バッテリー充電器を手動で変更するには、以下の説明手順に慎重に従ってください:

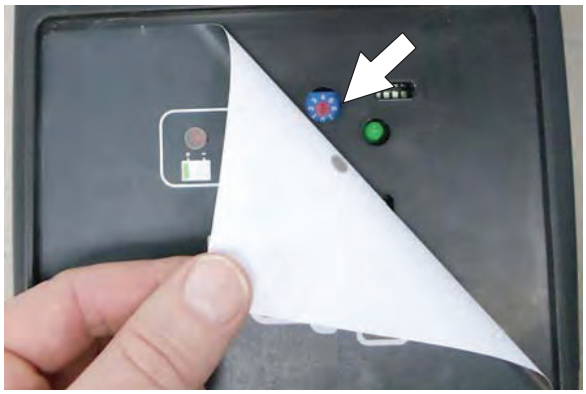
注記：手動の方法は、サービスセンターによるサービスアプリケーションソフトウェアを用いた設定の変更ができない場合のみ、代替手段として使用してください。

1. 本機からバッテリーケーブルを外します。

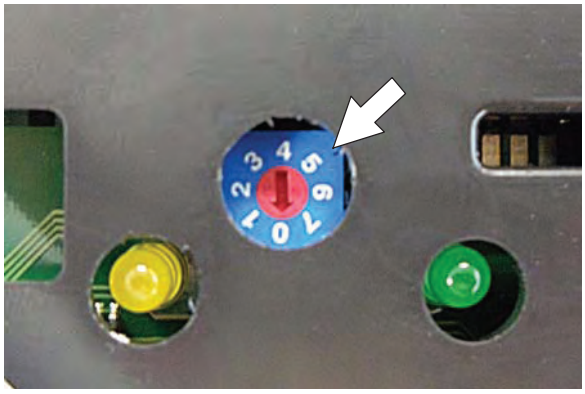
安全のために：本機を点検整備する際は、本機を平坦な表面に停め、スイッチを切ってキーを抜いてください。

2. アクセスパネルを開いて搭載型のバッテリー充電器にアクセスします。

3. 充電器の表示ラベルを慎重にはがし、ダイヤル設定にアクセスします。



4. 小型の標準ドライバーを使用して、次の表に示すように、ダイヤルを回して適切なバッテリーの種類に合わせます。



ダイヤル位置	バッテリーの種類とAH範囲
0	CAN-BUS 設定*
1	湿式、Trojan 180~260 AH
2	湿式、Trojan 270~360 AH
3	湿式、Enersys/Tab 200~350 AH
4	AGM、Tianneng 180~260 AH
5	AGM、Discover 200~350 AH
6	ゲル、Sonnenschein 80~150 AH

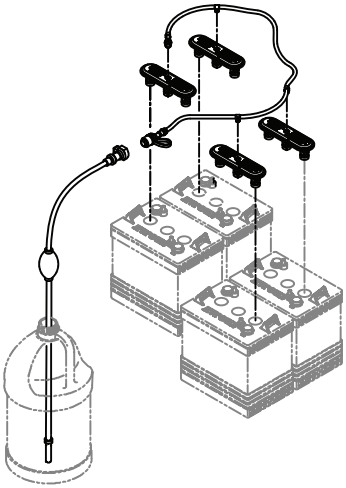
* CAN-BUS 設定のダイヤル位置「0」は、本機に搭載されたバッテリーの種類に適合するようにプログラムされているソフトウェアの設定です。ダイヤルを手動で異なる設定に変更する場合、「0」にリセットしないでください。 バッテリーが損傷する可能性があります。サービスアプリケーションソフトウェアは、ダイヤルを「0」にリセットする必要があります。サービスセンターに連絡してください。

5. 表示ラベルを元に戻します。

6. BDI を新しいバッテリーの種類に対応するように設定するため、搭載型バッテリー充電器のコードをコンセントに差し込みます。本機のソフトウェアは新しいバッテリーの種類に応じて、BDI を自動的に再プログラムします。

HYDROLINK® バッテリー補水システム (Trojan® バッテリーオプション)

以下の説明は、オプションのHydroLinkバッテリー補水システムを装備したモデルに適用します。



オプションのHydroLinkバッテリー補水システムは、バッテリーの適切な電解液レベルを安全かつ簡単に保つ機能を提供します。本製品は、Trojan 液式 (湿式) 鉛酸バッテリー専用に設計されています。

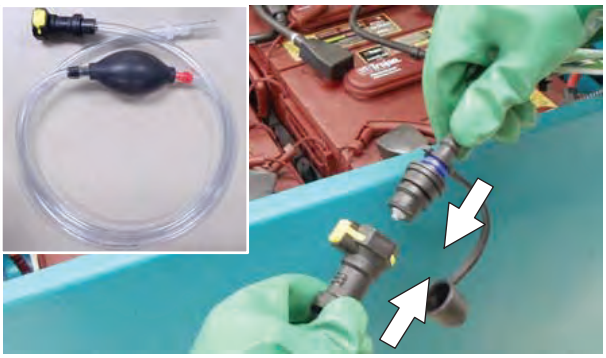
安全のために：本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。バッテリー液には触れないでください。

バッテリー補水システムを使用する前に、ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検してください。

1. バッテリー補水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。充電前にバッテリーに水を加えないでください。充電中に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。

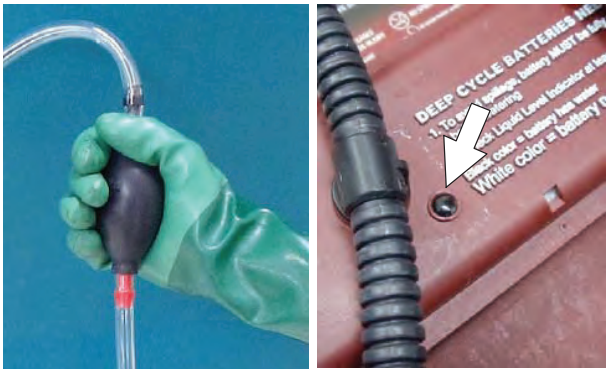
2. 充電完了後は、バッテリーカバーの上にあるバッテリー電解液レベルインジケーターで充電の状態を確認してください。レベルインジケーターが白色の場合は、以下に示す方法で水を追加してください。インジケーターが黒色の場合は、電解液レベルは正常です。水を追加する必要はありません。

3. バッテリー室内のバッテリーフィルホースカプラを見つけます。ダストキャップをはずし、手動ポンプのホースを接続します。



4. 手動ポンプのホースの反対側の端を蒸留水タンクに挿入します

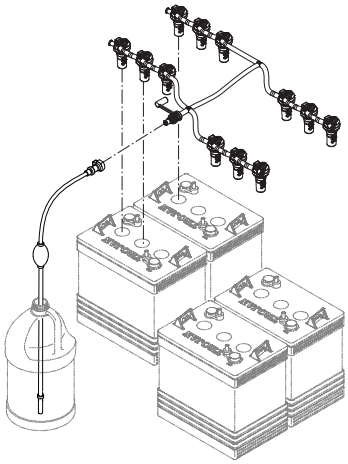
5. 手動ポンプの球体部分を握って放す動作を繰り返し、液体を注入します。満タンになるとインジケーターが黒色に変わります。



6. 給水後、バッテリーフィルホースのダストキャップを元に戻し、後の使用に備えて手動ポンプのホースをバッテリー室に収納してください。

自動バッテリー補水システム(Trojan®バッテリーオプション)

以下の説明は、オプションの手動バッテリー補水システムを装備したモデルを対象としています。



オプションの手動バッテリー補水システムは、バッテリーの適切な電解液レベルを安全かつ簡単に保つ機能を提供します。本製品は、Trojan 液式（湿式）鉛酸バッテリー専用に設計されています。

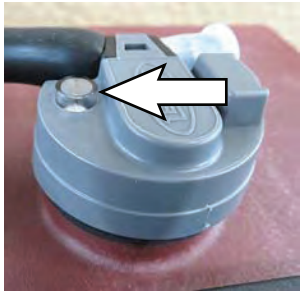
安全に関する注意事項：本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。バッテリー液には触れないでください。

バッテリー補水システムを使用する前に、ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検してください。

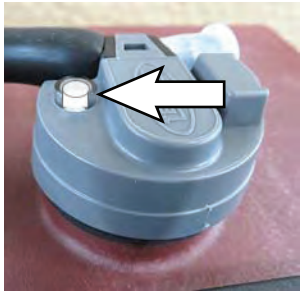
1. バッテリー注水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。充電前にバッテリーに水を加えないでください。充電中に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。

2. 充電完了後は、バッテリーカバーの上にあるバッテリー電解液レベルインジケーターで充電の状態を確認してください。

3. レベルインジケーターの白いフロートが低い位置にある場合は、次に示す指示に従い、水を追加してください。

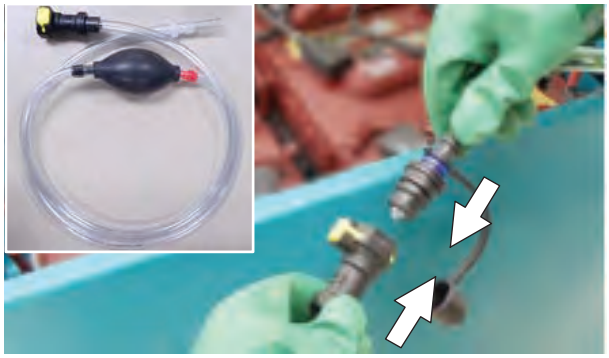


低フロート = 水を加える



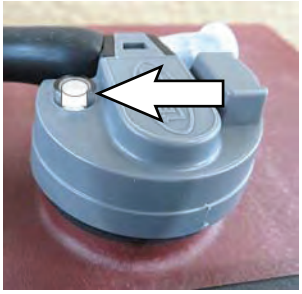
高フロート = 満タン

4. バッテリー室内のバッテリーフィルホースカプラを見つけます。ダストキャップをはずし、手動ポンプのホースを接続します。



5. 手動ポンプのホースの反対側の端を蒸留水タンクに挿入します

6. 手動ポンプの球体部分を握って放す動作を繰り返し、液体を注入します。満タンになると白いフロートが上昇します。



高フロート = 満タン

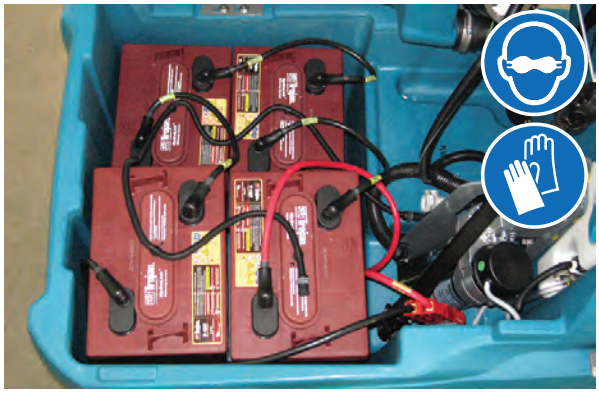
7. 給水後、バッテリーフィルホースのダストキャップを元に戻し、後の使用に備えて手動ポンプのホースをバッテリー室に収納してください。

Smart-Fill自動バッテリー補水（オプション）

安全のために：本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。バッテリー液には触れないでください。

自動バッテリー補水システムは、本機が充電サイクルの制限数に達すると自動的にバッテリーを再充填するように設計されています。バッテリーキャップを取り外して、手動でバッテリーに水を補充しないでください。

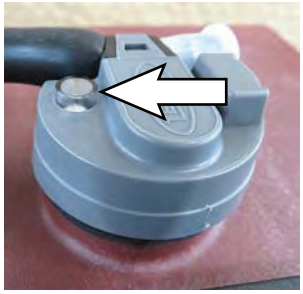
自動バッテリー補水システムのホースの漏れや接続の緩み、損傷や摩耗がないかを点検してください。損傷がある場合は、交換してください。



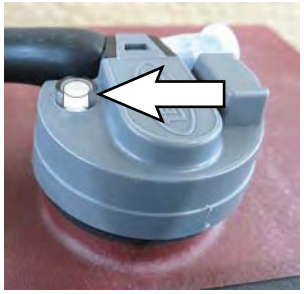
自動補水タンクの水位を定期的に点検してください。水位が低い場合は、蒸留水を補充してください。

安全のために：本機を整備する際、自動バッテリー補水タンクの充填には必ず蒸留水のみを使用してください。

バッテリー電解液インジケーターを装備した機械の場合、白いフロートが上がり、満杯になると見えます。水が必要なときには、下がります。

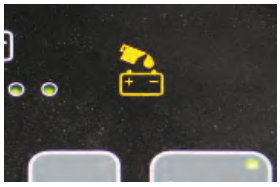


低フロート = 水を加える



高フロート = 満タン

また、自動バッテリー補水インジケーターは、タンクが空になると、蒸留水を補充するようにユーザーにアラートを通知します。詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。



バッテリー室排水バルブ

バッテリー室から液体を排水するためには、バッテリー室排水バルブを使用します。

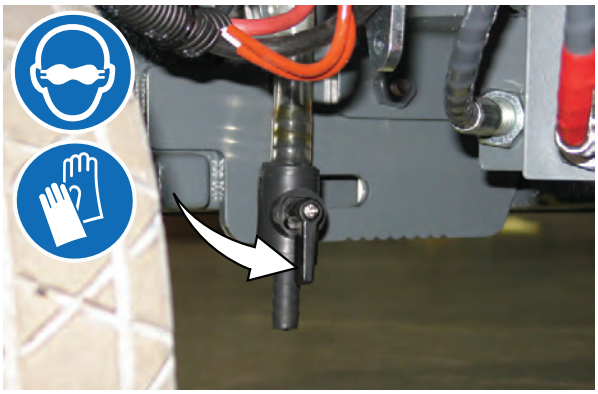
安全のために：本機の点検整備を行う際に、バッテリー室の液体を廃棄する場合は、必ず現場安全ルールに従ってください。

1. バッテリー室から安全に排水できる場所に本機の前端部分を配置し、本機の電源を切り、キーを抜いてください。

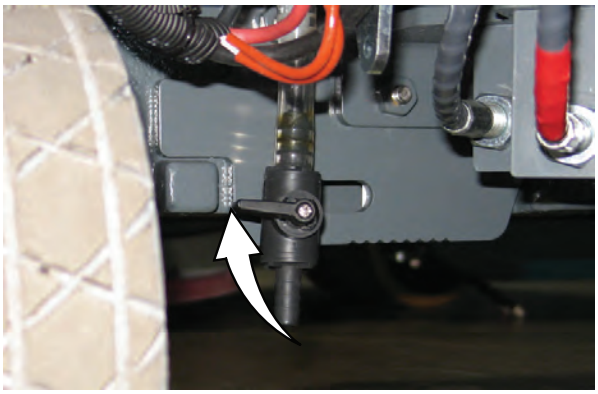
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. バッテリー室排水バルブを開け、バッテリー室から液体を排水します：

安全のために：本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。バッテリー液には触れないでください。



3. バッテリー室から液体が全て排水された後に、バッテリー室排水バルブを閉めます。



ブラシとパッドの交換

清掃効果がなくなったパッドは交換してください。清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。

洗浄パッドは、パッドドライバーに取り付けて使用してください。洗浄パッドは、センターディスクで固定されています。パッドの両側を洗浄に使用できます。パッドを裏返して反対側を使用できます。

使用した洗浄パッドは、すぐに石鹸水で洗浄してください。パッドは高圧水で洗浄しないでください。パッドは、吊るすか平らに置いて乾かしてください。

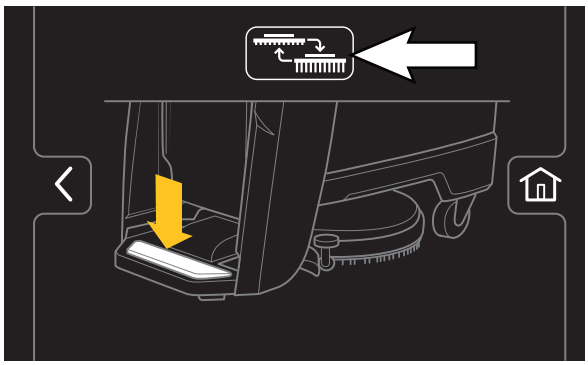
注記：ブラシとパッドは、必ず一緒に交換してください。一緒に交換しないと、ブラシとパッドの洗浄性能のバランスが悪くなります。

PRO-PANEL機種のブラシとパッドの交換

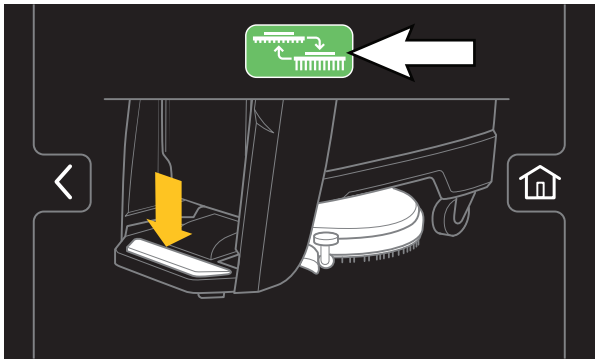
1. オペレータープレゼンスペダルの上に両足で立ち（ゴーペダルは踏まない）、キーをオンに回し、ブラシ交換ボタンを押してブラシまたはパッド交換の正しい位置まで洗浄ヘッドを上げます。

注記：洗浄ヘッドが全可動域をカバーし、停止するまでオペレータープレゼンスペダルの上に立っていてください。オペレータープレゼンスペダルが解除されると、作業が一時停止します。再度オペレータープレゼンスペダルの上に足を乗せてブラシ交換ボタンを押すと作業が続行します。キーをオフに回すと作業が中断します。

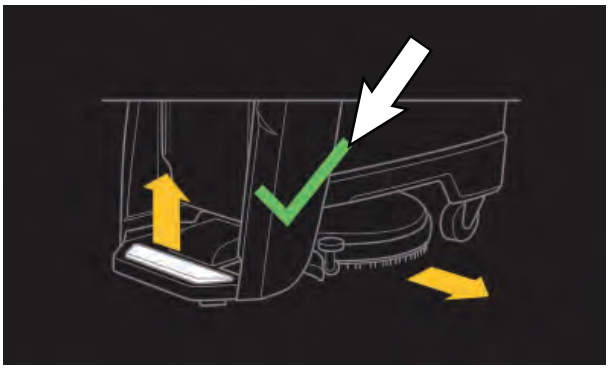
2. ブラシ交換ボタンを押し、ブラシを取り外します。



ブラシまたはパッドドライバーを交換するために洗浄ヘッドの位置が変更されている間は、ブラシ交換ボタンが緑色に変わります。



3. Pro-Panel表示に緑色のチェックマークと 2 つのオレンジ色の矢印が現れるまで待ちます。



4. オペレータープレゼンスペダルから足を離します。

5. 磁気ブラシハブを装備した機種：ブラシまたはパッドドライバーを洗浄ヘッドの下側から取り外します。

警告：磁場による危険。磁気パッドドライバー / ブラシはペースメーカーや植込み型医療機器の利用者にとって有害となる可能性があります。

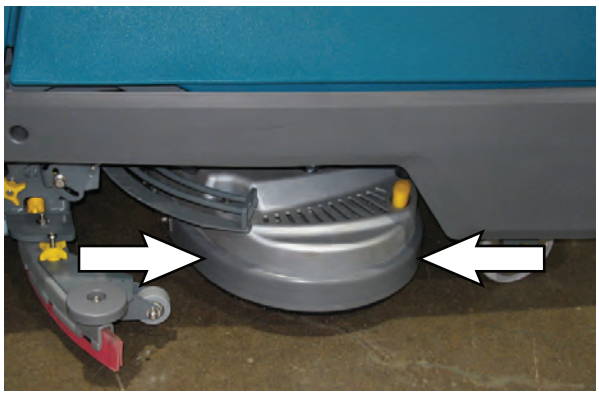
3ラグブラシハブを装備した機種：ブラシまたはパッドドライバーを取り外すには、ディスクを握って素早く回します。

6. 磁気ブラシハブを装備した機種：新しいブラシまたはパッドドライバーを洗浄ヘッドの下に押し込み、磁気によりブラシまたはパッドがドライブハブにしっかりと固定されるまでブラシまたはパッドドライバーを上げます。

   3ラグブラシハブを装備した機種：3個のラグをモーターハブスロットに挿入し、パッドドライバー/ブラシをすばやく反時計回りに回し、ハブにかみ合わせてください。

7. ブラシまたはパッドドライバーが、しっかりとブラシドライブハブに取り付けられていることを確認してください。

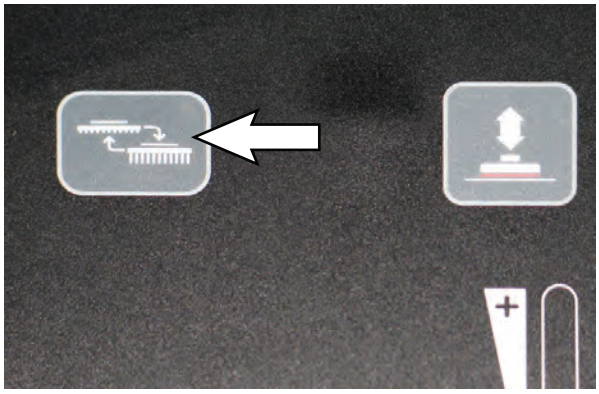
8. 洗浄ヘッドスカートが洗浄ヘッドに正しく収まっていることを確認してください。



9. 二重ブラシ洗浄ヘッドを装備した機種の場合、その他のブラシまたはパッドドライバーと同様の手順を繰り返してください。

PRO-MEMBRANE PANEL機種のブラシまたはパッドを交換する

1. オペレータープレゼンスペダルの上に両足で立ち（ゴーペダルは踏まない）、キーをオンに回し、ブラシ交換ボタンを押してブラシまたはパッド交換の正しい位置まで洗浄ヘッドを上げます。



注記：洗浄ヘッドが全可動域をカバーするまでオペレータープレゼンスペダルの上に立っていてください。オペレータープレゼンスペダルが解除されると、作業が一時停止します。再びオペレータープレゼンスペダルを踏み、ブラシ交換ボタンを押すと作業が続行します。キーをオフに回すと作業が中断します。

2. 緑色のLEDが点滅しなくなり緑色に点灯した際は、オペレーターペダルから足を離してください。

3. 磁気ブラシハブを装備した機種：ブラシまたはパッドドライバーを洗浄ヘッドの下側から取り外します。

警告：磁場による危険。磁気パッドドライバー / ブラシはペースメーカーや植込み型医療機器の利用者にとって有害となる可能性があります。

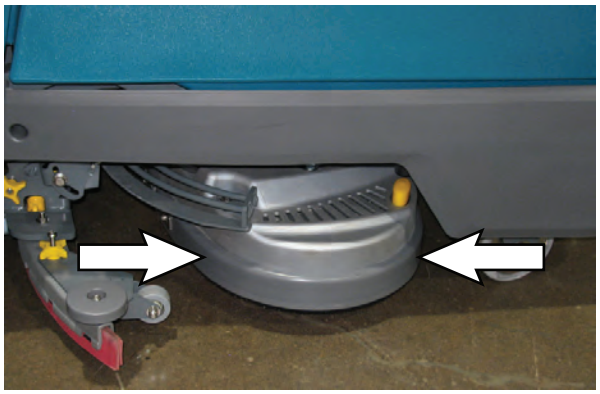
3ラグブラシハブを装備した機種：ブラシまたはパッドドライバーを取り外すには、ディスクを握って素早く回します。

4. 磁気ブラシハブを装備した機種：新しいブラシまたはパッドドライバーを洗浄ヘッドの下に押し込み、磁気によりブラシまたはパッドがドライブハブにしっかりと固定されるまでブラシまたはパッドドライバーを上げます。

   3ラグブラシハブを装備した機種：3個のラグをモーターハブスロットに挿入し、パッドドライバー/ブラシをすばやく反時計回りに回し、ハブにかみ合わせてください。

5. ブラシまたはパッドドライバーが、しっかりとブラシドライブハブに取り付けられていることを確認してください。

6. 洗浄ヘッドスカートが洗浄ヘッドに正しく収まっていることを確認してください。



7. 二重ブラシ洗浄ヘッドを装備した機種の場合、その他のブラシまたはパッドドライバーと同様の手順を繰り返してください。

8. 再度オペレータープレゼンスペダルの上に乗ると、本機のブラシ交換サイクルが完了します。

スクイージーブレードの交換

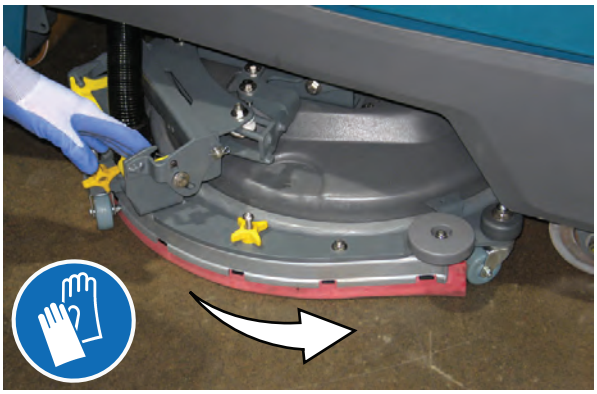
各スクイージーブレードには4ヶ所の拭き取りエッジがあります。ブレードが磨耗したら、新しい拭き取りエッジを使用できるように、両端を逆にするか上下を逆にしてください。4ヶ所のエッジがすべて磨耗したら、ブレードを交換してください。

20インチ（500 MM）洗浄ヘッドを装備した機種のスクイージーの交換

1. 本機の電源スイッチを切って洗浄ヘッドを下げてください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

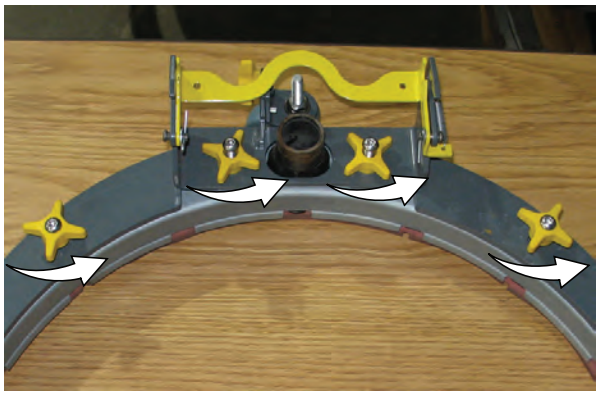
2. スクイージーアセンブリーを回して本機の右側に配置します。



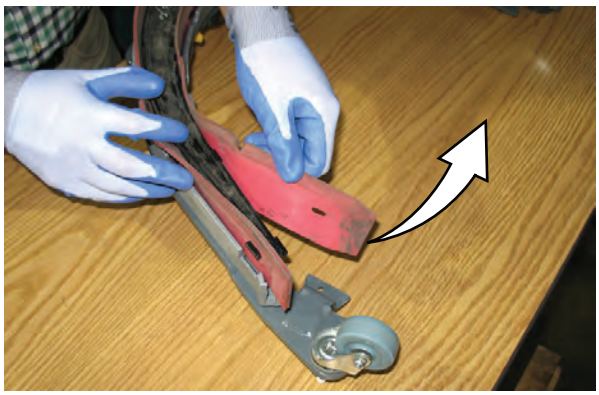
3. バキュームホースをスクイージーアセンブリーから取り外してください。

4. スクイージーリテーナレバーを掴み、本機からスクイージーアセンブリーを取り外してください。

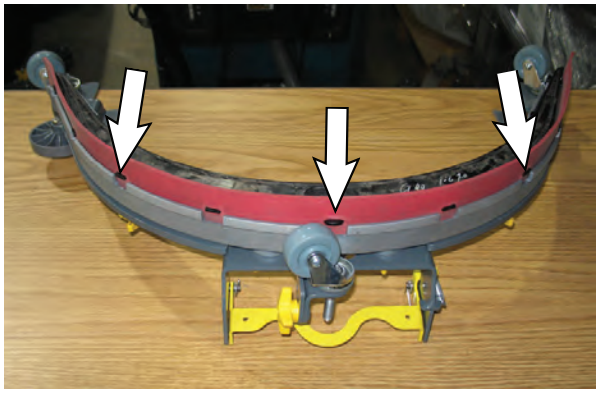
5. スクイージーアセンブリーの4つのノブを完全に緩めてください。バネ式ブレードリテーナがスクイージーフレームから外れます。



6. 摩耗したブレードをブレードリテーナから取り外します。

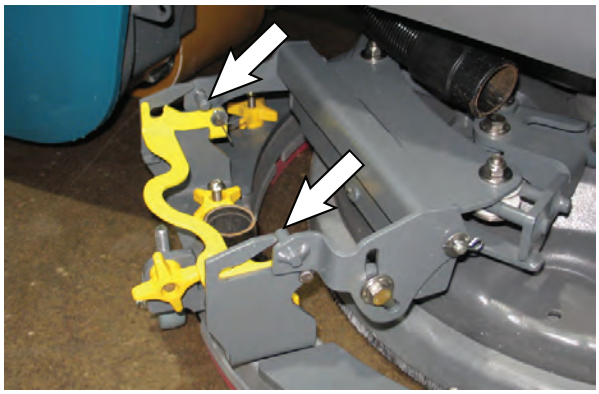


7. リヤブレードを新しい拭き取りエッジに入れ替え、ブレードを再度取り付けます。ブレードのスロットの位置がリテーナのタブと合っていることを確認してください。

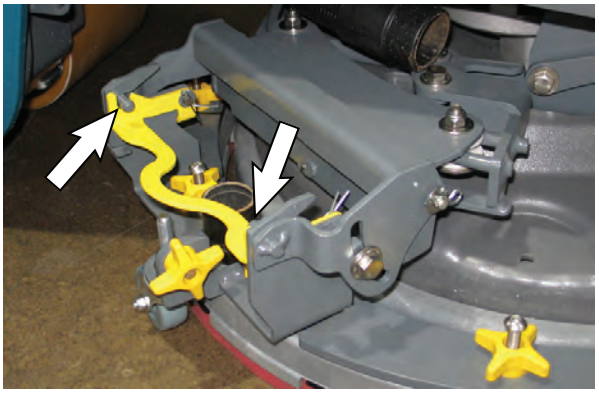


8. ブレードリテーナとスクイージーフレームを掴んで強く握り、4つのノブを再度締め付けます。

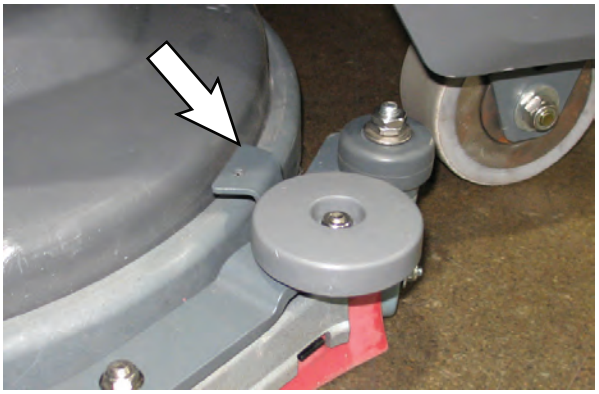
9. スクイージーアセンブリーブラケットをスクイージー容器の近くに置き、スクイージー容器ピンをスクイージーアセンブリーブラケットの位置に合わせてください。



10. 両スクイージー容器ピンがブラケットに固定されるまで、スクイージーアセンブリーをスクイージー容器の上にスライドさせます。

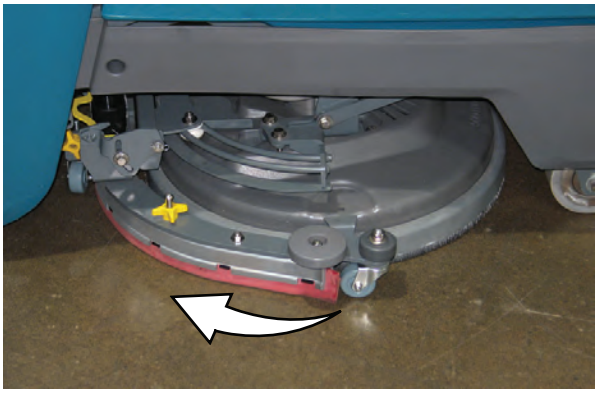


11. 両スクイージータブが洗浄ヘッドスカートの上部にあることを確認してください。



12. バキュームホースをスクイージーアセンブリーに接続してください。

13. スクイージーアセンブリーを本機の下方向へ回転させて本機の中央に位置するようにしてください。

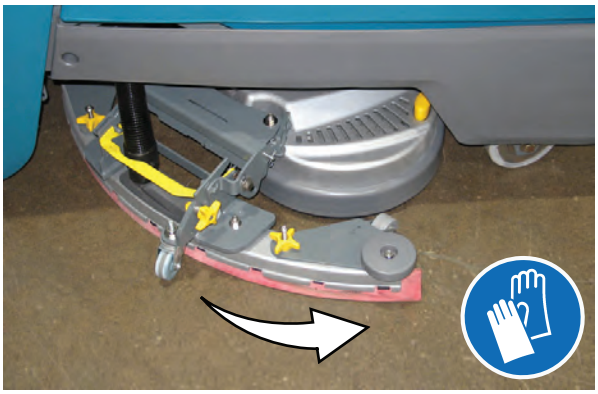


24インチ（600 MM）洗浄ヘッドを装備した機種のスクイージーの交換

1. 本機の電源スイッチを切って洗浄ヘッドを下げてください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

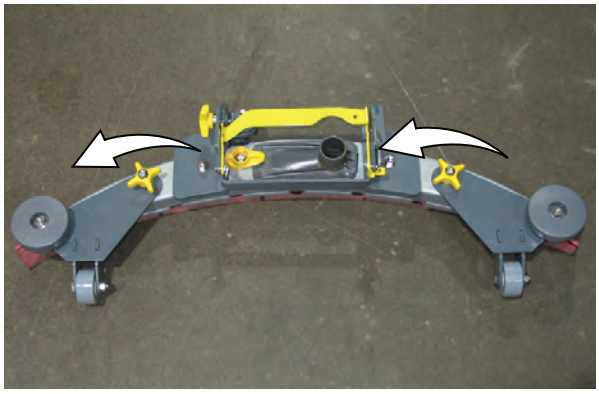
2. スクイージーアセンブリーを回して本機の右側に配置します。



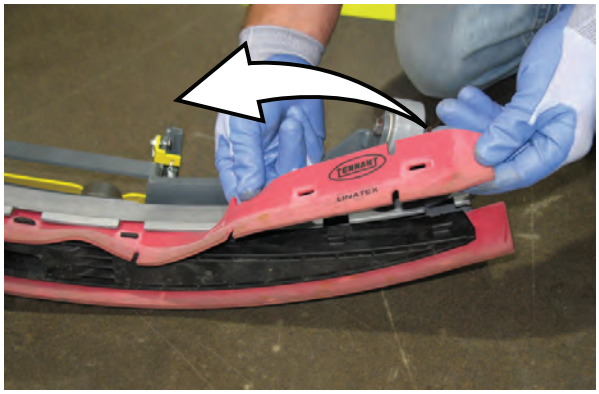
3. バキュームホースをスクイージーアセンブリーから取り外してください。

4. スクイージーリテーナレバーを掴み、本機からスクイージーアセンブリーを取り外してください。

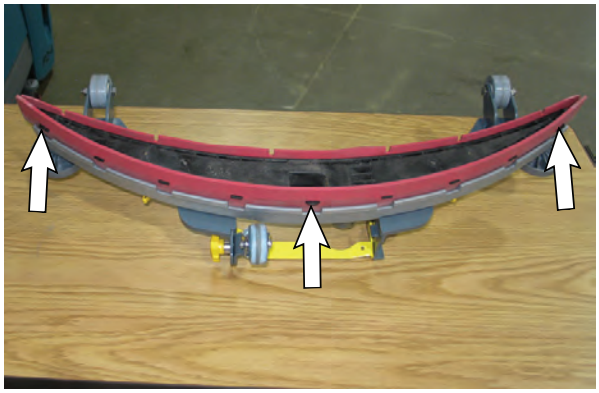
5. スクイージーアセンブリーの2つの外側ノブを完全に緩めてください。バネ式ブレードリテーナがスクイージーフレームから外れます。



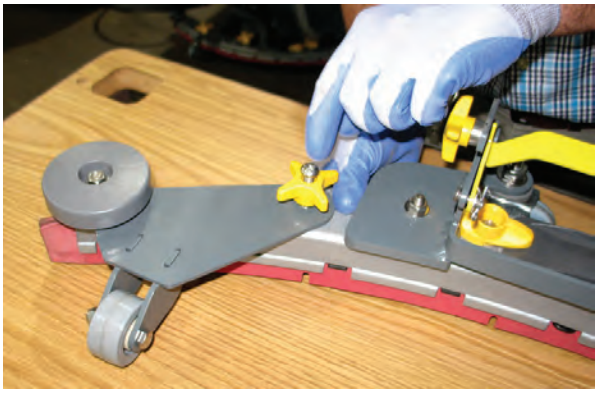
6. 摩耗したブレードをブレードリテーナから取り外します。



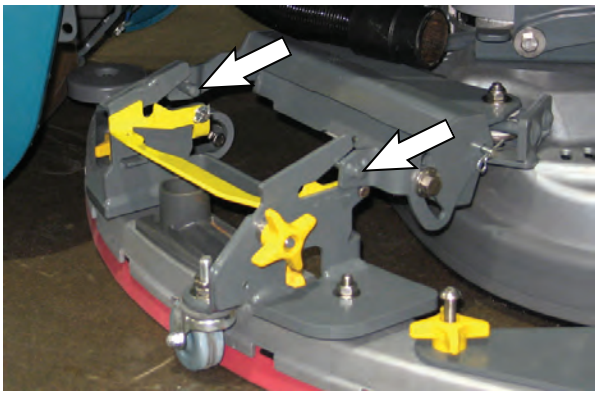
7. リヤブレードを新しい拭き取りエッジに入れ替え、ブレードを再度取り付けます。ブレードのスロットの位置がリテーナのタブと合っていることを確認してください。



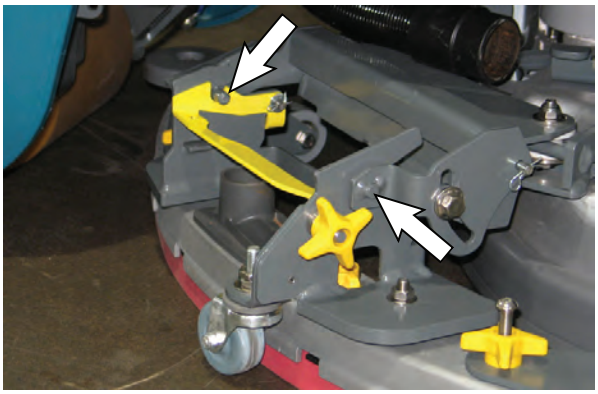
8. ブレードリテーナとスクイージーフレームを掴んで強く握り、2つの外側ノブを再度締め付けます。



9. スクイージーアセンブリーブラケットをスクイージー容器の近くに置き、スクイージー容器ピンをスクイージーアセンブリーブラケットの位置に合わせてください。

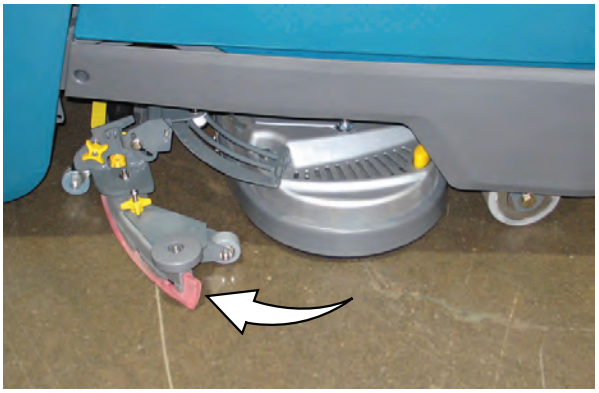


10. 両スクイージー容器ピンがブラケットに固定されるまで、スクイージーアセンブリーをスクイージー容器の上にスライドさせます。



11. バキュームホースをスクイージーアセンブリーに接続してください。

12. スクイージーアセンブリーを本機の下方向へ回転させて本機の中央に位置するようにしてください。



ec-H2O水質調整カートリッジの交換

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

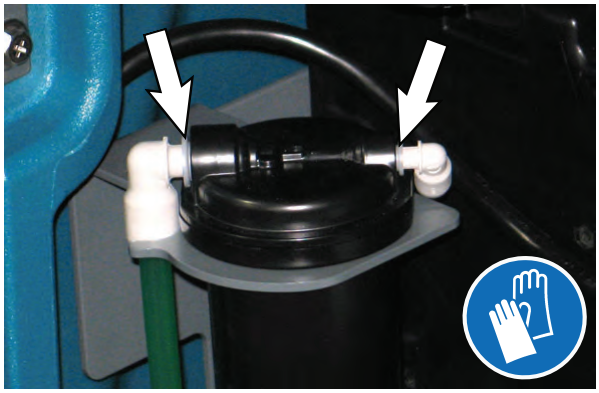
水質調整カートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達するかのいずれか早い方の時点で、カートリッジの交換が必要になります。カートリッジの交換時期はコントールパネルでお知らせします。詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

本機の使用状況や使い方によりますが、新しいカートリッジは、本機の使用頻度の高い場合は平均12ヶ月、使用頻度が低い場合は平均24ヶ月使用できます。

注意：本機を初めて使用するとき、および水質調整カートリッジの交換後は、選択した洗浄液流量の設定がec-H2Oシステムによって自動的に最大で75分間無効になります。

1. 本機を平らな場所に停め、キーを抜いてください。
2. 点検ドアを開け、ec-H2O水質調整カートリッジにアクセスしてください。

3. 灰色のカラーを内側に押し、コネクターを外側に引いて、カートリッジ上部から2個のホースコネクターを取り外します。カートリッジを持ち上げて取り外します。

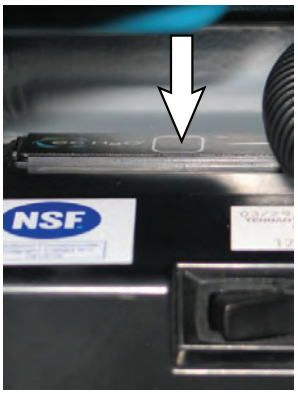


4. 新しいカートリッジのラベルに、取り付け日を書き込みます。

5. 新しいカートリッジを取り付け、ホース2本を再接続します。ホースコネクターがカートリッジにしっかりと挿入されていることを確認してください。

すべての手順をよく読み、その内容を理解した上で、次の操作手順を実行してください。

a. キーをオンにします。
b. ec-H2Oモジュールにあるサービススイッチを10秒間押し続けます。
サービススイッチを放すと、3個のフローインジケータライトが（順番に）交互に点滅し始めます。
c. サービススイッチを放してから5秒以内に、3つのインジケーターライトが交互に点滅している間に、素早く、ec-H2Oモジュール上の洗剤流量ボタンを押して放します。
3つのインジケータライトが3回点滅し、タイマーがリセットされたことを知らせます。3つのインジケータライトが3回点滅しない場合は、このプロセスを繰り返してください。



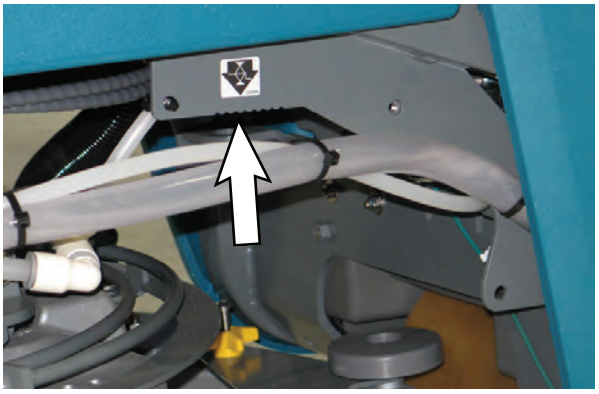
本機のジャッキアップ

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

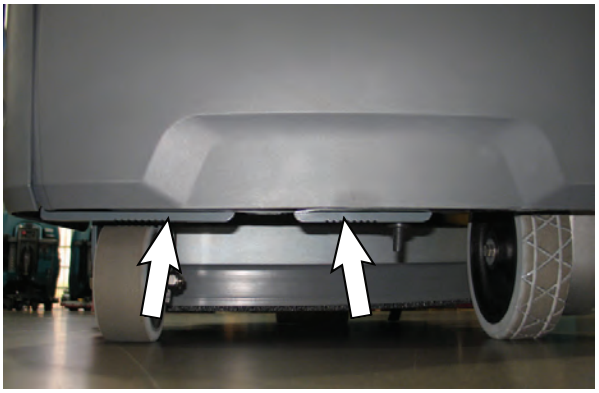
整備のために本機をジャッキで持ち上げる際は、指定された場所を使用してください。回収および洗浄液タンクを空にして、ジャッキアップする前に、本機を平坦な表面に停めてください。

安全のために：本機を点検整備する際は、指定された場所でのみ本機をジャッキアップしてください。ジャッキスタンドで本機を支えてください。本機の重量に対応するジャッキまたはホイストを使用してください。

リヤジャッキポイント。



フロントジャッキポイント。

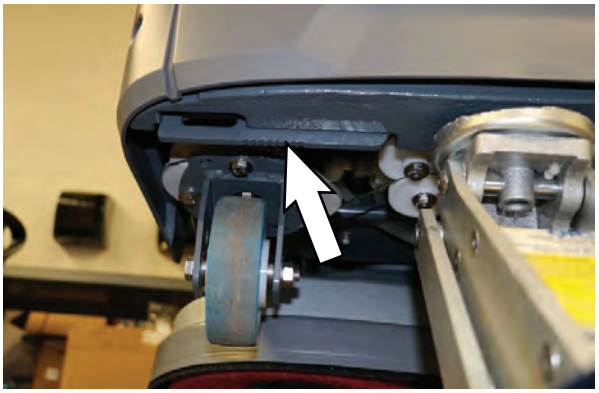


本機前部分のジャッキアップ

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. フロントステアリングホイールが本機前部に真っ直ぐ向くように直してください。
2. リヤホイールを固定します。
3. 本機前部に位置するセンタージャッキポイントの下側にフロアジャッキを置いてください。
4. フロアジャッキを使用して本機を床から上げてください。

5. ジャッキスタンドを他のジャッキポイントの下部に置き、本機をジャッキスタンドに下ろします。そうすることで、ジャッキスタンドとフロアジャッキの両方で本機を支えることになります。

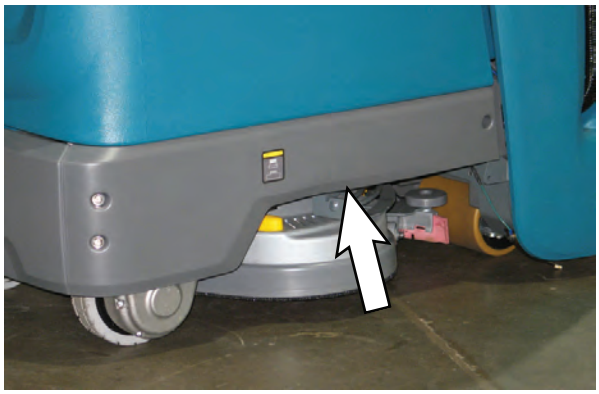


6. メンテナンスが完了したら、フロアジャッキを使用してジャッキスタンドから本機を持ち上げ、ジャッキスタンドを本機下部から取り除き、本機を床に下げます。

本機後部のジャッキアップ

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

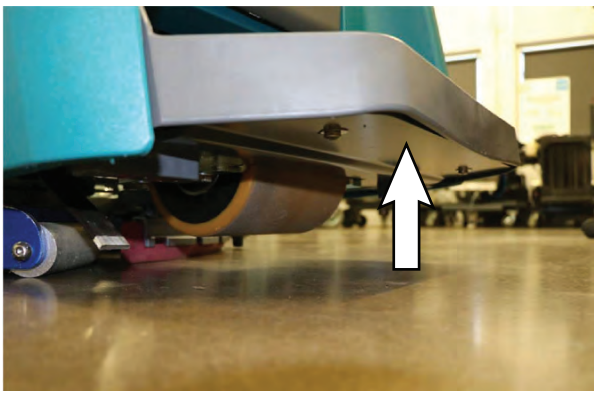
1. 両方のフロントドライブホイールを固定します。
2. スクイージーアセンブリーを回して本機の右側に配置します。
3. 下部シュラウドを本機から取り外してください。



4. フロアジャッキを固定位置 / ジャッキポイントの下側に置き、全てのホース / ケーブルを、本機が床からジャッキアップされた際に押しつぶされないように配置します。

5. フロアジャッキを使用して、本機を床から持ち上げてください。

6. 本機後部の下側に木塊を置くと、本機さらにしっかりと支えることができます。



7. メンテナンスが完了したら、フロアジャッキを使用してジャッキスタンドから本機を持ち上げ、木塊を本機下部から取り除き、本機を床に下ろします。

8. 下部シュラウドを本機に再度取り付けます。

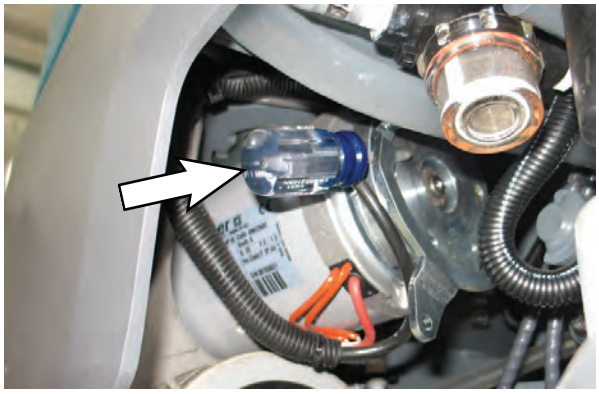
本機の牽引・後押し・輸送

本機の牽引および後押し

安全のために：本機を点検整備する場合は、オペレーターが運転席にいない状態で本機を押したり牽引したりしないでください。

本機が故障した場合、前後どちらからも押すことができますが、牽引できるのは前方からのみです。注意してください。

本機を牽引または押す前に、ブレーキを解除してください。ブレーキを解除するには、電子制御ブレーキレバーとハブとの間に小型ドライバーの先端を差し込んでください。ブレーキを解除すると、本機を自由に動かすことができます。



本機を移動（押すまたは牽引）する場合はごく短い距離に限定し、3.2 kph (2 mph)を超える力を加えないようにしてください。本機は、長い距離や高速で押したり牽引したりするようには設計されていません。

注意！本機を長い距離押したり牽引したりしないでください。走行装置に損傷を引き起こすことがあります。

本機の移動後は直ちに、電子制御ブレーキレバーとハブとの間に差し込んだドライバーを取り外してください。ブレーキを解除したまま、本機を操作しないでください。

安全のために：ブレーキを解除したまま、本機を操作しないでください。

本機の輸送

トレーラーまたはトラックで本機を輸送する場合は、積み込みおよび固定手順に慎重に従ってください:

1. タンクを空にして、洗浄ヘッドを持ち上げ、スクイージーアセンブリーを取り外します。

2. 本機をトレーラーまたはトラックに慎重に積み込んでください。

安全のために：積み込み/積み降ろしを行う際は、本機およびオペレーターの重量を支えられるランプを使用してください。斜面またはランプではスイッチを入れないでください。滑りやすくなっているランプの上を運転しないでください。

安全のために：積み降ろしの際は、傾斜角度が18パーセントを超えるランプの上で本機を使用しないでください。ランプの傾斜角度が18パーセントを超える場合は、ウィンチを使用してください

3. 本機の積み込みが完了したら、本機の前面をトレーラーまたはトラックの前面に向けるように配置してください。洗浄ヘッドを下げて電源スイッチを切ってください。

4. それぞれのホイールの後ろに輪留めを置いてください。

5. 固定用ロープを使用して、本機のフレームにある4つの固定ロープ用ブラケットで本機を固定します。場合によってはトレーラーまたはトラックの床に固定用ブラケットを取り付ける必要があります。

注記：本機をオープントラックやトレーラーで輸送する際は、回収タンク蓋を固定してください。

注意：コントロールコンソール部やアクセサリー収納レールを固定位置として使用しないでください。損傷する恐れがあります。

本機の保管

本機を長期間保管する場合は、以下に注意してください。

1. バッテリーの寿命を延ばすため、本機を保管する前にバッテリーを充電してください。1か月に1回、バッテリーを再度充電します。
2. 保管する前にバッテリーを外します。
3. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを空にし、洗浄してください。
4. スクイージーと洗浄ヘッドを上に上げたまま、乾燥した場所に本機を保管してください。

注意：本機に雨がかからないよう、屋内に保管してください。

5. 汚水回収タンクの蓋を開き、空気の循環をよくしてください。
6. 本機を寒冷地で保管する場合は、「凍結防止」に従ってください。

注記：損傷を防ぐために、本機を齧歯類や虫のいない環境で保管してください。

凍結防止

氷点下の環境での本機の保管。

1. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを完全に空にしてください。
2. 本機の下にある洗浄液タンクフィルターから水を抜いてください。フィルターを交換してください。

3. 1ガロン（4リットル）のプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れてください。

   オプションのSevere Environment洗剤タンク装備モデル - 本機からタンクを持ち上げてタンクから洗剤を抜きます。タンクを元に戻します。1/4ガロン（1リットル）のプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れてください。

4. ec-H2Oシステム未搭載のモデル -本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量システムを作動させます。床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。

   ec-H2OシステムとSevere Environmentモード搭載のモデル - 洗浄洗剤混合率ダイヤルを最大流量に設定します。本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量を「高」に設定します。ec-H2O洗浄を作動させ、Severe Environmentボタンを押して、両方のシステムに不凍液を循環させます。床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。このプロセスは最長2分かかります。

   ec-H2Oシステム搭載のモデル - 本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量を設定し、ec-H2O洗浄を作動させて不凍液をシステムに循環させます。床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。このプロセスは最長2分かかります。

5. オプション自動バッテリー補水タンク搭載のモデル - 本機からタンクを持ち上げて、タンクから水を抜きます。

   重要：自動バッテリー補水タンクに不凍液を決して追加しないでください。

6. 本機を氷点下の環境で保管した後は、残りの不凍液を洗浄液タンクとオプションのSevere Environment洗剤タンクから除去してください。洗浄液タンクとオプションの洗剤タンクにきれいな水を補充して本機を運転し、不凍液を洗い流してください。

7. 自動バッテリー補水タンクが搭載されている場合は、補水タンクに蒸留水を補充してください。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
サービスインジケーターアイコンの点滅	本機または搭載型充電器で異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
ec-H2Oアイコンの赤色の点灯または点滅	ec-H2Oシステムで異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
ec-H2Oアイコンの赤色および青色の点滅	ec-H2Oカートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達した	ec-H2Oカートリッジを交換
本機が動作しない	非常停止ボタンが有効化されています	ボタンを回して、リセットしてください
	本機の故障が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
	バッテリーの放電	バッテリーを充電してください
	バッテリーケーブルの緩み	緩んだケーブルを締め付けてください
	バッテリーの故障	バッテリーを交換してください
	キースイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	グリーンゴーペダルの故障	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください
	コントロールボードの故障	サービスセンターに連絡してください
搭載型充電器が動作しない	プラグが電源に接続されていません	プラグの接続を点検してください
	バッテリーの過放電	バッテリーを交換してください
	充電器の異常検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	充電器の故障	充電器を交換してください
	電源コードの異常	電源コードを交換してください
本機が走行しない	前進 / 後進ライトが急速に点滅	グリーンゴーペダルから右足を離してください
	走行で異常が検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください
	走行モーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	モーター内のカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
ブラシモーターが作動しない	ブラシモーターで異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
	パッドモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	モーター内のカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
	ベルトの損傷または緩み	サービスセンターに連絡してください
バキュームモーターが動作しない	スクイージーアセンブリーが床から浮いています	スクイージーアセンブリーを床まで下げてください
	バキュームモーターの異常検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	バキュームモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
洗浄性能が低い	ブラシ/パッドのごみの詰まり	ごみを取り除いてください
	ブラシ/パッドの摩耗	パッド / ブラシを交換してください
	不適切なブラシ圧	ブラシ圧を調整してください
	不適切なブラシ/パッドの種類	用途に適したブラシ/パッドを使用してください
	バッテリー残量の低下	バッテリーを充電してください
	ブラシ圧が不均等	洗浄ヘッド/ブラシが不均一です。サービスセンターに連絡してください

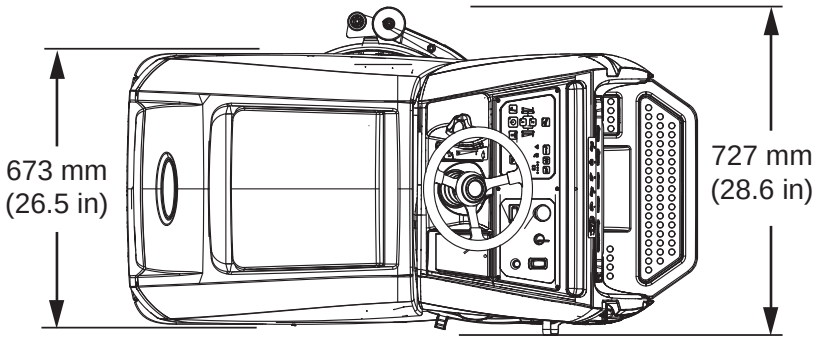
問題	原因	解決策
水が残る、またはまったく水を吸引しない	汚水回収タンクが満杯または泡が過剰に発生	汚水回収タンクを空にしてください
	ドレンホースキャップの緩み	キャップを交換します
	スクイージーブレードの磨耗	スクイージーブレードを位置交換するか、新しいものと交換してください
	ドリップトラップの詰まり（スクイージーアセンブリー）	カバーを外し清掃してください
	スクイージーアセンブリーの詰まり	スクイージーアセンブリーを掃除してください
	バキュームホースの接続部の緩み	バキュームホースをしっかりと接続してください
	バキュームホースの詰まり	バキュームホースを洗浄してください
	バキュームホースの損傷	バキュームホースを交換してください
	汚水回収タンクでフロート停止スクリーンの詰まり	スクリーンを掃除してください
	汚水回収タンク蓋が完全に閉まっていない	蓋に異物が挟まっていないか確認してください
	汚水回収タンク蓋のシール不良	シールを交換してください
洗浄液が殆どまたはまったく流れない	洗浄液タンクを空にしてください	洗浄液タンクに洗剤を入れてください
	洗浄液の流量設定が低い	洗浄液の流量を上げてください
	洗浄液タンクフィルターの詰まり	フィルターを清掃してください
	洗浄液供給ラインの詰まり	洗浄液供給ラインを洗浄してください
	ec-H2Oポンプが呼び水を差さない	本機を再起動し、流量を高に設定します
Severe Environment タンクから洗剤が散布されない	洗剤がない	タンクに洗剤を充填してください
	フロートスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプのポテンショメーターの故障	サービスセンターに連絡してください
	コントロールパネルの故障	サービスセンターに連絡してください
自動バッテリー補水タンクが水を供給しない	タンクが空	タンクに洗剤を充填してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプが呼び水を差さない	サービスセンターに連絡してください
	コントロールボードの故障	サービスセンターに連絡してください
稼働時間が短い	バッテリー残量の低下	バッテリーを充電してください
	バッテリーのメンテナンスが必要	「バッテリー」を参照してください
	バッテリーの故障またはバッテリー寿命の限界	バッテリーを交換してください
	バッテリー放電インジケーター（BDI）のプログラミングに誤りがある	「バッテリーの充電」を参照してください
	充電器の故障	充電器を交換してください
	ブラシの圧力設定が高すぎる	ブラシ圧を下げてください

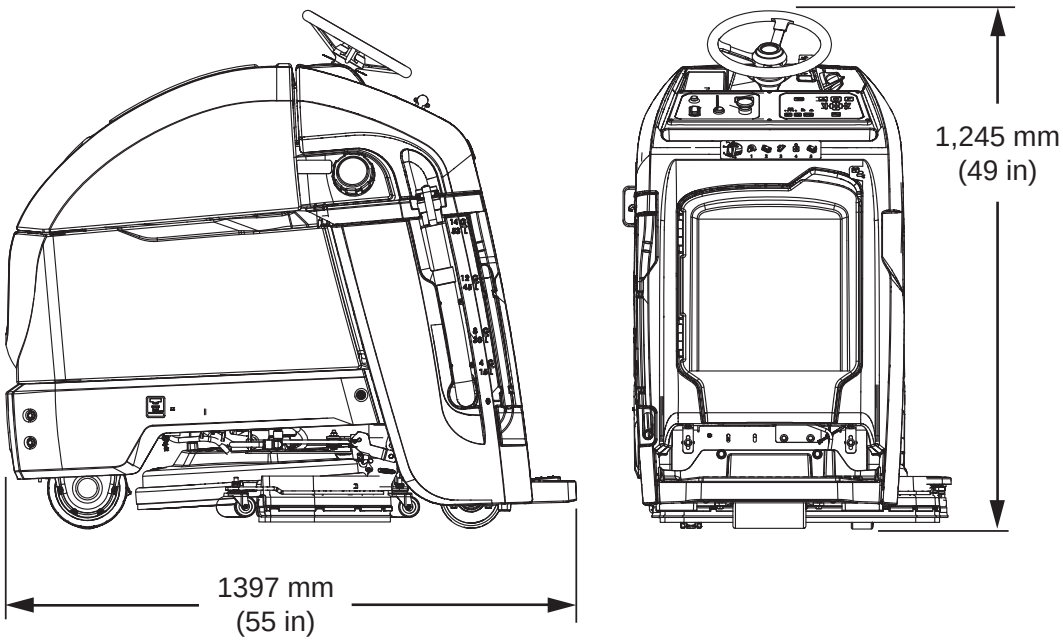
本機の一般的な寸法 / 容量 / 性能

モデル	20インチ / 500 mm シングルディスク	24インチ / 600 mm デュアルディスク
長さ	55インチ / 1397 mm	55インチ / 1397 mm
幅（本体）	26.5インチ / 673 mm	26.5インチ / 673 mm
高さ	49インチ / 1245 mm	49インチ / 1245 mm
重量	490ポンド / 222 kg	495ポンド / 225 kg
重量（バッテリー込み）	725ポンド / 329 kg	730ポンド / 331 kg
車両総重量	1100ポンド / 500 kg	
スクイージー幅	28.6インチ / 727 mm	30.7インチ / 780 mm
洗浄液タンク容量	14.1ガロン / 53リットル	
汚水回収タンク容量	18.4ガロン / 70リットル	
Severe Environmentタンク容量	0.66ガロン / 2.5リットル	
自動バッテリー補水タンク容量	0.48ガロン / 1.8リットル	
洗浄幅	20インチ / 508 mm	24インチ / 610 mm
接地圧	62ポンド / 28 kg 90ポンド / 41 kg	64ポンド / 29 kg 91ポンド / 41 kg
洗浄速度	0.2〜3.6 mph / 0.32〜5.8 km/h	
走行速度	0.2〜3.6 mph / 0.32〜5.8 km/h	
後退速度	0〜1.1 mph / 0〜1.8 km/h	
清掃効率 - 推定実際値	24,588 ft^2/hr / 2,287 m^2/hr	30,052 ft^2/hr / 2,795 m^2/hr
ec-H2O清掃効率 - 推定実際値	25,284 ft^2/hr / 2,351 m^2/hr	30,903 ft^2/hr / 2,874 m^2/hr
通路転回幅	60インチ / 1524 mm	
洗浄時のランプ傾斜	9%	
輸送時のランプ最大傾斜（GVWR）	9%	
荷積み時のランプ傾斜 - タンクが空の時	18%	
洗浄液の流量	低：0.15 gpm / 0.57リットル/分、中：0.35 gpm / 1.32リットル/分、 高：0.50 gpm / 1.89リットル/分	
ec-H2O洗浄液の流量	低：0.12 gpm / 0.45リットル/分、中：0.25 gpm / 0.95リットル/分、 高：0.35 gpm / 1.32リットル/分	
ブラシモーター	24VDC、0.87 Hp / 0.65 kW	
走行モーター	24 VDC、0.64 Hp / 0.48 kW、20A	
バキュームモーター	24 VDC、0.62 Hp / 0.46 kW、19.1A	
水吸引力	42インチH2O / 1067 mm	
水吸引力（静音モード）	30インチH2O / 762 mm	
ec-H2O洗浄液ポンプ	24 VDC、2A、1.0 gpm / 3.8リットル/分、最小開放流量	
Severe Environment洗浄液ポンプ	24VDC、1.7A、2.0オンス/分 / 59ミリリットル/分、最小開放流量	
自動バッテリー補水ポンプ	13.5 VDC、 4 A、0.9 gpm / 3.5リットル/分、最小開放流量	
本機の電圧	24VDC	
バッテリー容量	4～6V 210AH C / 20 湿式、4～6V 240AH C / 20 湿式、 4～6V 220AH C / 20 AGM	
総電力消費量	1.1 kW	
バッテリー充電器 - 搭載型	115～240VAC、50 / 60Hz、24VDC、25A	
バッテリー充電器 - スマート定置型	85～270VAC、50 / 60Hz、24VDC、650W（27.1A）	
保護等級	IPX3	
音圧レベルL_{pA}*	63.7 dBA	64.5 dBA
音圧レベルL_{pA}* - 静音モード	59.7 dBA	61.3 dBA
音の不確定性 K_{pA}*	3.0 dBA	3.0 dBA
音響出力レベルの不確定性L_{pA} - 不確定性K_{pA}*	82.5 dBA	84.0 dBA
本機の振動 - 手から腕*	<2.5 m/s^2	
動作周囲温度	最小：36° F / 2° C 最大：110° F / 43° C	

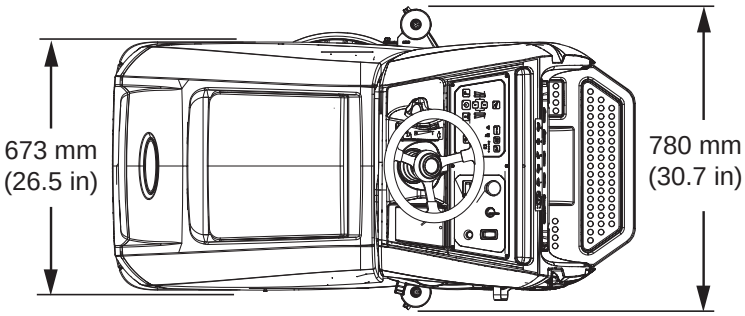
本機の寸法

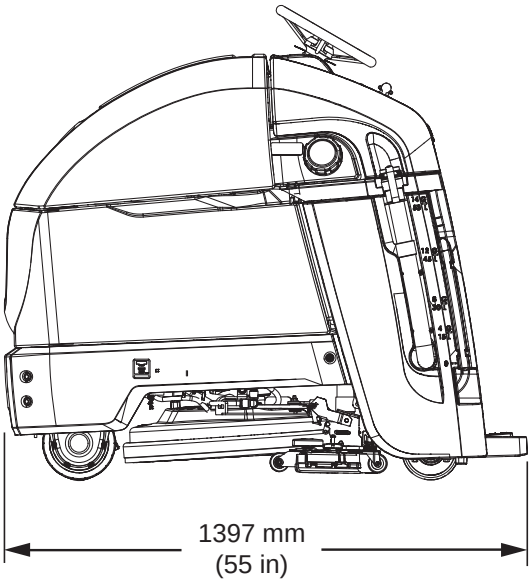
500 mm / 20インチ シングルディスクモデル：

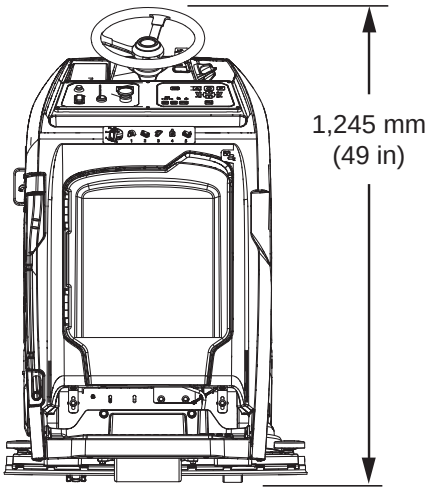




600 mm / 24インチ デュアルディスクモデル：







管理者コントロール

注意：この手順は管理者のみを対象としています。必要に応じて、マニュアルから該当するページを削除してください。

管理者コントロール機能を使用して、管理者はオペレーターが本機で使用する洗浄設定をプログラムできます。ロックアウト機能を使用すると、オペレーターによるZone Settingsの変更や保存を防止できます。

管理者コントロール機能を使用することで、いつでも同じ状態で再現可能な清掃作業ができるため、オペレーターの経験に関わらず作業品質を維持できます。また、オペレーターのトレーニング時間を短縮できます。

PRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル

注記：ゾーン3は、シリアル番号11003113より前に製造された機械でのみ使用できます。

本機には、次の3種類の管理者コントロールモードがあります：

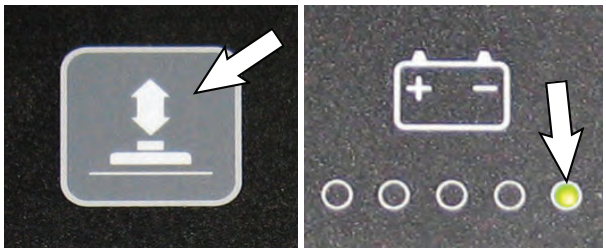
ロック解除モード 1：オペレーターは、プリセットゾーンコントロールボタンを再設定する機能を使用して、すべての洗浄パラメータを制御できます。ロック解除モード1は工場出荷時の初期設定です。

ロックアウトモード 2：ゾーンコントロールボタンが管理者によってプリセットされ、ロックされます。オペレーターはプリセットゾーンコントロールボタンの再設定機能を利用できますが、設定の保存はできません。

ロックアウトモード 3：ゾーンコントロールボタンが管理者によってプリセットされ、ロックされます。オペレーターができる操作は、管理者によってプリセットされたゾーンコントロールボタンの利用のみに制限されます。

管理者コントロールモードの入力

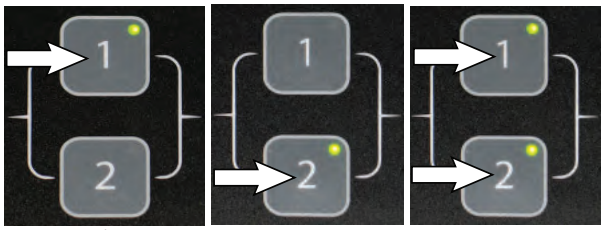
1. 本機を平らな場所に停め、キーをオフ（O）の位置まで回します。
2. ブラシ圧ボタンを押したまま、キースイッチをオンの位置に回します。一番右側のバッテリー放電インジケーターLEDが点灯したら、ボタンを離します。ボタンを離した後、有効化された管理者コントロールモードが、ステップ3の説明に示すように表示されます。



3. 管理者コントロールモードの選択または変更を行うには、LEDが3回点滅するまで、特定のゾーンコントロールボタンを押し続けます。ロックアウトモード3の場合、ゾーンコントロールボタン1と2を同時に押し続けます。選択を完了すると、LEDは点滅から点灯に変化して、新しいモードが有効化されたことを知らせます。

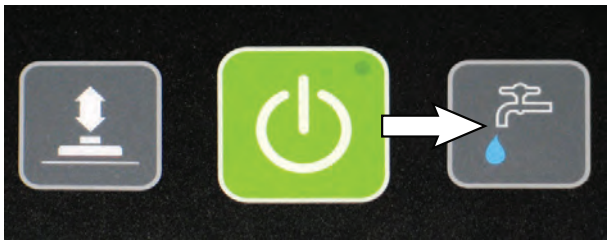
   ロック解除モード1 = ゾーンコントロールボタン 1
   ロックアウトモード 2 = ゾーンコントロールボタン 2
   ロックアウトモード 3 = ゾーンコントロールボタン 1 & 2

注記：ゾーン3は、シリアル番号11003113より前に製造された機械でのみ使用できます。



ロック解除モード 1　ロックアウトモー　ロックアウトモー

4. 洗浄液流量ボタンを押して、ロックアウトモード2または3のゾーンコントロールボタンのプリセットを設定します。

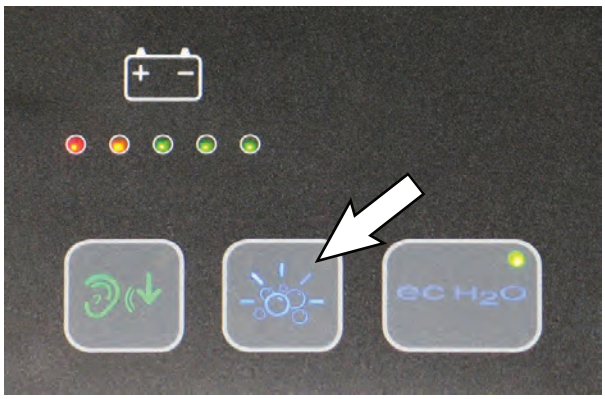


5. 以下のリストからゾーンコントロールボタンのプリセットを設定し、LEDが3回点滅するまでゾーンコントロールボタンを押し続け、プリセットの設定を保存します。他の2つのゾーンに対しても同じ手順を繰り返します。ゾーンコントロール3をプリセットするには、ゾーンコントロールボタン1と2を同時に押してください。

   ゾーンコントロールのプリセット：
   - ブラシ圧
   - 洗浄液の流量
   - Quiet-Modeボタンのオン / オフ
   - ec-H2Oモードスイッチのオン / オフ
   - Severe Environmentボタンのオン / オフ（LEDが点灯するまでボタンを3秒押し続けます）
   - 最大洗浄速度の設定

最大洗浄速度の設定を調整するには、過酷環境ボタンを押して、以下の説明に示すように、5段階の速度から選択します。Severe Environmentボタンのないモデルの場合、図に示すパネルのエリアを押します。ボタンは非表示です。

バッテリー放電インジケーターLEDによって各速度が表示されます。赤色のLEDは最も遅い速度を表します。一番右側の緑色のLEDは最高速度を表します。



注記：最大洗浄速度の設定は、管理者コントロールロックアウトモード2および3でのみ調整できます。

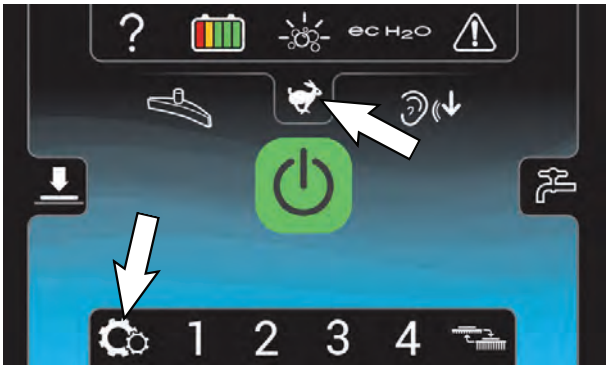
6. 管理者コントロールモードを終了するには、キーをオフにします。

PRO-PANELコントロール装備モデル

ホーム画面のインターフェースに表示されるユーザーモードは2種類あります。

オペレーターモード - 管理者によって許可や制限が制御された状態で本機の運転ができます。オペレーターモードのホーム画面では、本機の設定ボタンと最大洗浄速度ボタンへのアクセスが制限されます。オペーレーターホーム画面を表示するユーザーモードには2種類あります：

管理者モード - すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機を運転できるほか、オペレーターモードに対して許可と制限やログイン機能を設定することができます。管理者モードのホーム画面では、本機の設定ボタンと最大洗浄速度ボタンにアクセスすることができます。

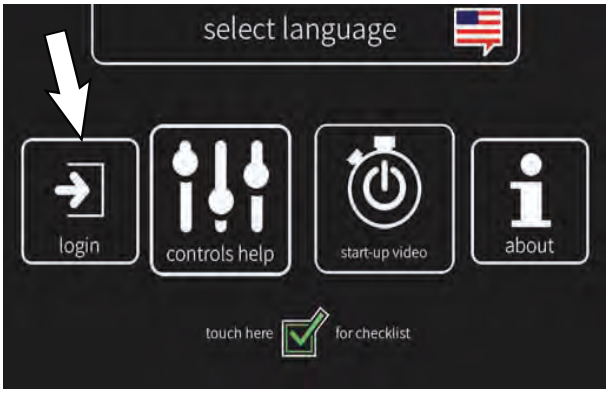


工場出荷後の初期状態では、本機は事前に割り当てられた管理者プロファイルに基づいた管理者モードで自動的に始動します。本機の工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードは「1234」です。このログインコードは有効化されるまで不要です。初期設定の管理者プロファイル名とログインコードは本セクションで説明したように変更できます。新規に割り当てられた管理者モードのログインコードを忘れた場合は、リカバリーログインコード「836626826」を使用してください。

管理者モードの入力

1. 電源スイッチを入れます。本機の始動時にホーム画面が表示されます。ヘルプボタンを押します。

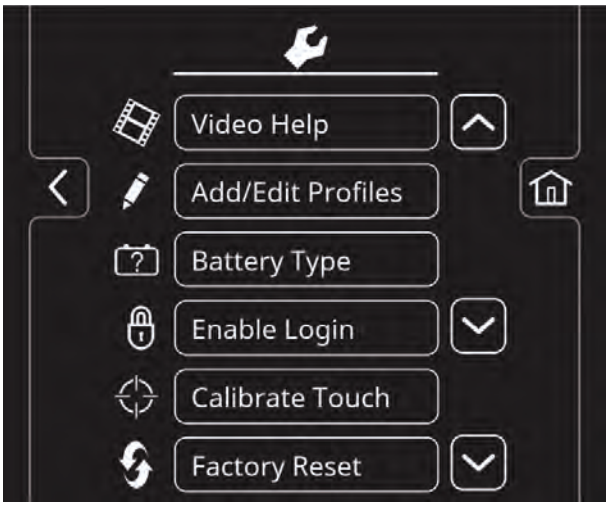
2. ログインボタンを押します。



3. 初回使用 - 工場出荷時に割り当てられた管理者モードログインコード「1234」を入力して、緑色の入力ボタンを押します。

4. 管理者モードのホーム画面が表示されます。本機の設定ボタンを押します。

5. 本機の設定画面には、以下のメニューへのアクセスが用意されています。



ビデオに関するヘルプ - 特定の操作とメンテナンスの手順を参照するために使用します。

プロファイルの追加 / 編集 - 本機の用途に対応するように、ユーザープロファイルを追加 / 編集するために使用します。

バッテリーの種類 - 異なる種類のバッテリーに対応するように本機を設定するために使用します。「バッテリー」を参照してください。

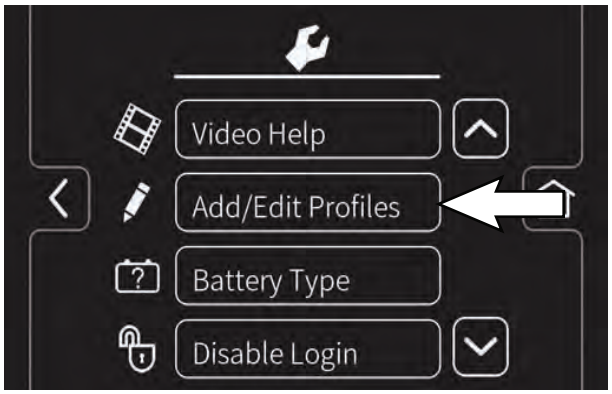
ログイン可 - 本機の始動時に、本機を運転するのに必要なログインコードを有効化するために使用します。

タッチ補正アイコン - タッチポイントの位置ずれがある場合にタッチ画面を補正するために使用します。

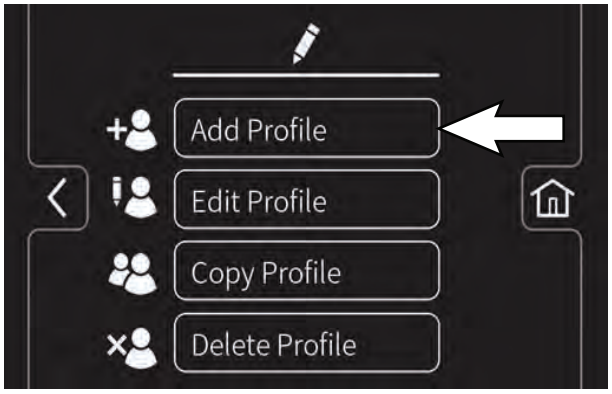
工場出荷時の状態にリセット - 管理者ログインコードを工場出荷時のデフォルトコード「1234」にリセットするほか、ユーザープロファイルを削除し、カスタマイズされたプリセットゾーンコントロールボタンを工場出荷時のプリセットゾーンにリセットします。

プロファイルの追加 / 編集

1. 「プロファイルの追加 / 編集」ボタンを押して、新規ユーザープロファイルを入力します。



2. 「プロファイルの追加」ボタンを押して、新規ユーザープロファイルを追加します。



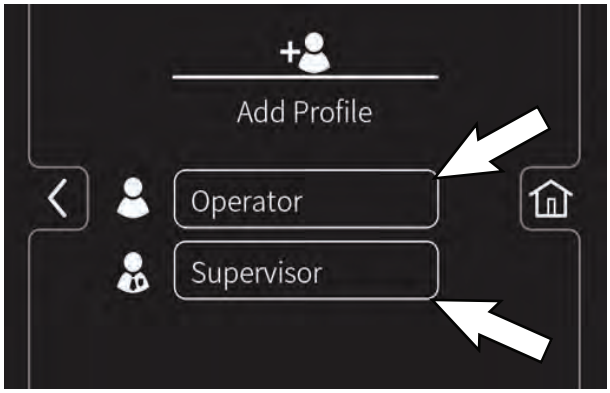
「プロファイルを編集」ボタンを押して、既存のプロファイルを編集します。

「プロファイルをコピー」ボタンを押して、既存のプロファイルをコピーします。

「プロファイルを削除」ボタンを押して、既存のプロファイルを削除します。

3. オペレーターボタンを押してオペレーターモードを追加するか、管理者ボタンを押して追加の管理者モードプロファイルを追加します。

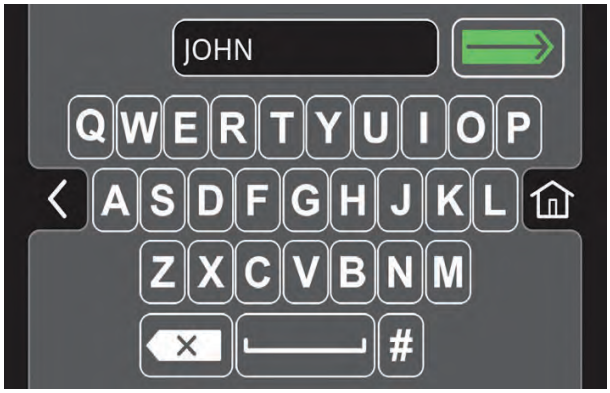
注記：本機のデフォルト管理者プロファイルはプロファイルリストから削除できません。



「オペレーター」ボタンを押して、オペレーターのプロファイルを追加 / 編集 / コピー / 削除します。

「管理者」ボタンを押して、管理者のプロファイルを追加 / 編集 / コピー / 削除します。

4. 新規ユーザープロファイルの名前を入力して、緑色の入力ボタンを押します。

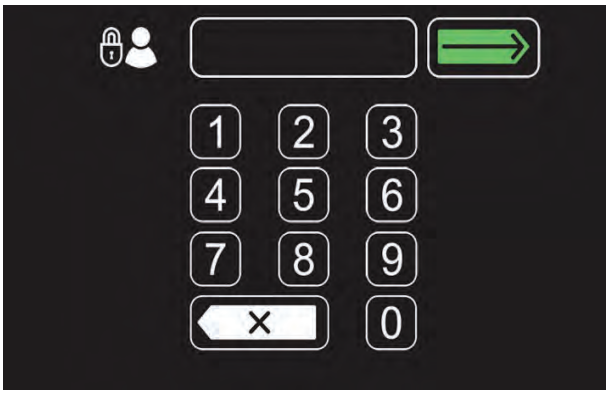


5. 新規ユーザープロファイルに対してログインコードを割り当て、緑色の入力ボタンを押します。新しいログインコードは、3～8桁の範囲で任意の数字の組み合わせが可能です。

6. 新しいユーザーが利用できるコントロールを選択します。緑色はロック解除されたコントロール、灰色はロックされたコントロールを示します。点滅している保存ボタンを押して、新規プロファイルを保存します。

7. 図に示すように、オペレータープロファイルリストに新しいユーザープロファイルが保存されました。複数のオペレーターおよび管理者のユーザープロファイルを追加することができます。「戻る」矢印を押して前の画面に戻り、さらにユーザープロファイルを追加します。

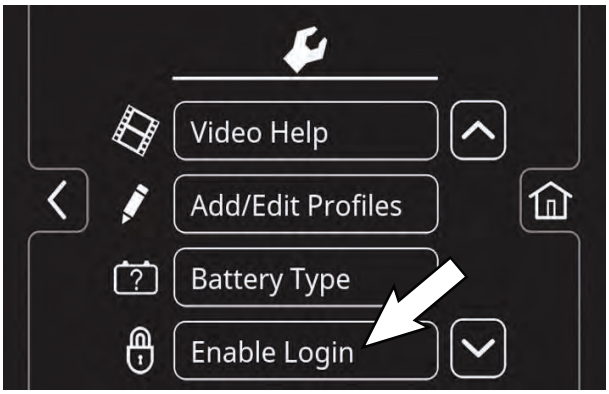
8. 始動時のログイン画面の有効化については、「ログインの有効化」を参照してください。



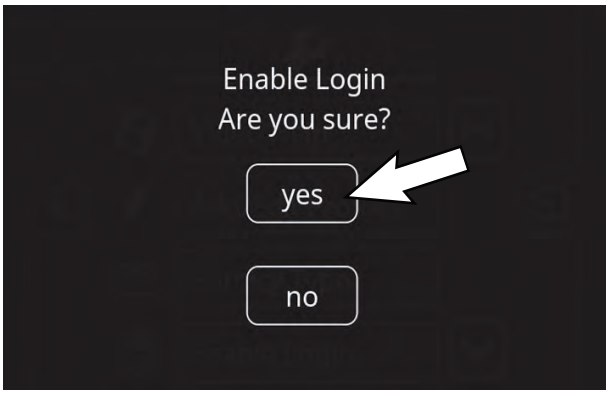
ログイン画面の有効化

1. 電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします。「管理者モードの入力」を参照してください。
3. 本機の設定ボタンを押します。

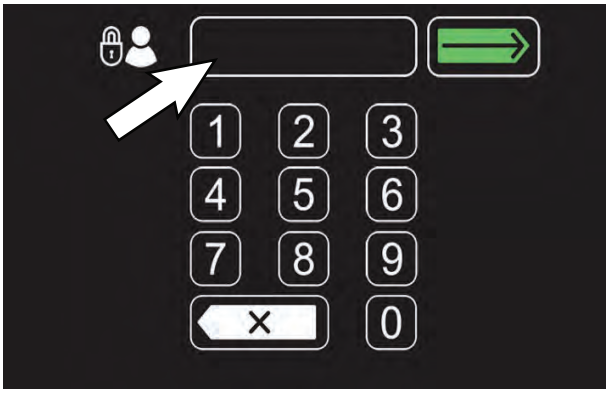
4. 「ログイン可」ボタンを押します。「ログイン可」ボタンが、「ログイン可」から「ログイン不可」に変わります。



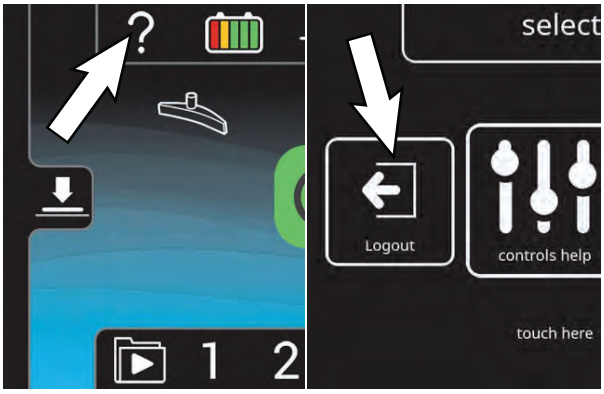
5. ログインを有効にするために、「はい」ボタンを押します。



6. これで本機の始動時にログイン画面が表示されます。ユーザーは本機を操作するためにログインコードを入力する必要があります。



7. 本機の使用後は、ヘルプボタンを押してから、ログアウトボタンを押してログアウトすることをお勧めします。キーをオフ位置に回しても口グアウトできます。



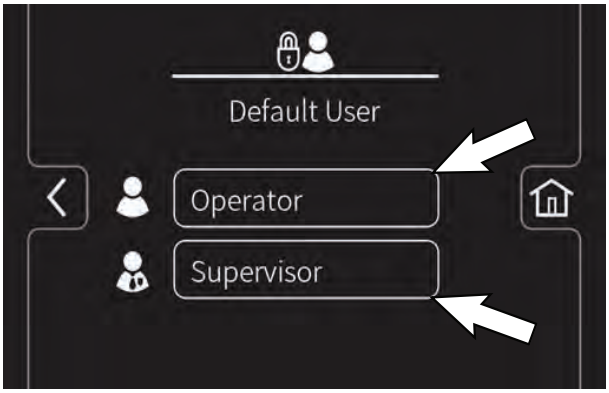
ログイン画面の無効化

1. 電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします。「管理者モードの入力」を参照してください。
3. 本機の設定ボタンを押します。

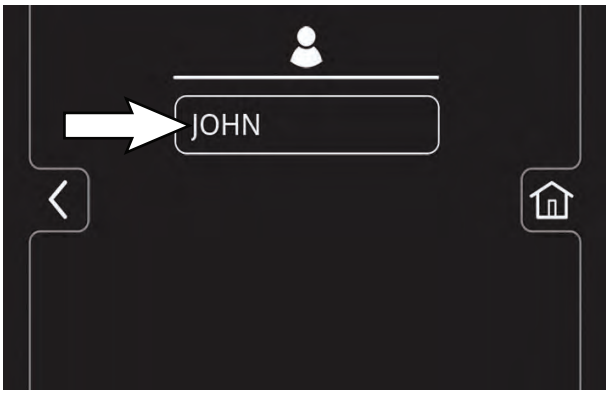
4. 「ログイン不可」ボタンを押します。

5. 「はい」ボタンを押して、始動時のログインを無効化します。

6. 「オペレーター」ボタンまたは「管理者」ボタンのいずれかを押して、ログインなしのデフォルトのホーム画面として希望するユーザープロファイルを選択します。



7. ユーザープロファイルを選択します。この例では、「JOHN」というオペレータープロファイルが選択されており、キーをオフにしてこの設定を適用します。

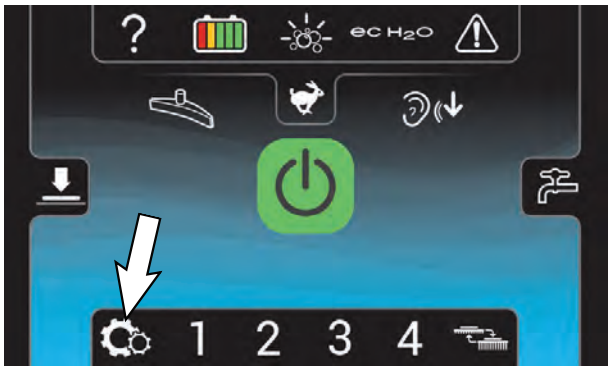


8. これで本機の始動時にログイン画面は、ログインなしのデフォルトとして希望するユーザープロファイルの設定が適用されます。

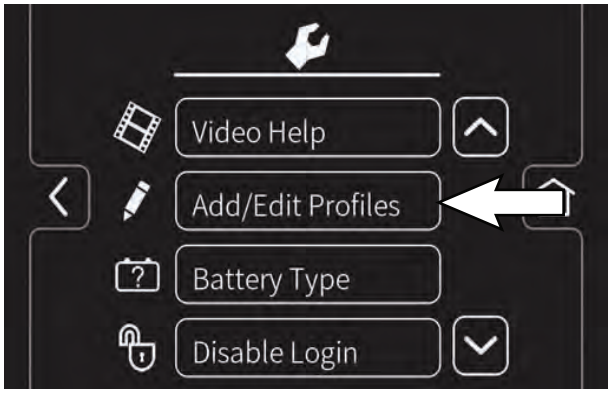
注記：ログインなしのデフォルトホーム画面として異なるユーザープロファイルに変更するには、ログインを再度有効化して、ログイン指示を再度無効化する必要があります。

工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードの変更

1. 本機の設定ボタンを押します。

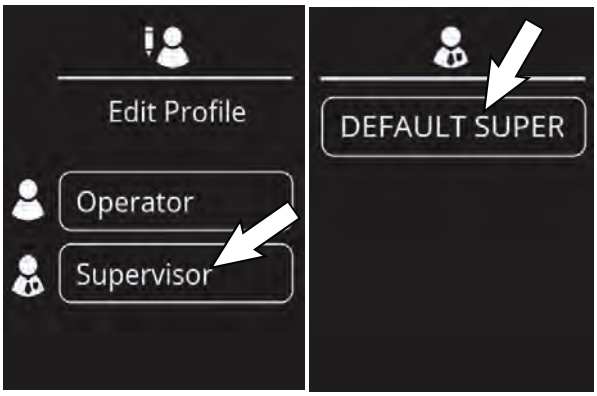


2. プロファイルの追加 / 編集ボタンを押します。

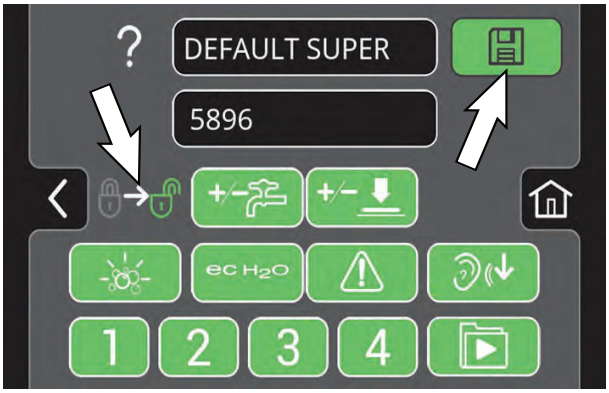


3. プロファイルの編集ボタンを押します。

4. 管理者ボタンを押した後、デフォルト管理者ボタンを押します。

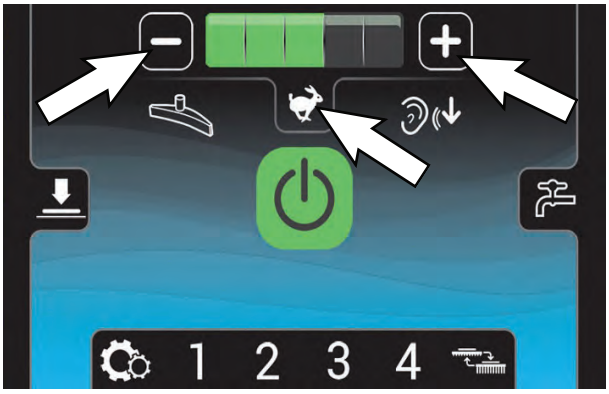


5. 工場出荷時に割り当てられたログインコードを押して、新規のログインコードを入力します。点滅している保存ボタンを押して、新規のログインコードを保存します。



洗浄速度の変更

1. 電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします。「管理者モードの入力」を参照してください。
3. 最高洗浄速度ボタンを押して洗浄速度調整バーにアクセスしてください。



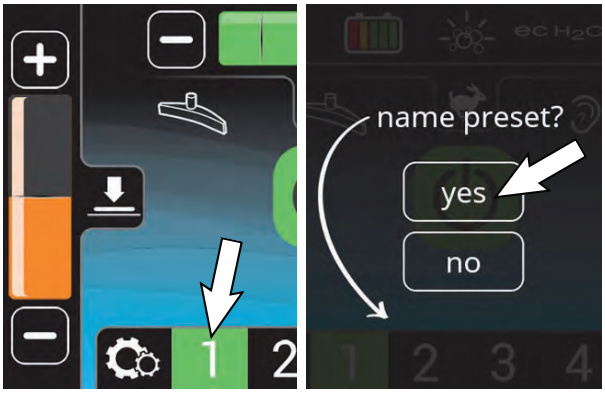
4. (+) ボタンを押して、最大洗浄速度を上げます。(-) ボタンを押して、最大洗浄速度を下げます。

プリセットゾーンコントロールボタンの変更

1. 以下のリストから希望する設定を選択します。

   - ブラシ圧
   - 洗浄液の流量
   - Quiet-Modeモードのオン/オフ
   - ec-H2Oシステムのオン/オフ (オプション)
   - Severe Environmentモードのオン/オフ (オプション)
   - 最大洗浄速度

2. 電源スイッチを入れます。
3. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします。「管理者モードの入力」を参照してください。
4. 次に、新規のプリセットゾーンの名前を付けるように指示されるまで、ゾーンボタンを押し続けます。プリセットゾーンの名前を付けるには「はい」を選択します。



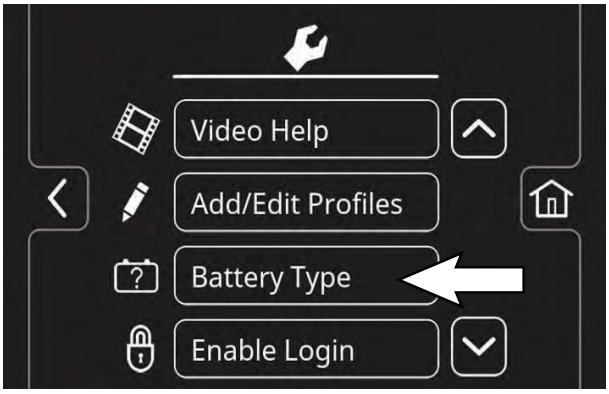
5. 例えば、ゾーン設定をロビーの洗浄用に設定した場合は、ゾーン名を「LOBBY」と入力します。緑の矢印を押して、新しいゾーンのプリセットを保存します。

6. ゾーンボタンを押すとゾーン設定番号の上に名前が表示されます。他のゾーンプリセットについても同じ手順を繰り返します。

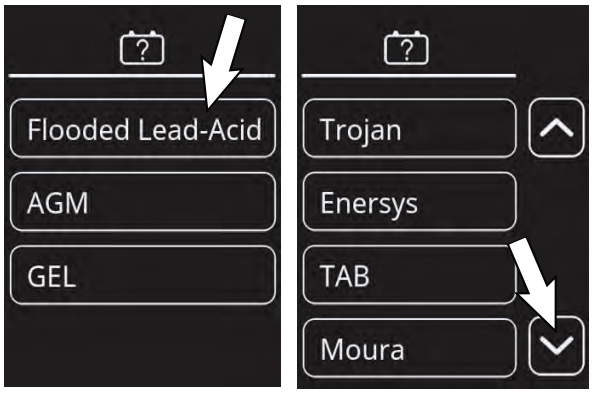
搭載型充電器の設定変更（Pro-Panel モデル）

1. キーをオンの位置に回します。
2. ホーム画面にある設定ボタンを押します。

3. 「バッテリーの種類」ボタンを押します。



4. 本機に搭載されたバッテリーの種類とブランドを選択します。バッテリーラベルを参照して、種類とブランドを見つけます。上および下矢印を押して、バッテリーの選択をスクロールして参照します。



注記：バッテリー充電プロファイルとバッテリー放電インジケーターは、バッテリーの種類が選択されると自動的に再プログラムされます。

タッチの補正

1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「管理者モードの入力」を参照してください。
2. 「タッチの補正」ボタンを押してタッチの再補正を行います。タッチポイントがずれた場合。

\